

平成29年度
神戸大学附属図書館年次報告

平成30年 8月

編集：神戸大学附属図書館評価委員会

* 附属図書館ホームページ掲載 *

<https://lib.kobe-u.ac.jp/about/facts/reports/>

刊行のご挨拶

附属図書館長 萩原泰治

平成 29 年度の附属図書館運営委員会で最重要の議題は、いわゆる電子ジャーナル・データベース等を購読維持する教育研究基盤資料の整備についてでした。平成 31 年から 3 年間の学術情報基盤を確保するために、委員の先生方には各部局の意向をまとめるなど多大の労をとっていただきました。

毎年高額の契約を余儀なくされ大学の予算を圧迫してきた電子ジャーナル問題は、依然として価格高騰が止まらず、多くの大学で現状維持すら難しくなっています。そのため、やむなく大手出版社のパッケージ（包括購読）を解体し、一部をタイトル買いすることに転換した大学が続出しました。神戸大学も所属する国立大学図書館協会では、年 1 回のシンポジウムに電子ジャーナルの契約変更事例をテーマとして設定したほどです。ただ、この時の議論でも、将来的な展望を描くことは難しかったと聞いています。

本学では、これより先、平成 29 年 10 月に大手 2 社の電子ジャーナルパッケージを 3 年間継続することが認められました。それを踏まえ、全体の上限金額の枠は前回のままとし、支出を抑えるため各部局で購読している全学利用の外国雑誌への補填（現在 15%）を毎年 5 ポイントずつ減額し、3 年後にはゼロとするという苦渋の案を附属図書館運営委員会で決議しました。さらに、その提案を執行部の会議を経て、平成 30 年 5 月の部局長会議でご承認いただきました。運営費交付金が減額され各部局への配分額が減少する中で、何とか教育研究基盤を支えるご英断をされた関係各位に敬意を表します。

運営委員会関係では、「神戸大学附属図書館今後 10 年の運営方針について」をまとめたことも特筆すべき事項です。法人化後の大学を巡る環境の変化に対応するため、副館長・分館長のお力をいただき、中期的な将来計画をまとめることができました。詳しくは付録として全文を掲載しておりますのでご一読いただければ幸いです。

附属図書館自体の事業ではありませんが、平成 29 年 4 月に設立された神戸大学出版会について、その事務を附属図書館が担っております。出版事業の衰退が叫ばれる時期に、大学のブランド向上への貢献を意図しつつ情報発信に関われることは大きな喜びです。初年度は 2 冊の刊行を実現しました。

最後に、附属図書館から独立した組織についてもご紹介します。国から国立公文書館等に指定されて以来、附属図書館大学文書史料室として図書館の下に置かれていた大学文書史料室が、平成 30 年 4 月から学長の下に置かれる室に位置づけられ、新たなスタートを切りました。事務に関してはこれまで同様、附属図書館事務部が担当しますが、公文書管理のあり方が国会や行政府で注目されているこの時期に改組できたことは、真に時宜にかなった出来事と言えましょう。今後ますます重要性が増す組織として注目していきたいと考えます。

本報告書では、平成 29 年度に附属図書館が行った幅広い事業をまとめ総括しました。利用者サービス、コレクション構築、情報リテラシー、学生協働、社会連携、情報発信など、多岐にわたる図書館事業について、必要な統計データを揃えて、各々の実績について自己評価を行い、大学内外に対する説明責任を果たすことを意図しています。

この報告書を通して、より多くの方に、学術情報基盤としての附属図書館の活動をご理解頂くとともに、今後の図書館運営について忌憚のないご意見を頂戴できましたら幸いです。

平成29年度神戸大学附属図書館年次報告

刊行のご挨拶

<u>1. 平成29年度の取り組みの概要</u>	p. 1
------------------------------------	------

2. 学習・教育支援

(1) 開館サービス	p. 5
(2) 学生用資料整備	p. 8
(3) 資料提供サービスと利用促進	p. 9
(4) 図書館相互利用 (ILL) サービス	p. 14
(5) 学生との協働及び学生参加型の取組	p. 15
(6) 情報リテラシー教育の推進支援	p. 17

3. 学術研究支援

(1) 研究用資料の整備	p. 21
(2) 電子的情報基盤の整備	p. 23
(3) 蔵書目録データベースの整備	p. 26
(4) 資料の保存	p. 27

4. 社会連携・情報発信

(1) 一般市民への資料提供サービス・展示会の開催	p. 29
(2) 震災文庫	p. 31
(3) 電子図書館システムによる情報発信	p. 33
(4) 機関リポジトリによる情報発信	p. 34
(5) 国際連携	p. 36
(6) 大学文書史料室	p. 37

5. 管理運営等

(1) 図書館組織と運営	p. 45
(2) 事務組織と人事管理	p. 46
(3) 予算及び財務会計業務	p. 51
(4) 施設整備・システム整備	p. 52
(5) 図書館界での諸活動	p. 55

<付録>

神戸大学附属図書館今後10年の運営方針について	p. 57
達成度評価（第3期中期目標・中期計画・年度計画管理表より）	p. 61
達成度評価の根拠資料 附属図書館開催イベント・セミナー等のアンケート結果	p. 63

基本統計表

蔵書・受入等の現況（各館室別）	p. 73
サービス業務の現況（各館室別）	p. 74
電子的情報サービスの現況	p. 75

図書館組織図・事務組織図	p. 76
附属図書館諸会議（議題一覧、委員名簿）	p. 77
附属図書館予算・決算表（運営経費、資料費）	p. 83
附属図書館活動日誌	p. 85

1. 平成29年度の取り組みの概要

◆学習・教育支援

(1) 開館サービス

年間総入館者数は約 88.7 万人で前年度より約 5%、1 日あたりの平均入館者数も約 4%減少した。Web サービスの浸透や電子資料の増加に伴い来館機会は減る傾向にあるが、学修支援をはじめとする「場」としての役割を果たすため、2 学期クォーター制に対応した開館拡大（第 1・第 3 クォーター試験期の日祝日開館）を、総合・国際文化学図書館を中心とした 3 館で前年度に続いて試行した。次年度以降も学年進行に伴うクォーター制の広がりに応じ、ニーズ・利用状況・経営面を考慮しながら、全館的視野で適正な開館を行っていく必要がある。

(2) 学生用資料整備

各館室の学生用資料整備は図書館予算から各館室に配分した経費と各館室のサービス対象部局から拠出された経費を合わせて実施されている。本年度の図書館予算は、全学運営費交付金の減額に伴い前年度より 10%減の 41,682 千円とした。また、前年度に整備した学生用図書の選定評価を実施し、構成と利用の面で選定が適切に行われたことが確認された。今後も厳しい予算状況が続くと見込まれるが、教育・学習活動の支援のため現行の予算規模の維持を目指すと共に、より適切な資料選定を行うよう留意する必要がある。

(3) 資料提供サービスと利用促進

学生への年間貸出総冊数は約 21.9 万冊で前年度から約 6%減少したが、デリバリ（図書館間資料配送）サービスはほぼ前年度並みの貸出数だった。利用促進の取組は、前年度以上に積極的に展開し、テーマ図書展示では、展示に触発された教員と協力して同じテーマの「昼休みトークイベント」開催に繋げるなど、新しい動きも生まれた。引き続き従来のサービスを安定的に提供することに努めるとともに、利用促進活動を地道に継続していく必要がある。

(4) 図書館相互利用（ILL）サービス

図書館相互利用（ILL）について、全体として減少傾向にある。社会科学系図書館は、複写は全体の約 39%、貸借は約 53%を受け付けており、全学の中で ILL 受付の大きな部分を担っており、同館が人文社会科学系の外国雑誌センター館としての責務を果たしていることがわかる。

(5) 学生との協働及び学生参加型の取組

「附属図書館学生チーム ULiCS（うりくす）」は本年度末時点で 15 名が参加し、第 19 回図書館総合展への派遣、社会科学系図書館の書庫マップの作成、団体誌『The ULiCS Times』の第 1 号を発行・公開等の活動を行った。また、附属図書館マスコットキャラクター「うりこ」の LINE スタンプについては第 2 弾のアイデアを大学内・外から募集し、絞り込みとラフデザイン決定を ULiCS と協働で行った。学生参加型のイベントとしては、職員と協働で行った全館図書館ツアー、オープンキャンパス時の案内、鶴甲第一キャンパスラーニングコモンズ（以下、ラーニングコモンズ=LC）での読書会を実施した。

(6) 情報リテラシー教育の推進支援

全学共通教育必修科目「情報基礎」では、1 コマ（90 分）を図書館職員が担当し、計 23 回の講義を行い、2,633 名が受講した。同じく必修科目として前年度より新しく始まった「初年次セミナー」

では、図書館ツアーや検索ガイダンス等、図書館を活用した授業が計 37 回実施され、1,027 名が受講した。セミナー・ガイダンス・オリエンテーションは、情報リテラシー係を中心に、情報リテラシー教育支援 WG メンバー等が担当し、計 181 回、3,594 名が受講した。なかでも 6 回に渡って実施したライティングセミナーには前年度の 3 倍となる 399 名が参加した。また、学習支援の一環として、パスファインダー「KULiP」の運用を継続している。

◆学術研究支援

(1) 研究用資料の整備

平成 29 年度は、「教育研究基盤資料整備費」3.52 億円（決算ベース）が措置され、電子ジャーナル及びデータベースは平成 26 年度の規模を維持することができた。しかしながら、海外電子配信への消費税導入や為替レートの変動、電子ジャーナルパッケージの価格上昇により所要額が上昇の一途をたどっている。一方、人件費の上昇等により、大学全体の予算は厳しさを増してきている。学生用図書費を含む附属図書館運営経費は平成 28 年度大幅な減少となったが、平成 29 年度も約 8%の減額となった。学内各部局一律に減額となったもので、相対的に大学全体の総資料費に占める図書費の割合が下がり続けている。電子ジャーナル・データベースとともに図書費の確保も課題である。

(2) 電子的情報基盤の整備

平成 29 年度末における電子ジャーナル購読数は 25,424 タイトル、総ダウンロード数は教育研究基盤資料整備事業によるもので約 126 万件と、総体として非常によく利用されており、必須の教育研究基盤資料となっている。主要な電子ジャーナルパッケージは平成 26 年度の規模を維持しているが、共同利用雑誌等への補填率が下がったことや、部局予算の大幅な減額が影響し、全学の電子ジャーナル購読数は減少傾向にある。

(3) 蔵書目録データベースの整備

目録遡及入力の本年度入力実績は、前年度で終了した遡及入力事業の対象外だった特殊資料（和漢古書、洋古書、マイクロ資料など）と研究室からの返納図書等を合わせ約 14,503 冊で、全蔵書数約 377 万冊のうち約 323 万冊（約 86%）が OPAC（オンライン目録）で検索できるようになった。前年度からは特殊資料を計画的に入力している。特に和古書は、国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業のデータベース構築にあたり目録データ作成が不可欠なため、重点的に入力を行っている。

(4) 資料の保存

貴重資料の保存対策として住田文庫「漂流人口書写」他、計 4 点の修復を行った。「鈎股弦彎化之法」他、計 6 点（人間科学図書館所蔵）の修復を行った。

◆社会連携・情報発信

(1) 一般市民への資料提供サービス・展示会の開催

総合・国際文化学図書館と海事科学分館において一般市民への貸出サービスを実施しているが、平成 29 年度の利用登録者数は前年度より 26 名減少した。貸出冊数は前者において前年度比 31%減であり、後者においては 3%増であった。資料展については、地域挙げての取組だった「神戸開港 150 年」に因み、「神戸開港文書」や「住田文庫」をはじめとした本館の所蔵資料を通し、開港を機とした近代神戸の歩みを紹介した。一般市民の関心も高く、アンケート回答においても概ね高評価を得た。震災リバイバル展示は他部署との合同企画展に発展し、特に大木本美通氏の追悼写真展を中心に、1/17 にあわせて数多く報道された。

(2) 震災文庫

所蔵資料総数は5万8千件を超え、震災文庫データベースへの本年度のデータ入力は3,649件、レコード総数は29万1千件を超えた。例年1月17日前後に開催している阪神・淡路大震災関連のリババル展示を、本年は震災文庫にも会場を広げて実施した。展示には多くの来場者があり、年間来館者数は前年より、26%増加した。また、所蔵地図2点のエンキャプシュレーション（ポリエステルフィルムへの封入）を再度実施し、所蔵のビデオ(VHS)テープ45点の媒体変換(DVD)を行った。

(3) 電子図書館システムによる情報発信

平成11年より「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内研究成果」を3本柱に「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築を行っている。「経済関係資料」では「新聞記事文庫」の電子化公開を進めており、本年度は科学研究費補助金が不採択であったため附属図書館電子化共通経費で約1,900記事の電子化を行った。記事数は累計約30万件にのぼり、例えば本年1月に刊行された広辞苑（第7版）で77項目において当文庫の記事が引用されるなど、様々な活用の事例が報告されている。「学内研究成果」の博士論文では平成25年4月以降の学位授与分についてリポジトリでのインターネット公開が原則となったことを受け、前年度学位授与分の博士論文について、非公表・公表延期が決定している論文以外はリポジトリにて全文公開した。

(4) 機関リポジトリによる情報発信

平成18年度に稼働を始めた「神戸大学学術成果リポジトリ(Kernel)」も12年目となり、比較的順調に成長を続けている。本年度の登録コンテンツ数は前年比38%増の1,525件を達成することができ、総コンテンツ数は26,076件、年間ダウンロード数は約117万件だった。また、前年1月に学長裁定となった「神戸大学オープンアクセス方針」の周知のため、学内で17回の説明会を実施し、約980名の教員が参加した。今後は、教員の論文登録の負担を軽減できるよう、神戸大学研究者紹介システム「KUID」との連携も視野に入れ、学内関連部署との協議を引き続き進める必要がある。

(5) 国際連携

平成29年度も国立大学図書館協会海外派遣事業への申請が採択され、長期区分で職員1名を米国に派遣した。訪問先は中央フロリダ大学(UCF) John C. Hitt Libraryで、2週間滞在して北米の大学図書館におけるアウトリーチサービスの実態調査を行った。また、韓国海洋大学校図書館との協力協定にもとづく職員交流は、平成21年度から8年間継続されて日韓の大学図書館に関する貴重な情報交換の場として機能したが、諸事情により一時休止することとした。

(6) 大学文書史料室

本年度は、室の改組（平成30年4月実施予定）に向けて準備を整えると共に、喫緊の課題であった書庫収蔵スペースの狭隘化の改善、利用審査の業務効率化・標準化、展示替え期間中の初めてのミニ常設展開催、大幅増加の利用者対応（前年度比93%増）・レファレンス対応（前年度比65%増）に努めた。また、政令指定機関としての法的義務を全うするため、歴史公文書等の受入れ、目録入力、利用請求の対応、展示活動、職員研修、電子化事業、内閣総理大臣への状況報告、見学受入れ等を実施すると共に、学内記念事業・大学史等関連授業・大学広報・同窓会活動等に協力して資料調査、講師派遣、寄稿、講演、マスコミ対応等を行った。また、今後の課題としては、ガイドライン改正に伴う関連規則等の整備、歴史公文書等の評価選別基準の見直しに向けての検討、効果的な展示の工夫等が挙げられる。

◆管理運営等

(1) 図書館組織と運営

平成 29 年 3 月、任期満了により野海正俊館長（理学研究科教授）が退任し、4 月より部局長経験者である萩原泰治館長（経済学研究科教授）が就任した。館長の交替に伴い、副館長 3 名が交替した。4 月 14 日に館長・副館長懇談会を開催し、新たな役割分担を決めた。附属図書館運営委員会は 4 回開催した。平成 31～33 年の教育研究基盤資料整備について、第 3 回運営委員会にて図書館としての案が承認された。また、附属図書館将来計画の見直しを検討するため館長・副館長・分館長にて検討 WG を組織し、「神戸大学附属図書館今後 10 年の運営方針について」として作成、部局長会議にて学内へ報告された。「神戸大学出版会」が学長直下の組織として平成 29 年 4 月 1 日付で設立された。また附属図書館下に設置されていた大学文書史料室は、平成 30 年 4 月 1 日付で学長の下に置く室として改組されることとなった。（いずれも事務担当は附属図書館企画係）

(2) 事務組織と人事管理

平成 29 年 4 月に附属図書館事務組織の一部グループ化が実現し、関連規則等の改正を行った。各種研修等に職員を派遣しスキルアップに努めるとともに、内部研修も開催した。研修成果は、報告書の提出により他の職員の能力開発に役立てている。また、係横断的な業務や課題解決のため 5 つのワーキンググループが活動し成果をあげている。アウトソーシングによる効率化については、図書館予算の減額が続く中、従来通りの方法・規模での実施が難しくなっており、雑誌製本業務、資産点検業務では規模縮小や契約見直しにより対応した。

(3) 予算及び財務会計業務

經常運営費・經常事業費の当初予算総額は 271,749 千円で、前年度の 296,293 千円から 24,544 千円 8.3%の減となり、予算編成に支障を来したため、当該年度中の複写料等収入見込額 4,000 千円を加え、275,749 千円を当初予算額に設定した。教育研究基盤資料整備費として確保した 3.52 億円（決算ベース）により、外国雑誌を含む電子ジャーナル・データベースの維持及び整備を実施した。また学内ワークスタディ実施経費（782 千円）により、総合・国際文化学図書館、人文科学図書館、人間科学図書館で SA（ステューデント・アシスタント）を雇用した。

(4) 施設整備・システム整備

施設部が各部局より確保して執行する建物老朽劣化対策経費（26,715 千円）により、懸案事項だった自然科学系図書館の外壁補修と、社会科学系図書館書庫 A 棟と総合・国際文化学図書館棟（鶴甲 1 団地 A 棟）の屋上防水が実施された。学習支援機能の強化のため、自然科学系図書館での LC 設置と、資料収容力強化とスペース効率向上のため、自然科学系図書館と六甲台 1 地区に自動化書庫設置を概算要求しており、その計画の推進と実現が、現在の附属図書館における主要な課題の一つである。システム整備としては業務用 PC の Windows7 から Windows10 への入替を順次実施した。

(5) 図書館界での諸活動

国立大学図書館協会では平成 29 年度近畿地区助成事業の担当となり「文献入手スキルアップセミナー」を開催し盛況であった。係員 1 名が海外派遣事業（長期）に採択された。兵庫県大学図書館協議会では引き続き会長館、事務局として協議会の運営にあたった。国立情報学研究所とは大学との連携として 3 部会の委員を務め、JPCOAR でも 2 作業部会員を務めている。他機関・団体等が開催する 6 つの研修や講習会に、講師をのべ 8 名派遣した。図書館諸団体の活動・運営に貢献するのみならず、参加する職員の資質向上につながるものであり、今後も推進が期待される。

2. 学習・教育支援

(1) 開館サービス

◀開館状況▶

- 平成 29 年度の開館時間帯は下表のとおりである。

		総合・国際	社会科学系	自然科学系	人文科学	人間科学	研究所	医学分館	保健科学	海事分館
通常期	平日	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-21:00	8:45-21:00	8:45-17:00	8:45-21:00	8:45-21:00	8:45-20:00
	土曜	10:00-18:00	10:00-19:00	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	休館	9:00-17:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	日曜	休館	10:00-19:00(注1)	10:00-18:00	休館	休館	休館	休館	休館	休館
休業期	平日 17:00まで 土日休館	通常期と同じ	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	通常期と同じ	通常期と同じ	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	
試験期 特別開館	日祝 10:00-18:00	祝 10:00-19:00	祝 10:00-18:00	日祝 10:00-18:00	日祝 10:00-18:00	通常期と同じ	通常期と同じ	日祝 10:00-18:00	平日21:00 まで延長 日祝 10:00-18:00	

(注1) 原則奇数月第1日曜日は除く

- 平成 29 年度は以下の拡充および、拡充に向けての試行を実施した。

1) 海事科学分館定例休館日の廃止（正式運用）

これまで毎月第1水曜日は館内整理日（但し午前12時以降は開館）として定期清掃に充てていたが、平成28年度に定期清掃日を土曜日に変更し、定例休館日を廃止して全日開館を試行した。1年間の試行で混乱や問題は発生しなかったため、本年度より正式運用とした。

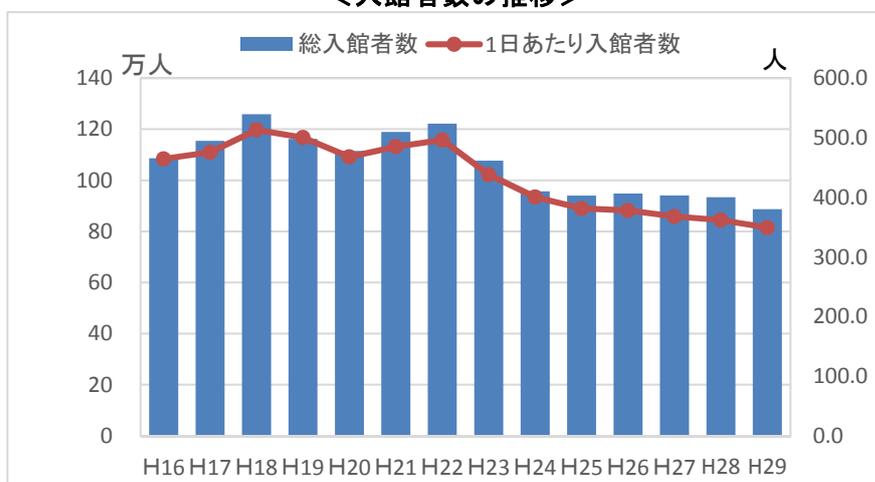
2) 2学期クォーター制に対応した試験期特別開館の拡充（試行継続）

2学期クォーター制導入（平成28年度から）に伴う、総合・国際文化図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館の3館における試験期特別開館拡充の試行を継続した。第1・第3クォーターの第7週及び第8週（試験期間）の日祝日を開館するもので、延べ7日開館日が増えた。3館の試験期日祝日開館状況は下表のとおりである。

		総合・国際	社会系	自然系
第1クォーター	5/28(日) 6/4(日)	特別開館 (試行)	通常開館	通常開館
第2クォーター (前期)	7/16(日)・23(日)・30(日) 8/6(日)	特別開館	通常開館	通常開館
	7/17(月祝)		特別開館	特別開館
第3クォーター	11/19(日)・26(日)	特別開館 (試行)	通常開館	通常開館
	11/23(木祝)		特別開館 (試行)	特別開館 (試行)
第4クォーター (後期)	1/21(日)・28(日) 2/4(日)	特別開館	通常開館	通常開館

上記3館以外の館は、従前どおり前・後期（第2・第4クォーターに相当）試験期間に対して試験期特別開館を行った。

＜入館者数の推移＞



＜入館状況＞

＜入館者数経年推移＞

平成16～29年度の総入館者数及び1日あたりの入館者数の経年推移を上に掲げた。

平成16～25年度の間で減少しているのは、改修工事（総合・国際、社会系）及び入退館管理システム導入の影響があった年である。平成26年度以降も緩やかに減少している。

＜全館入館者数＞

	総入館者数	1日あたり入館者数
H29/H28	0.95	0.96
H28年度	933,960	362.0
H29年度	887,079	349.2

- ・表は、平成29年度の全館入館者数を平成28年度と比較したものである。
- ・総入館者数、1日あたり入館者数ともに減少した。

＜通常開館＞

平日 8:45～17:00 時間帯の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H29/H28	0.98	0.94	0.98	0.97	0.99	0.76	1.04	0.96	0.91	0.97
H28年度	975.3	623.0	337.2	287.2	251.2	22.1	292.3	179.4	101.5	341.4
H29年度	954.3	584.0	329.3	279.0	249.9	16.9	304.2	173.0	92.8	331.8

- ・表は、平日 8:45～17:00 の時間帯の1日あたりの入館者数を平成28年度と比較したものである。
- ・医学分館を除く各館室で前年度より減少している。全体で3%減少しており、次年度以降も動きを注視していく必要がある。

＜夜間開館＞

平日夜間（17:00～）時間帯の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H29/H28	0.91	0.87	0.88	0.94	0.90	—	0.92	0.87	1.16	0.90
H28年度	183.3	108.5	92.4	73.1	39.9	0.0	80.7	39.1	11.9	79.8
H29年度	166.6	94.7	81.7	68.8	36.0	0.0	73.9	34.2	13.8	72.1

- ・夜間開館も海事科学分館を除く各館室で前年度より減少している。全体では約10%減少しており通

常開館より減少幅が大きい。なお、利用が増加した海事科学分館については、平成 30 年度から開館時間を 1 時間延長する試行を予定している。

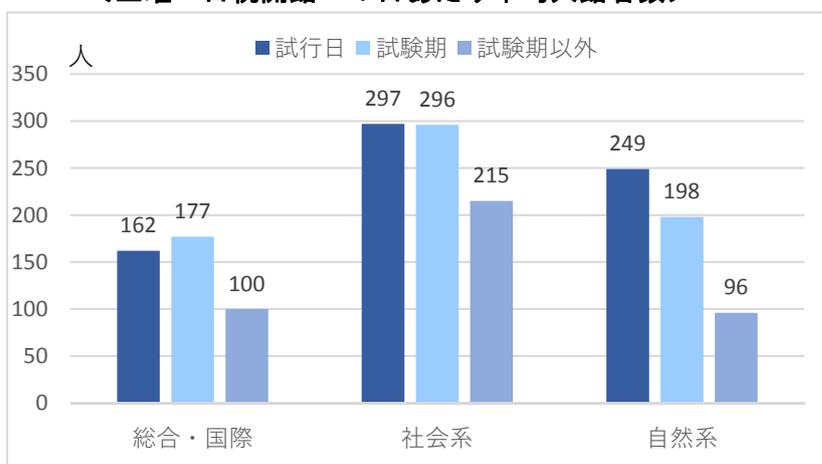
<土曜・日祝開館>

土曜・日祝日の 1 日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H29/H28	0.91	0.83	0.88	0.98	0.97	—	0.97	0.99	0.85	0.89
H28 年度	152.4	289.3	149.4	86.0	36.9	—	100.1	67.0	28.7	135.9
H29 年度	138.8	241.0	131.8	84.6	35.7	—	96.7	66.0	24.5	121.6

- 土曜・日祝開館も全ての館室で前年度より減少している。全体としては、夜間開館と同様約 10% 減少している。

<土曜・日祝開館 1日あたり平均入館者数>



- 試験期特別開館の拡充を試行している総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館での、試行日の 1 日あたりの平均入館者数は、試験期（試行日を除く）に比べて遜色のない数であり、拡充の効果が認められる。

<24 時間開館>

- 医学分館で、医学部・医学研究科・保健学研究科・附属病院所属者を主対象として平成 9 年から実施している。
- 平成 29 年度の利用者数は 21,045 人で、前年度とほぼ同じ数（平成 28 年度：20,896 人）の利用があった。学部 2 年次以上の学生が主に自習や試験準備のために利用している。

◆評価と課題

平成 29 年度の総入館者数は 887,079 人で前年度より約 5%（約 4,700 人）減った。これは年間延べ開館日数が 40 日減少した（前年度比 98%）ことにもよるが、1 日あたりの入館者数も減少しており（約 4% 減）、平成 26 年度以降緩やかな減少となっている。Web 上で利用できる図書館サービスの浸透や電子資料の増加により、直接来館する機会が減りつつあることを考えれば、入館者数が頭打ち傾向になることはやむを得ない面もある。しかし、学修支援をはじめ「場」としての図書館の役割は依然として重要であることから、今後も注意深く動きを見守っていく必要がある。

特に時間外開館については、前年度から 2 学期クォーター制が導入されたことに伴い、本年度も 3 館で試験期特別開館を拡充する試行を継続した。試験期は入館者数が最も増える期間であり、日曜・祝日開館の拡充は必要かつ効果的である。今後学年進行に伴うクォーター制の広がりに応じ、拡充する館室を更に増やすか判断をしていくことになるが、財政状況が一段と厳しさを増していることもあり、ニーズ・利用状況を考慮しながら、全館的視野で適正な開館サービスを提供するよう努めていく必要がある。

(2) 学生用資料整備

館室別の蔵書数、受入図書冊数、資料費総額等は別添基本統計の通りである。

<資料費予算と重点整備>

- 各館室の学生用資料の整備は、図書館予算（図書館セグメント）から各館室に配分した経費と、各館室のサービス対象部局から拠出された経費（部局セグメント）を合わせて実施することとなっている。
- 平成 29 年度の図書館予算は 41,682 千円であった。全学運営費交付金の減額に伴い 10%の減額となった。
- 平成 28 年度より E-Study 事業費（5,345 千円）は独立した予算項目とした。
- 平成 18 年度より震災文庫資料費（400 千円）は独立した予算項目となっている。
- 平成 16 年度より実施している装備付納品を、引き続き総合・国際文化学図書館（940 冊）、社会科学系図書館（1,599 冊）、自然科学系図書館（869 冊）、人間科学図書館（561 冊）において実施し省力化・合理化を進めた。なお保健科学図書室については、購入点数も少なく省力化があまり見込めないことから今年度装備付納品を中止した。

<各館室の整備状況>

H29 受入	総合	国際	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
図書冊数	2,614	273	3,401	1,380	428	635	211	597	586	1,323	11,448
雑誌種数	96	11	20	130	22	136	0	152	80	116	763

- 各館室では配分された資料費をもとに関係部局のシラバス掲載図書の購入をはじめ参考図書、授業関連図書等の資料整備を行った。

<選書体制と収集方針>

- 平成 16 年度に「学生用資料整備計画大綱」（附属図書館運営委員会決定）に基づき各館室図書委員会にて学生用図書資料の範囲、選定体制・方法等の整備計画の策定を行った。
- 総合図書館では「総合図書館学生用資料整備計画」を策定するとともに学生用資料整備を推進するため「総合図書館資料選定委員会」（構成委員は職員）を立ち上げて具体的な選書スケジュール、選書手順などについて検討し、資料整備を進めた。
- また、総合図書館では、学生の声を資料選定に反映させるための試みとして、「学生選書ツアー」（学生が図書館に置いてほしい図書を、書店の店頭で直接手にとって内容を確認しながら選定するというもの）を平成 22 年度より実施している。平成 29 年度は、6 月 23 日にジュンク堂書店三宮店において店頭選書を行った。あわせて 16 名の学生（学部生 12 名、院生 4 名）が参加して選書を行い、146 冊を購入した。学生が必要とする資料の一層の充実を図るため、今後も、こうした取組を継続する方針である。

<選書評価>

- 平成 18 年度から、前年度に整備した学生用図書について、利用状況の分析等による収集資料の評価を開始し、平成 21 年度からは、各館室とも共通したフォーマットによる選定評価を行っている。本年度末には、平成 28 年度に整備した学生用図書の選定評価を実施し、構成と利用の面で選定が適切に行われたことが確認された。（平成 29 年度第 4 回附属図書館運営委員会で報告）

◆評価と課題

平成 26 年度以降、全学運営費交付金の減額に伴い、学生用資料費も減額が続いたが、昨年度の 13% に引き続き本年度は 10% と大幅な削減となった。今後も厳しい予算状況が続くと見込まれるが、教育・学習活動の支援のため予算規模の維持を目指すと共に、より適切な資料選定を行うよう留意する必要がある。また選定評価についても、現状の利用面の評価に他の評価視点を加え、収書の PDCA サイクルの強化を検討する必要がある。

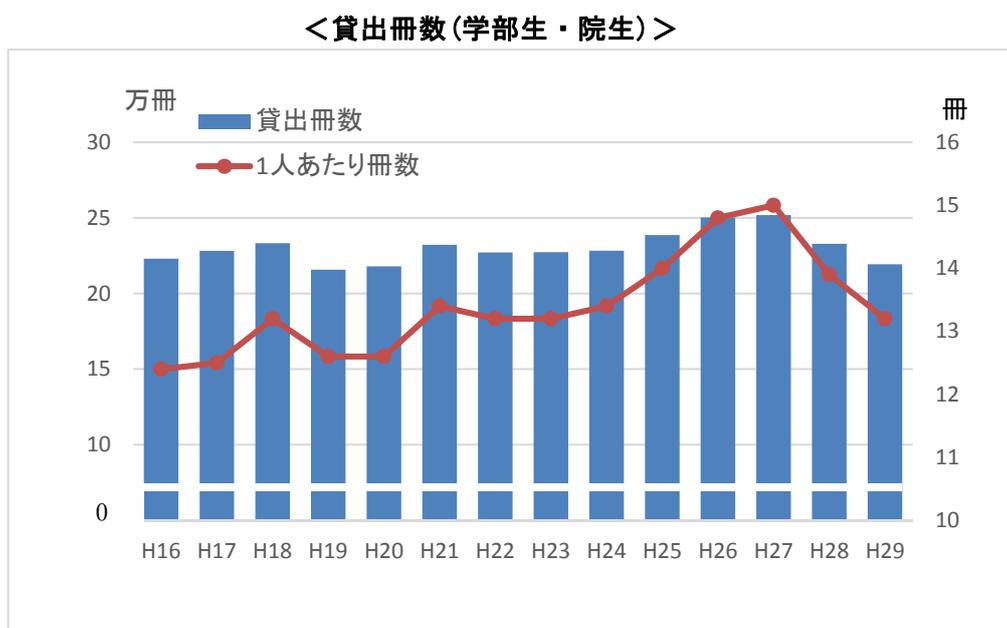
(3) 資料提供サービスと利用促進

貸出及びデリバリ図書配送冊数等の詳細は、付録「基本統計表」(p 74) のとおりである。相互利用サービスについては、2 (4) に後述する。

《貸出サービス》

本年度、運用面に係る変更は特になかった。

<貸出冊数(学部生・院生) 経年推移>



平成 16 ～29 年度の経年推移を上に掲げた。

- ・ 本年度の貸出冊数は、前年度より約 13,500 冊減少し、219,308 冊であった。
- ・ 学生 1 人当たりの貸出冊数は 13.2 冊 (前年度 : 13.9 冊) であった。

<館室別学部生・院生貸出冊数>

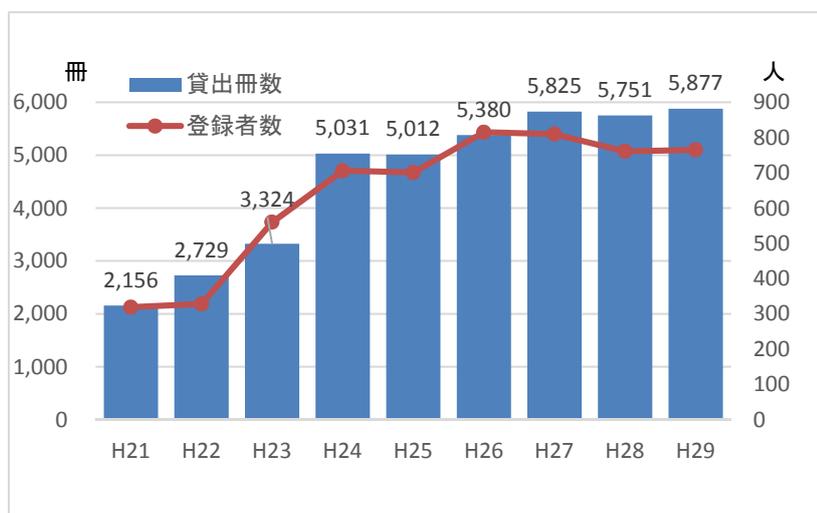
	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H29/H28	0.95	0.92	0.92	1.01	0.93	0.80	0.98	0.97	0.91	0.94
H28 年度	63,427	52,067	37,309	18,785	22,501	780	7,147	13,358	17,442	232,816
H29 年度	60,503	47,954	34,311	19,046	21,023	623	7,025	12,920	15,903	219,308

- ・ 人文科学図書館を除く全館室で前年度より減少した。前年度は 10%以上減少した館が 3 館であったが、本年度は 10%以上の減少は 1 館のみとなり、また全体数の減少も 6%（前年度は 8%減）にとどまったものの依然厳しい状況が続いている。

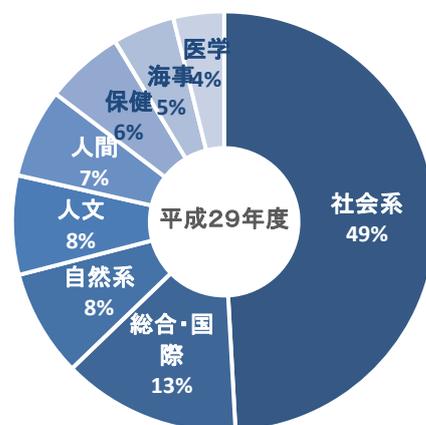
＜卒業生及び修了者に対する貸出＞

本学卒業生及び修了者への貸出サービスは、平成 21 年 3 月から始まった。本年度の登録者数は 765 人（平成 28 年度：761 人）、貸出冊数は 5,877 冊（平成 28 年度：5,751 冊）で、ほぼ前年度と変わらない利用があった。館室別にみても、社会科学系図書館の図書を中心に、各館室の図書が適宜利用されている傾向は変わらない。

＜卒業生貸出の推移＞



＜卒業生館室別貸出数＞



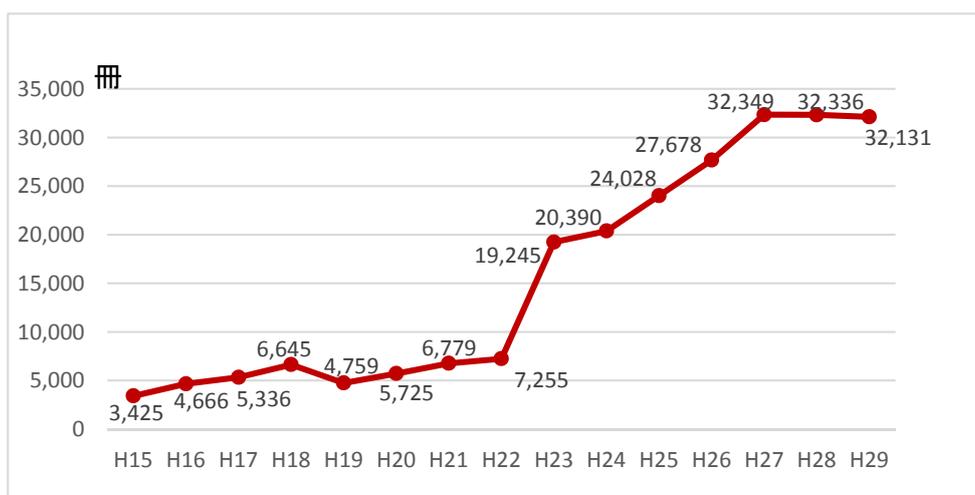
《デリバリ（図書館間資料配送）サービス》

＜デリバリサービスの推移＞

デリバリサービスは、平成 12 年度後期に院生、教職員（異キャンパス間は学部学生も）を対象に始まった。平成 23 年度に激増したのは、六甲台キャンパス内の学部学生にサービスを拡大したことによる。平成 27 年度には経済経営研究所図書館が加わり、全館室でサービスを利用できる体制が整った。

本年度も前年度とほぼ同数の約 32,000 冊の貸出があり、全館室サービス体制が整って以降 3 年間の貸出冊数は安定している。

＜デリバリサービス貸出冊数推移＞



<館別デリバリ取扱冊数>

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H29/H28	1.01	0.94	0.98	0.97	1.04	—	1.30	0.96	0.95	0.99
H28 年度	16,269	12,957	6,522	11,603	8,092	791	1,193	2,267	4,978	64,672
H29 年度	16,419	12,237	6,396	11,269	8,424	1,074	1,548	2,181	4,714	64,262

- ・上の表は、平成 29 年度に他館室へ発送した冊数と他館室から受け取った冊数を館別に合算し、平成 28 年度と比較したものである。
- ・発送冊数と受取冊数を合算しているため、貸出冊数（発送冊数）の 2 倍の数値になっている。
- ・医学分館の冊数が増加しているのは、受取冊数の増加によるものである。

<附属中等教育学校への図書貸出サービス>

附属中等教育学校に対し、総合・国際文化学図書館、人間科学図書館の 2 館が所蔵する図書を貸出するサービスは、平成 24 年度から 28 年度の間「中等教育学校図書室」に後期課程生徒（高校生）向け図書の整備ができるまでの 5 年間限りの特別措置として実施されてきた。このサービスを継承するものとして、平成 29 年 3 月「附属中等教育学校への図書の貸出サービスに関する申し合わせ」が附属学校部長と附属図書館長の間で締結された。この申し合わせにより、配送による貸出サービスに加え、直接中等教育学校生徒が来館して貸出を受けることができるようになった。また本年度から、配送についても、図書館間で実施している配送（デリバリ）便の集配場所に附属中等教育学校図書室を加えた契約とし、手続きの簡素化を図った。

<貸出冊数>

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
総合・国際	134	11	0	246	135	92 (37)
人間	7	25	7	7	54	3
合計	141	36	7	253	189	95

(内数)：直接来館による貸出数

<<利用促進>>

<テーマ図書展示>

平成 26 年度から全館で共通テーマを設定して、所蔵図書からテーマに沿った図書を館員が選び、期間を決めて展示する取組を始めた。平成 29 年度は、総合図書館資料選定委員会のもと、春には「レポート・論文の書き方」を共通テーマとして設定、秋には前年度学生選書ツアーで選定された図書を、ワークショップで作成された POP と共に各館で展示する「巡回展示」を実施した。それ以外の時期にも各館室の特色やイベントに合わせた展示を積極的に行い、年間合計 49 回を次の表のとおり実施した。

展示の種類	実施館	テーマ	実施月
共通テーマ展示	社会科学系図書館	レポート・論文の書き方	4 月
共通テーマ展示	自然科学系図書館	レポート・論文の書き方	4 月
共通テーマ展示	経済経営研究所図書館	レポート・論文の書き方	4 月
共通テーマ展示	医学分館	論文・レポート・ステップアップのコツとテクニック	4 月
共通テーマ展示	海事科学分館	レポート・論文の書き方	4 月
共通テーマ展示	人間科学図書館	レポート・論文の書き方	4 月

—	総合・国際文化学図書館	ULiCS 文庫:大学生活で印象に残った本、新入生にお勧めしたい本	4月
共通テーマ展示	総合・国際文化学図書館	大学生になってまず最初に知っておきたい!レポートの書き方	4月
共通テーマ展示	人文科学図書館	レポート・論文の書き方	5月
—	医学分館	プレゼン。	6月
共通テーマ展示	保健科学図書室	論文・レポートの書き方	6月
—	海事科学分館	世界を変えたあの人この人	6月
—	人間科学図書館	教師を知る	6月
—	総合・国際文化学図書館	そうだ 料理、しよう	6月
—	社会科学系図書館	指導者とは?	6月
—	総合・国際文化学図書館	まごまご読書倶楽部 一旅 それぞれのグレートジャーニー	7月
—	人文科学図書館	夏だ! どう過ごす?	7月
—	総合・国際文化学図書館	学生選書ツアー選定図書 2017	7月
—	総合・国際文化学図書館	ULiCS 文庫:夏休みに読みたい本	7月
—	医学分館	医を志す人に贈るーはじめに読む本ー	8月
—	人間科学図書館	こころのこと	8月
—	総合・国際文化学図書館	趣味語学のすゝめ -言語でめぐる世界-【お昼休みトークイベント開催】	8月
—	社会科学系図書館	業界研究	9月
—	経済経営研究所図書館	経済経営研究所だけに置いてある本	9月
巡回展示	人文科学図書館	学生選書ツアー選定図書~学生が本屋で選びました!~	10月
—	人間科学図書館	生活と仕事	10月
—	総合・国際文化学図書館	「職業と学び」講師のおすすめ図書【キャリアセンターコラボ展示】	10月
—	人文科学図書館	留学	11月
巡回展示	医学分館	学生選書ツアー選定図書~学生が本屋で選びました!~	11月
—	総合・国際文化学図書館	漱石さんと子規さん 生誕 150 年	12月
—	総合・国際文化学図書館	第3回書評・キャッチコピーコンテスト受賞作品	12月
—	総合・国際文化学図書館	まごまご読書倶楽部 一ジェンダー	12月
—	総合・国際文化学図書館	ULiCS 文庫:冬のオススメ本	12月
巡回展示	自然科学系図書館	学生選書ツアー選定図書~学生が本屋で選びました!~	12月
—	人間科学図書館	音楽療法	12月
—	社会科学系図書館	ディスカッションのテクニック	12月
—	医学分館	貸出ゼロの本	12月
—	海事科学分館	教員推薦図書	12月
—	医学分館	医学生による医学生のためのオススメ本	1月
—	総合・国際文化学図書館	お昼休みトークイベント「映画で広げる知的フィールド」関連展示	1月
巡回展示	人間科学図書館	学生選書ツアー選定図書~学生が本屋で選びました!~	1月
—	自然科学系図書館	就活応援 2018	1月
—	人文科学図書館	先生のオススメ本(文学)	1月
巡回展示	社会科学系図書館	学生選書ツアー選定図書~学生が本屋で選びました!~	2月
—	人間科学図書館	社会の多様性を考える	2月
—	自然科学系図書館	大著(物理的に)	2月

巡回展示	保健科学図書室	学生選書ツアー選定図書～学生が本屋で選びました！～	3月
—	人文科学図書館	先生のおススメ本(哲学・史学・社会文化)	3月
巡回展示	海事科学分館	学生選書ツアー選定図書～学生が本屋で選びました！～	4月

<イベント>

・書評・キャッチコピーコンテスト

附属図書館の資料活用の活性化を図る企画の一環として平成 27 年度から始まった。自分の伝えたいことを表現する機会を設けるとともに、他者の読書体験を通して多様な読み方に触れてもらうことを目的として、比較的長文の書評部門と、短文のキャッチコピー部門の 2 部門で募集した。本年度は書評部門に 9 編（前年度 14 編）、キャッチコピー部門に 17 編（同 50 編）の応募があった。投稿された作品は総合・国際文化学図書館内に掲示し、利用者と職員による投票により優秀作品を決定した。利用者の投票数は書評部門 25 票、キャッチコピー部門 56 票であった。

・お昼休みトークイベント

第 1 弾『趣味語学のすゝめ』：4 回シリーズ

8 月に総合・国際文化学図書館で実施したテーマ展示「趣味語学のすゝめ」に賛同くださった教員と協力し、4 回シリーズで開催した。昼休みの短い時間ながら毎回立ち見が出る盛況となり好評であった。

(参加人数総計：139 名)

【各シリーズ内容】(11 月 13～16 日開催、各回とも講師は教員)

- ①「趣味語学のすゝめ：成功のいない語学の楽しみ方」
- ②「又焼と杏仁豆腐：知っているのに知らない中国語の世界」
- ③「文法書のない言語を山奥で学ぶ：『世界の屋根』でフィールド言語学する」
- ④「国民全員がマルチリンガル：多言語国家ルクセンブルク」



第 2 弾『映画で広げる知的フィールド』：4 回シリーズ

11 月に実施した第 1 弾の好評を受け、国際文化学研究科国際文化学研究推進センター(Promis)2017 年度研究プロジェクト「映像メディアにおける注意と情動に関する領域横断的研究」の協力を得て企画された。同研究科の 4 名の教員に講演いただいた。第 2 弾も毎回立ち見が出る盛況となり好評であった。(参加人数総計：194 名)

また同研究科内共通資料(復刻版雑誌『キネマ旬報』)との連動により関連資料展示を行った。

【各シリーズ内容】(1 月 15～18 日開催)

- ①「ゾンビ映画：その人気の秘密」
- ②「怖いものは見たい?：怖さと心の関係」
- ③「映画は『透明』を映せるか：透明人間から考える」
- ④「映画のこともっと知りたくなる映画：色彩、音、観客」



◆評価と課題

平成 29 年度の学部生・院生への貸出総冊数は 219,308 冊で、前年度から約 13,500 冊、約 6%の減少となった。大学院生よりも学部生の方が大きく減っている傾向は変わっていない。平成 27 年度から 3 年連続で学生用図書資料費が前年度から減額となり、新刊書購入冊数が減少したことが影響していると思われる。次年度以降も注意深く動きを見ていく必要がある。

	学部生	院生	合計
H29/H28	0.93	0.96	0.94
H28	135,372	97,444	232,816
H29	125,970	93,338	219,308

利用促進は、前年度と同様に積極的に取り組んだ。特にテーマ図書展示は単に回数が増えただけでなく、前年度学生選書ツアーで選定購入した図書を各館に巡回展示して広く紹介する新企画や、展示テーマに触発された教員と協力して同テーマの「昼休みトークイベント」を開催することになる等、教員や学生を巻き込んだ新たな動きへ繋がる変化がみられた。書評・キャッチコピーコンテストは本年度で 3 回目の開催となり、一定の応募がある一方で、応募者が同じ顔触れになるといった課題も出てきている。若者の活字ばなれや電子書籍の普及など、読書行動そのものが変化している時代において、図書と利用者を繋ぐ取組は、地道に、しかしマンネリ化しないよう、時間をかけて定着を図っていくことが肝要であろう。

今後も厳しい予算状況が続くと想定されるが、教員及び教育関連部署と連携し、カリキュラム・授業と連動した適切な資料提供に努めるとともに、利用促進の取組を継続していくことが必要である。

(4) 図書館相互利用 (ILL) サービス

<相互利用サービス>

区分			総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
複写	受付	H29/H28	1.05	0.79	0.38	1.05	1.23	0.86	0.91	1.11	0.88	0.83
		H28 年度	176	3,023	1,089	456	382	188	1,392	604	180	7,490
		H29 年度	185	2,386	410	477	468	161	1,269	669	158	6,183
	依頼	H29/H28	0.86	1.17	0.93	1.00	0.83	1.00	0.90	0.87	0.81	0.98
		H28 年度	778	2,007	481	778	918	9	575	812	77	6,435
		H29 年度	670	2,349	445	777	766	10	518	708	62	6,305
貸借	受付	H29/H28	0.96	1.02	0.62	0.90	0.92	1.12	0.94	1.00	1.09	0.97
		H28 年度	517	1,546	149	563	228	25	17	9	65	3,119
		H29 年度	498	1,582	92	508	209	28	16	9	71	3,013
	依頼	H29/H28	0.75	1.23	0.64	0.69	0.80	1.44	0.88	0.77	0.25	0.84
		H28 年度	299	385	140	600	171	16	8	13	8	1,640
		H29 年度	223	475	89	414	137	23	7	10	2	1,380

- ・館室によって増減はあるが、全体として前年度と比べて文献複写の受付は 17%減、依頼は 2%減、現物貸借の受付は 3%減、依頼は 16%減となっている。

◆評価と課題

平成 29 年度の利用は全体として減少傾向にあり、特に自然科学系図書館の複写受付の減少は激しく（前年度比 62%減）今後の推移に注目していきたい。

社会科学系図書館は、複写は全体の約 39%、貸借は約 53%を受け付けており社会科学系の外国雑誌センター館として、また地域の中核となる図書館として、その責務を果たしていることがわかる。

(5) 学生との協働及び学生参加型の取組

<附属図書館学生チーム ULiCS>

学生との協働を目的に平成 27 年 10 月に発足した「附属図書館学生チーム ULiCS (うりくす)」は本年度末時点で 15 名が参加している。定例会として職員とのミーティングをひと月に一度程度定期的に開催し、それ以外に学生のみもしくは活動中のグループごとの打合せは随時行っている。本年度の活動状況は、以下のとおりである。

4 ~ 6 月	3 月末、社系書庫マップを作成。本年度から配布開始 総合・国際文化学図書館において ULiCS 文庫テーマ展示「大学生活で印象に残った本、新入生にお勧めしたい本」を実施。メンバーが大学生活で印象に残った本、新入生にお勧めしたい本計 27 冊を、自作の POP を添えて展示
4/10-14	総合・国際文化学図書館の新入生向け図書館ツアーにおいて、同館職員と協働して案内
4/20	鶴甲第一 LC において団体説明会を実施
5/15	全館図書館ツアー(医学・保健を除く)を職員引率のもと実施
6/28	まごまご読書倶楽部を総合・国際文化学図書館グループ学習室で開催 テーマは「旅」、紹介した本の一部を同館内に展示
7 月	グッズ企画班と職員でうりこのボードを作成。イベント等で逐次利用
7 ~ 11 月	ULiCS 文庫に「夏休みに読みたい本」を展示(52 冊) 適宜総合・国際文化学図書館で POP 作成の回を設けた
8/10	職員と協働で、国際人間科学部オープンキャンパス時の総合・国際文化学図書館ツアーを実施
11/7	第 19 回図書館総合展参加、ULiCS の活動内容について報告
12 月	ULiCS 文庫に「冬のオススメ本」を展示 団体誌『The ULiCS Times』の第 1 号を発行・公開。 図書館企画「書評&キャッチコピーコンテスト」に「ULiCS 図書館賞」を制定、該当作品 1 作を選出
12/15	まごまご読書倶楽部を鶴甲第一 LC で開催。テーマは「ジェンダー」
1/22	まごまご読書倶楽部を人文科学図書館 LC で開催。テーマは「児童文学」、11 名参加
3/9	「神戸大学 Radio! ~等神大の私たち~」に学生メンバー 3 名が出演、3/30(金) 21 時放送
3 月	『The ULiCS Times』第 2 号を校了、4 月初旬から配布・公開予定 「うりこ LINE スタンプ」第 2 弾を申請

上記以外に、図書館グッズの検討、メンバー募集のための新歓ポスターの作成や Twitter による広

報を行っている。

ULiCS の活動に関する職員側の対応は、図書館アウトリーチ WG が担当している。

<学生協働関連イベント等への派遣>

前年度に引き続き、他機関開催の学生協働関連イベントへ ULiCS メンバーを派遣した。本年度は第 19 回図書館総合展（11 月 7 日、パシフィコ横浜）にメンバー 2 名と引率の職員 1 名で参加し、「第 2 回 学生協働サミット」において ULiCS の活動内容について壇上で報告を行った。

<附属図書館マスコットキャラクター「うりこ」LINE スタンプ第 2 弾>

学生からの投書がきっかけで制作した附属図書館マスコットキャラクター「うりこ」の LINE スタンプ第 1 弾につづき、第 2 弾の希望問い合わせが多く、平成 30 年度 4 月販売開始を目指し、1 月 18～31 日までアイデアを募集した。今回も企画から制作に至るまでのすべてを図書館アウトリーチ WG が行ったが、今回は学外からもアイデアを募集した。ULiCS は前回から引き続き、集まったアイデアからラフ案の作成、完成図案の確認まで、様々な場面で参画した。売り上げも一定数あり、購入者の間でも使用がある程度継続されている模様である。



（うりこ）

第 2 弾の状況を見つつ、他の活動とも関連させながら活用していきたい。

<その他の企画>

1. 「まごまご読書倶楽部」

6 月 28 日、会場：総合・国際文化学図書館グループ学習室、テーマ：「旅」

12 月 15 日、会場：鶴甲第一キャンパス LC、テーマ：「ジェンダー」

1 月 22 日、会場：人文科学図書館 LC、テーマ：「児童文学」

前年に続き、定めたテーマに沿った本や最近読んだ本について等まごまごつらつら話し合う座談会を開催した。気軽に参加できる読書会を催すことで、学内における身分や分野の壁を排したコミュニケーションの場を創造することを目的とした企画であるが、ULiCS に関わってもらうことで、ある程度の効果は表れていると思う。まだ職員主導ではあるが、本企画を ULiCS の活動として継続的に開催できる基盤はできつつある。

2. 「ULiCS 文庫」

4 月 テーマ：大学生活で印象に残った本、新入生にお勧めしたい本

7 月 テーマ：夏休みに読みたい本

12 月 テーマ：冬のオススメ本

会場：総合・国際文化学図書館 2F 展示コーナー

各テーマに沿って ULiCS が中心になって選書から展示リスト作成、設営等を行っている。

◆評価と課題

ULiCS は、発足 3 年目となった。自然科学系図書館に設置された部室を活動拠点として生かすことが今後の目標の一つである。参加学生数の多寡や個々人の忙しさによって、多少の浮き沈みは予想されるが、チームが自発的に活動できるよう引き続きサポートに努めたい。

学生参加型のイベントとして読書会と展示(文庫)を挙げた。ULiCS が図書館の資料を使って企画をすることで、他の学生たちが資料へ興味を持つきっかけとなるよう、他の催しも継続して模索していきたい。

(6) 情報リテラシー教育の推進支援

<情報基礎>

- 全学共通教育必修科目「情報基礎」では、平成 20 年度より 1 コマ (90 分) が「情報の活用：レポート・論文作成のための情報リソース活用法」にあてられ、図書館職員が担当している。本年度は、5 月を中心に計 23 回 (補講・再履修を含む) の講義 (実習を含む) を行った。
- 担当当初から、情報リテラシー係と各館室のサービス係員で構成される「情報リテラシー教育支援 WG」を組織し、WG メンバーで分担して講義を行っている。本年度は、学部新生全員に補講受講者を加え、2,633 人が受講した。
- 授業内容は、図書館ホームページや各種 Web サービス、データベースの紹介をはじめ、OPAC・CiNii Books を使った検索実習の他、資料の引用方法等、初歩的な内容としている。授業途中にベストリーディングを予想するクイズを行うなど、学生が興味を持ちやすい工夫を行った。
- 講義後の受講生のアンケート結果では、全ての項目で肯定的な選択肢への回答が 95%前後となっており、概ね好評であった。
- 講義後の受講生のアンケート等を踏まえ、次年度に向けて、授業内容やテキスト・課題・理解度テストの再検討を行った。

<初年次セミナー>

- 前年度より新たに設けられた各学部専門必修科目「初年次セミナー」において、図書館を活用した授業は以下の通りである。
- 各館サービス係が中心となり、図書館ツアーや検索ガイダンスの計画・実施を担当した。

実施日	内容	回数	人数	場所
4/7-4/21	経済学部 図書館ツアー	9	279	社会科学系図書館
4/14	工学部建築学科 検索ガイダンス	1	94	工学研究科
4/14-4/21	国際人間科学部グローバル文化学科 図書館ツアー	9	139	総合・国際文化学図書館
4/20	理学部化学専攻 検索ガイダンス・図書館ツアー	1	30	自然科学系図書館
4/21-5/19	海事科学部 検索ガイダンス・図書館ツアー	6	154	海事科学分館
4/21	工学部応用化学科 図書館ガイダンス・図書館ツアー	1	106	工学研究科 社会科学系図書館
4/28-5/12	文学部 検索ガイダンス・図書館ツアー	4	108	人文科学図書館
5/12	国際人間科学部環境共生学科 図書館ツアー	4	77	総合・国際文化学図書館
5/22-5/29	法学部 図書館ツアー	2	40	社会科学系図書館
	合計	37	1,027	

<ライティングセミナー>

- 前年度に引き続き「レポート執筆攻略セミナー：大学生のための RPG」と題し、ライティングセミナーを実施した。序章にあたる「レポートってどう書くの？」への参加者が予想外に多く会場に入りきれない参加者が出たため、急遽、翌日より広い会場で同内容を実施した。参加者は前年の 137 名 (全 4 回) から、本年度は 399 名 (全 6 回) と大幅に増加した。1、2 回は図書館職員が、3 回から 6 回までは教員が講師を務めた。

実施日	内容	回数	人数
4/11-4/12	レポートってどう書くの？	2	160
4/17	Logical Thinking for Writing ～論理的に考える作法～	1	120
4/25	論理的なコミュニケーション	1	54
5/8	理系レポート・論文の書き方	1	56
5/16	ランチタイムブレイク「WRITE & CITE」	1	9
	合計	6	399



< 学術英語スキルアップセミナー >

- 前年度に引き続き、2月15日、附属図書館と大学教育推進機構国際コミュニケーションセンター・学術研究推進本部・男女共同参画推進室との共催により、大学院生や若手研究者を対象としたワークショップ「Take a New Step! 学術英語スキルアップセミナー」を開催した。参加者は67名であった。参加者がペアを組んで行う実習なども組み込まれており、アンケート回答には「効果的な練習方法を提示してもらえた」「実際に使えるような内容で非常にためになった」等の意見が寄せられ、充実したものとなった。



< ガイダンス等 >

- 情報リテラシー係と情報リテラシー教育支援WGメンバーが中心となり、以下のガイダンス等を実施した。
- 一部を除き、各データベース説明会はベンダーから外部講師を招いて実施した。その後は職員が講師を務めた。
- 4月には、新入生を対象として、各館室で図書館ツアーを集中的に実施した。
- 図書館主催ガイダンスは、8館で実施した。また、教員からの依頼によるオーダーメイド・ガイダンスも多数実施した。
- 実施会場はiMac端末の設置場所、またはLCとし、参加者が端末操作して実習できるようにしている。広い会場には、スクリーン・プロジェクター・スピーカーやマイク等を持ち込んで使用し、参加者が理解しやすくなるように努めた。

◆ 図書館主催ガイダンス・図書館ツアー(職員講師担当)				
実施日	内容	回数	人数	場所
4/17-4/20	図書館 HP を使いこなそう!	3	6	総合・国際文化化学図書館
5/10	雑誌論文の探し方(海事科学編)	2	9	海事科学分館
5/30-6/9	図書館利用入門：医学職員向け	8	18	医学分館
6/13	雑誌論文の探し方(自然科学編)	2	9	自然科学系図書館
6/14	参考文献の見方・書き方(自然科学編)	1	5	
	EndNote basic 説明会	1	4	
6/16	雑誌論文の探し方(人文科学編)	2	2	人文科学図書館
6/20	雑誌論文の探し方(社会科学編)	2	17	社会科学系図書館
6/21	参考文献の見方・書き方(社会科学編)	1	10	
	EndNote basic 説明会	1	10	
6/23	雑誌論文の探し方(人間科学編)	2	3	人間科学図書館
7/3	雑誌論文の探し方(国際文化化学編)	2	6	総合・国際文化化学図書館
10/24	雑誌論文の探し方(自然科学編)	2	8	自然科学系図書館
10/25-10/26	参考文献の書き方・見方(自然科学編)	2	8	
10/25-10/26	EndNote basic 説明会	2	4	社会科学系図書館
10/31	雑誌論文の探し方(社会科学編)	2	4	
11/1-11/2	参考文献の書き方・見方(社会科学編)	2	4	社会科学系図書館
11/1-11/2	EndNote basic 説明会	2	2	
11/7	雑誌論文の探し方(国際文化化学編)	2	7	総合・国際文化化学図書館
11/8	参考文献の書き方・見方(国際文化化学編)	1	5	
11/8	EndNote basic 説明会	1	6	保健科学図書室
11/15	EndNote basic 説明会	1	4	
4月	新入生図書館ツアー	73	241	各館
4月-2月	オーダーメイドガイダンス/ツアー	37	992	各所
小計		154	1384	
◆ 図書館主催ガイダンス(外部講師)				
実施日	内容	回数	人数	場所
5/24	Web of Science 説明会	2	14	海事科学分館
6/5	UpToDateAnywhere 説明会	1	2	医学研究科第一会議室
6/12	SciFinder 説明会	2	50	情報基盤センター分館
6/27	eol 説明会	2	12	社会科学系図書館
6/28	Lexis Advance 説明会	2	8	
小計		9	86	
合計		163	1470	
◆ その他				
実施日	内容	回数	人数	場所
4月-10月	オリエンテーション等 (資料配布の上、職員が説明するもの)	11	1658	各所

<パスファインダー-KULiP>

- 平成 25 年度より、図書館による学修支援の一環として KULiP (Kobe University Library Pathfinder)を運用している。授業シラバスに沿った指定書や、授業内容に関連した資料を担当教員のコメント付きで紹介する「授業資料ガイド」に、「資料／情報の探し方ガイド」「セルフラーニング（セミナー・ガイダンス等配布資料）」を加え、総合的パスファインダーとして発展させてきた。（本年度作成授業資料ガイド数：31）

<レファレンスカウンター>

- 本年 7 月より総合・国際文化学図書館のカウンター横にレファレンスカウンターを設置した。休み時間（1・2 限間、3・4 限間、昼休み）に情報リテラシー係が対応し、延べ 330 件強の利用があった。問い合わせ内容の内訳は、教育用端末・教育用プリンターや無線 LAN に関するものが全体の約 3 分の 1 と最も多く、次いで、探している図書が見つからない、希望する資料を本学が所蔵しているか知りたいといった学内所在調査に関するもの、館内設備や図書館サービス内容に関する問い合わせの順であった。
- 問合せの多い質問については「よくある質問 Q&A」を作成し、利用者が自由に持ち帰れるよう、レファレンスカウンター横などに配架した。

<広報>

- ガイダンスやイベントの情報は、ポスター、チラシ、図書館や大学ホームページのお知らせ、ツイッターなど、さまざまな媒体を通じ、広く発信することを心掛けている。
- 平成 27 年度より運用を開始した公式ツイッターでは、速報性を重視するとともに、各館のユニークな発信を心がけた。本年度終了時点でツイート数が約 4,700 回、フォロワー数は約 3,300 名となり、人気も高く、着実に情報共有の輪が広がっている。

◆評価と課題

14 年目に入った必修科目「情報基礎」は、図書館にとって、大学教育に直接的な貢献ができるだけでなく、図書館利用者の教育という面でも大きな効果を得ている。授業の課題は、「テーマに従って検索した図書を実際に図書館で探す」という実践的な内容として、授業内容の定着を図っている。新入生には、図書館に初めて足を運ぶ機会になり、その経験が新鮮なためか、良好な反応がアンケートに多数みられる。また、授業内容も、学生の理解度を増すとともに、授業中の注意力が散漫にならないよう工夫し、絶えず改善を施す努力を続けている。

2 年目となった「初年次セミナー」は、授業に図書館ツアーや検索ガイダンス等を取り入れる学部・学科が前年より増え、参加人数は大幅に増加した。今後、「情報基礎」と共に、新入生が図書館利用法を学ぶ貴重な機会となることが期待される。さらに多くの授業へ拡充していくよう教員への広報に努めたい。

図書館主催ガイダンスは、実施回数は前年並みながら、参加人数はやや増加した。しかし全体の学生数から見れば、ガイダンスへの参加者数の割合はまだ少なく、広報の工夫や、学生の授業日程を踏まえた開催時期・曜日・時間等の検討が常に必要である。

オーダーメイド・ガイダンスの依頼は前年並みであった。学科・専修単位で毎年実施している例もあり、専門分野における情報リテラシー教育支援の一例として、今後も継続していく意義がある。また、オーダーメイド・ガイダンスでは、依頼者が所属する学部・研究科のサポート館職員ができるだけ講師を担当するようしており、職員の教育能力向上に資する機会ともなっている。

パスファインダー「KULiP」の「授業資料ガイド」については、参加授業数は前年並みであった。ただ、全授業数から見れば参加授業数は少なく、教員に対する更なる周知が必要である。

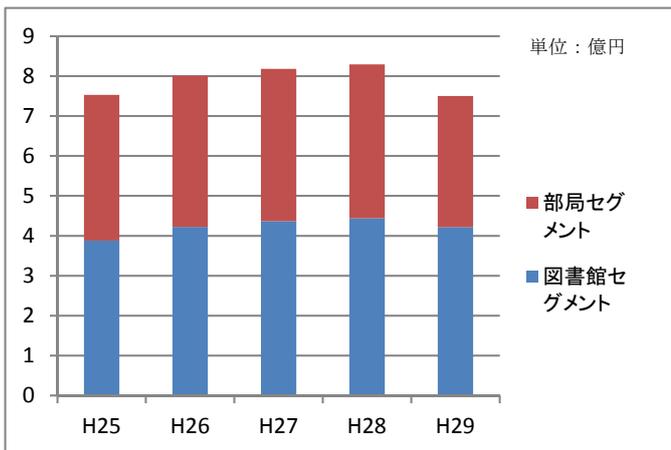
3. 学術研究支援

(1) 研究用資料の整備

各館室の蔵書数、受入図書冊数、資料費等は統計（p 73）のとおりである。

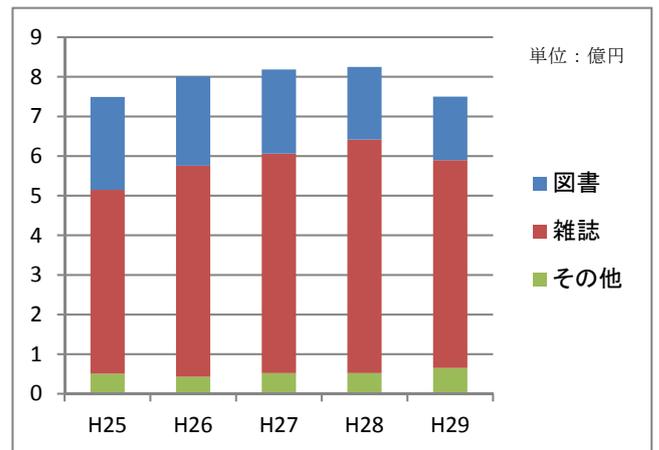
<資料受入状況>

(図 1) <資料費経年推移>



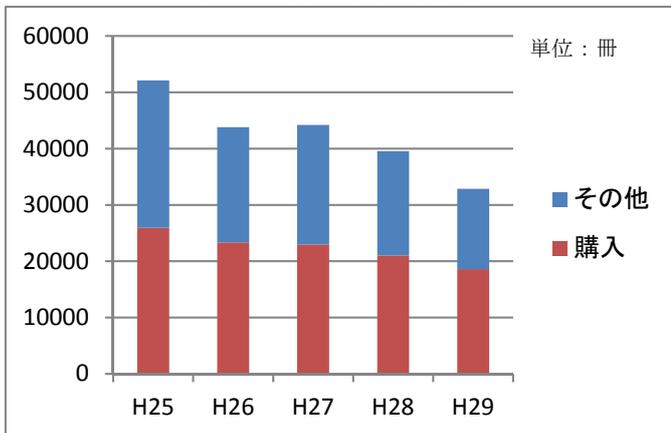
* 教育研究基盤資料整備費は図書館セグメントに含む

(図 2) <資料費の用途別内訳推移>



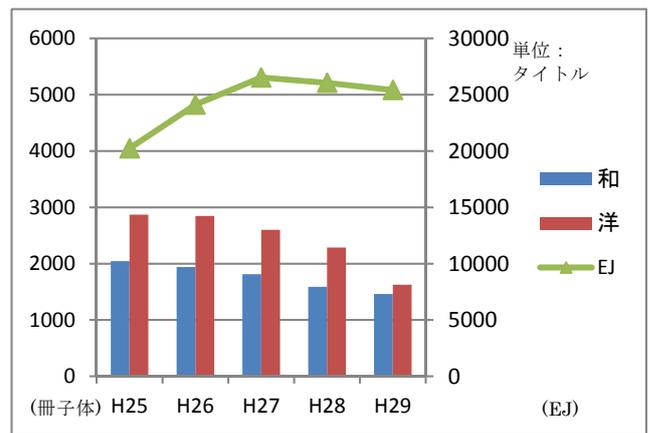
* 電子ジャーナル等は雑誌として計上

(図 3) <受入図書冊数経年推移>



* 「購入」は一般財源のみ、科研費等は「その他」とした

(図 4) <購入雑誌数経年推移>



* 「購入」は一般財源のみ

- 資料費において、電子ジャーナル・データベース等の提供維持のための経費である「教育研究基盤資料整備費」を含む図書館セグメント分が平成 28 年度比で 0.22 億円減少し、約 4.2 億円となっている。部局セグメント分も平成 28 年度比 0.57 億円減少し、約 3.3 億円である。図書館を含め各部局予算が緊縮に向かったことが如実に表れている。(図 1)
- 資料費は、図書が平成 25 年度比で 0.74 億円減少し、雑誌（教育研究基盤資料を含む）が 0.6 億円増加している。大学全体の資料費は平成 26 年度から約 8 億円を維持していたが、約 7.5 億円と平成

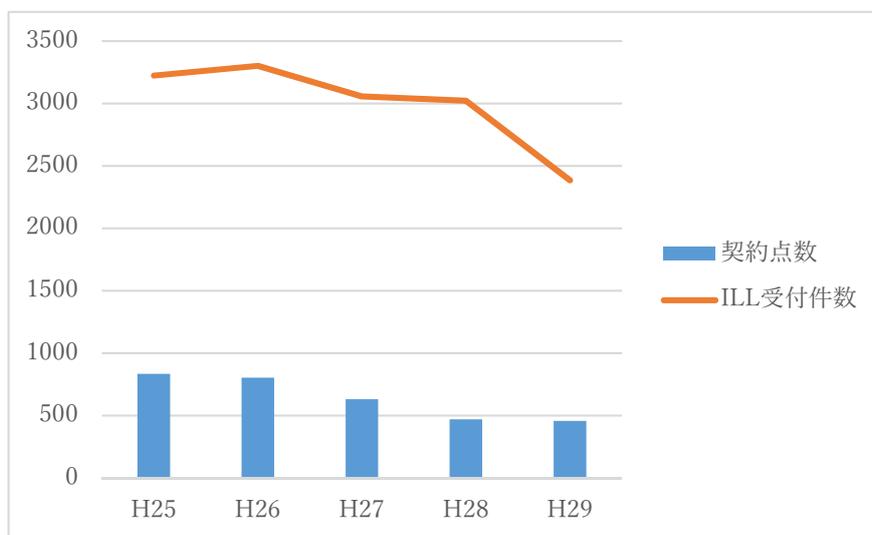
25年度の水準に戻っている。(図2)

- ・ 受入図書冊数は図書購入費に比例し平成25年度比で7,300冊余り減少している。その他受入冊数は、製本予算の縮減により減少が続いている。(図3)
- ・ 2年連続の部局予算の縮減に伴い、雑誌(冊子)購入タイトル数は減少を続けている。和雑誌は平成27年度比19%減、洋雑誌は同じく37%減となった。一方、電子ジャーナルタイトル数は教育研究基盤資料整備費でパッケージを維持したことにより、約2.5万タイトルで平成27年度比約4%減となった。(図4)

<外国雑誌センター館>

- ・ 昭和61年度より「人文・社会科学系外国雑誌センター館」の指定を受け、国内での所蔵館が3館以内の外国雑誌を体系的に収集し、全国共同利用に供している(配架は社会科学系図書館)。分野別の外国雑誌センター館は全国で計9大学に設置され、人文・社会科学系は一橋大学と神戸大学の2大学で分担収集を行っている。
- ・ 平成26年度まではタイトル数を大きく減少させることなく維持してきたが、主として為替変動の影響により平成26年度に購読タイトルの見直しを行い、所蔵館が3館以上となっていた雑誌を中心に約150誌の中止を決定、さらに図書館予算全体の縮減を受け、平成29年度は457誌となった。
- ・ ILL複写サービスについては、他機関からの複写依頼を常時受け付け、迅速な対応により外国雑誌センター館としてのサービス体制を継続している。

<契約点数とILL受付件数(社会科学系)の推移>



◆評価と課題

平成29年度は、「教育研究基盤資料整備費」3.52億円(決算ベース)が措置され、電子ジャーナル及びデータベースは平成26年度の規模を維持することができた。しかしながら、海外電子配信への消費税導入や為替レートの変動、電子ジャーナルパッケージの価格上昇により所要額が上昇の一途をたどっている。一方、人件費の上昇等により、大学全体の予算は厳しさを増してきている。そのような状況下ではあるが、大手2社の電子ジャーナルパッケージについて、2018~2020年の3年間維持することが大学執行部及び部局長会議で認められた。また、第3期中期計画後半である2019~2021年の基盤資料整備費全体について、附属図書館運営委員会で議論を行い、部局等への補填割合を減額することにより、基盤となる部分を維持する方向を確認した。平成30年度当初に関係各所の承認を

得る予定である。

学生用図書費を含む附属図書館運営経費は平成 28 年度大幅な減少となったが、平成 29 年度も約 8%の減額となった。学内各部局一律に減額となったもので、相対的に大学全体の総資料費に占める図書費の割合が下がり続けている。電子ジャーナル・データベースとともに図書費の確保も課題である。

外国雑誌センター館においては、従来のいわゆるレア・ジャーナル（国内での所蔵が稀少な雑誌）を主な対象としている。紙ベース資料の保存もセンター館の責務であったが、毎年の図書館予算削減に対応するため、平成 29 年度は一部紙ベースの雑誌を中止して、電子ジャーナルパッケージの導入を開始した。今後も図書館予算の減額が予測されることから、外国雑誌センター館の維持そのものが厳しくなってくる見通しである。

（２）電子的情報基盤の整備

<外国雑誌と電子ジャーナル>

有料で導入している主な電子ジャーナルは次のとおりである。

	分野	導入年	誌数	範囲	備考
Elsevier 社 ScienceDirect	全分野	H14	2,400	1995～	コンソーシアム契約によるフリーダムコレクション
Elsevier 社 ScienceDirectBackFile	全分野	H21	2,000	(分野による)	
Springer 社 SpringerLINK	多分野	H14	1,600	2000～	主要部分は創刊号から
Wiley-Blackwell 社 WileyInterScience	多分野	H14	1,400	1997 前後～	発行のほぼ全タイトル
JSTOR	自然科学 及び社会科学	H14	1,500	創刊号～ (最近 3～ 5 年は対象外)	Arts & Sciences I (H14～) Arts & Sciences II (H17～) Arts & Sciences III (H19.3～) Arts & Sciences IV (H18.3～) Arts & Sciences V (H23.1～) Arts & Sciences VI (H23.1～) Arts & Sciences VII (H21.4～) Arts & Sciences VIII (H23.1～) Arts & Sciences IX (H23.1～) Life Sciences (H15～) Business III (H23.1～)
Nature 社	自然科学	H15	40	創刊号～	
AAAS Science Online	自然科学	H15	1	過去 5 年	
APS	物理系	H16	9	2001～	米国物理学会
Cell Press	生命科学	H16	9	1996～	ScienceDirect で利用
LWW via Ovid	医学臨床	H16	11	1996～	パッケージ購読は 2015 年度まで
ACS	化学系	H16	40	1996～	米国化学会

Oxford University Press	多分野	H17	260	1996～	2014年刊行タイトル(うち171誌は創刊号から)
Cambridge University Press	多分野	H18	300	1997～	発行のほぼ全タイトル(うち89誌は創刊号から)
AAS Historical Periodicals Collection	多分野	H29	4000	1684 1912～	アメリカ古書協会

- ・ その他、単体で購読しているもの等も加えて、平成 29 年度末における電子ジャーナル購読数は 25,424 タイトルとなった。
- ・ 総体として非常によく利用されており、必須の教育研究基盤資料となっている。
- ・ 教育研究基盤資料整備費による電子ジャーナルパッケージ等については、平成 26 年度の規模を維持した。しかし急激に進展した円安、税制変更に伴う税負担などにより、主に部局負担等による購入分はパッケージ契約を中止、あるいは解体しタイトル契約に切り変えたものがある。また単体で購読している電子ジャーナルについても中止が増えてきており、平成 29 年度は AAS Historical Periodicals Collection を導入したもののタイトルの総数は減少した。

平成 29 年度における電子ジャーナル等の提供内容は次のとおりである。

(1) 電子オンリー中心の包括利用契約

大手 5 社 (Elsevier 社、Wiley-Blackwell 社、Springer 社、Oxford 社、Cambridge 社) 発行のものについては、基本的に各社発行電子ジャーナル全タイトルが利用できる電子オンリー中心の包括利用契約をおこなっている。

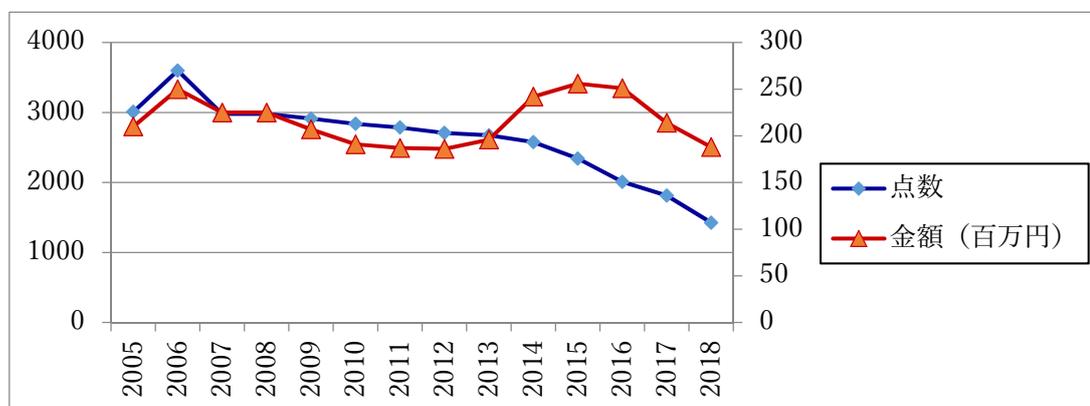
(2) 上記以外の外国雑誌購読に係る経費補填

冊子体を各図書館室に配置し、全学共同利用が可能なものについては、教育研究基盤資料整備費から、当該雑誌購読所要額の 15% を補填している。

- ・ 2018 年外国雑誌の契約は、点数・契約金額とも前年よりも減少している。契約点数の減少に比較して契約金額の減少が少ない印象を受けるが、これは契約レートが 2017 年に比較し円安となった影響である。

2017 年契約点数 1,814 点 → 2018 年 1,427 点 (21.3%減)
 2017 契約金額 約 214 百万円 → 2018 年 約 188 百万円 (12.1%減)

<外国雑誌購読数推移>



<データベースの整備>

主な導入データベースは次のとおりである。(全てウェブアクセス)

	分野等	導入	範囲	備考
Web of Science Core Collection	全分野	H15	1900～	H15 SCIE 導入 H21 SSCI, AHCI 追加 H22 バックファイル追加 H29 Citation Connection 追加
Journal Citation Reports	全分野	H17		
MathSciNet	数学	H13	1940～	
SciFinder Academic	化学	H16	1840～	利用申請が必要
Readers' Guide to Periodical Literature	一般雑誌	H6	1983～	H18.4 より Web 版に変更 同時アクセス 1
EconLit	経済学	H3	1969～	同上 同時アクセス 4
Index to Legal Periodicals & Books	法学	H3	1981～	同上 同時アクセス 1
EBSCOhost (Business Source Premier, PsycInfo, PsycArticles, CINAHL)	経営学 心理学 看護学	H22		
HeinOnline	法学	H22		アクセス制限なし
Lexis Advance	法学	H22		利用申請が必要
Westlaw International	法学	H22		
OECD iLibrary	多分野	H22		H22 に「Source OECD」より名称変更
ProQuest Dissertations & Thesis	多分野	H22		抄録と索引のみ
医学中央雑誌	医学	H5	1983～	Web 版は H14 から 医学・保健にサービス
メディカルオンライン	医学	H22		
官報	官報記事	H18	1947.5～	同時アクセス 2→1
日経テレコン21	新聞記事等	H18	1975～	H19.7 より全学利用可 同時アクセス 20
*JapanKnowledge	全分野 (辞典等)	H17		同時アクセス 5 H28 からアクセス数 1 追加
*ざっさくプラス	国内雑誌記事	H26	1867～	同時アクセス 1 MAGAZINEPLUS から切替
*JDreamIII	科学技術・医学・薬学	H19		同時アクセス 10 H25 JDreamII から変更
*聞蔵 II ビジュアル(朝日新聞)	新聞記事	H12	1879～	同時アクセス 3
*ヨミダス歴史館	新聞記事	H21	1874～	同時アクセス 1
*毎索	新聞記事等	H21	1872～	H23「毎日 News パック」より名称変更 同時アクセス 2

- ・ 平成 29 年度は Web of Science Citation Connection を部局予算により追加した。
- ・ タイトル先頭に*を付したものは「e-study 資料費」により契約している。
- ・ 各データベースの利用は別添統計のとおりである。

＜電子ブックの整備＞

学内で利用できる主な電子ブックは次のとおりである。(全てウェブアクセス)。利用可能な総冊数は平成 29 年度末現在で約 4 万冊である。

	分野	購入年度	タイトル数
*Elsevier Handbooks in Economics	経済学	H20-(継続)	30
*Emerald Business, Management and Economics eBook Series Collection	経営学、経済学	H21-	450
LWW Doody's Core Collection	医学	H21	129
**NetLibrary: ネットライブラリー	多種	H22-(随時)	750
**Oxford Handbooks Online	経営学、哲学、政治学、宗教学、言語学	H22 ,H27	146
ScienceDirect レファレンスワークス	多分野	H23	21
*Springer eBooks	数学、経営学、社会科学	H17-	5000
*群書類従(正・続・続々)	国文学、国史	H27	

注) *部局予算による購入

**部局予算による購入分を含む

◆評価と課題

電子ジャーナルおよびデータベースは研究者(大学院生を含む)にとって、今や必要不可欠な学術情報基盤である。神戸大学では平成 17 年度および平成 20 年度に出された 2 つの附属図書館審議会答申に基づき電子資料に関わる基盤整備を行ってきた。しかしながら平成 25 年から始まった急激な円安により、平成 28 年度～平成 30 年度の今期中期計画前半は、従来半額補填を行っていた特定主題に係る電子ジャーナル・データベースの補填率を 35%に引き下げ、20%補填を行っていた冊子体購読雑誌も 15%に引き下げた。これを機に部局負担に耐えられなくなったタイトル等は中止となった。平成 29 年度も外国雑誌の契約点数は減少の一途を辿っている。

平成 31 年～平成 33 年の今期中期計画後半における教育研究基盤資料整備費のあり方については、附属図書館運営委員会で今後の方針が検討され、冊子体購読雑誌への補填を現在の 15%から段階的に縮小し平成 33 年度には廃止とする方向とした。平成 30 年度当初に大学の方針としての決定を待つことになっている。

電子ブックについては、海外図書館と比べると、国内図書館において普及が全般的に遅れているのが現状であり、本学においては図書館予算より部局予算による購入が中心である。しかし国内出版物の電子版も徐々に増えつつあり、学術書においても一部の出版社で前向きな動きがみられる。今後の電子ブック出版の動向には注意が必要である。

(3) 蔵書目録データベースの整備

＜目録遡及入力事業＞

- 目録遡及入力は学内予算措置を得て平成 4 年度から事業を開始し、第 2 次中期計画最終年度の平成 27 年度に全蔵書のうち館室配置図書の入力を完了した。この間、科学研究費補助金(社会科学文献・画像データベース作成事業)の獲得や国立情報学研究所との共同事業への参加など外部資金による入力にも努め、平成 28 年度末で蔵書数約 377 万冊のうち約 321 万冊の所蔵データを入力、全蔵書の約 85%が OPAC で検索できるようになった。残る未入力冊数は約 56 万冊で全蔵書の約 15%に

あたる。

未入力冊数のうち、約 31 万冊（約 55%）が製本雑誌、約 15 万冊（約 27%）を研究室所蔵の未登録資料が占める。残る約 10 万冊（約 18%）の大半は特殊資料であり、これらは第 2 次中期計画の遡及入力事業対象外であった。

このうち特殊資料については、平成 28 年度から計画的な入力を行っている。主な資料群は「和古書」「漢籍」「洋古書」「マイクロ資料」等である。特に和古書は、拠点大学として参加している国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業のデータベース構築にあたり目録データ作成が不可欠なため、重点的に入力を行っている。

・ 平成 29 年度計画

平成 29 年度は総合国際文化学図書館の和古書と江戸期の郷土資料、社会科学系図書館貴重書室所蔵の住田文庫と洋古書の一部、人文科学図書館の漢籍の一部の入力を計画した。

・ 平成 29 年度入力実績 14,503 冊

研究室戻り等		各館室	10,164 冊
特殊資料	マイクロフィルム	社会科学系図書館	101 点
	和古書等	社会科学系図書館、総合・国際文化学図書館、人間科学図書館	1,574 冊
	漢籍	人文科学図書館、総合・国際文化学図書館	1,943 冊
	洋古書	社会科学系図書館、総合・国際文化学図書館	721 冊

◆評価と課題

平成 29 年度は予定していた総合国際文化学図書館の和古書と江戸期の郷土資料、社会科学系図書館貴重書室所蔵の住田文庫と洋古書の一部、人文科学図書館の漢籍の一部の入力が完了した。これら入力した和古書のうち特に貴重なものは新たに国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業の対象となった。また、研究室所蔵の未登録資料も返却時にデータ入力しており、前年度とほぼ同じ冊数を登録した。

現在、蔵書数約 377 万冊のうち約 323 万冊の所蔵データが入力済みで、全蔵書の約 86%が OPAC で検索できるようになっている。残る未入力冊数は約 54 万冊である。

特殊資料は入力に専門知識の習得が不可欠であるが、研究上重要な資料が多数ある。今後も未登録データ入力によって一層の利用者へのサービス向上、図書管理業務の効率化が期待される。

（４）資料の保存

＜貴重資料の保存＞

- ・ 社会科学系図書館所蔵の住田文庫「漂流人口書写」他、計 4 点の修復を行った。

- ・ 拠点大学として参加している国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業のデータベース構築準備のため、「鈎股弦彎化之法」他、計6点（人間科学図書館所蔵）の修復を行った。（修復費用の一部は国文学研究資料館の管理費から拠出した）
- ・ 資料保存の知識を深めるため社会科学系図書館ラーニングコモンズにて以下の職員研修を開催した。

実施日	職員研修	内 容	参加人数
9月11日	図書館の修理講座	背表紙の補修	7
9月29日		和紙を使ったページ外れの補修	8
1月4日	資料修復実習	簡易帙の製作	13
3月12日		簡易箱の製作	9
3月12日		和装本の実習	7
3月12日		レッドロットの処理	7

◆評価と課題

貴重資料の電子化に伴う修復は保存対策としての意味も持っており、順調に進められている。また、内部研修を実施し、資料保存について職員の知識習得に努めている。

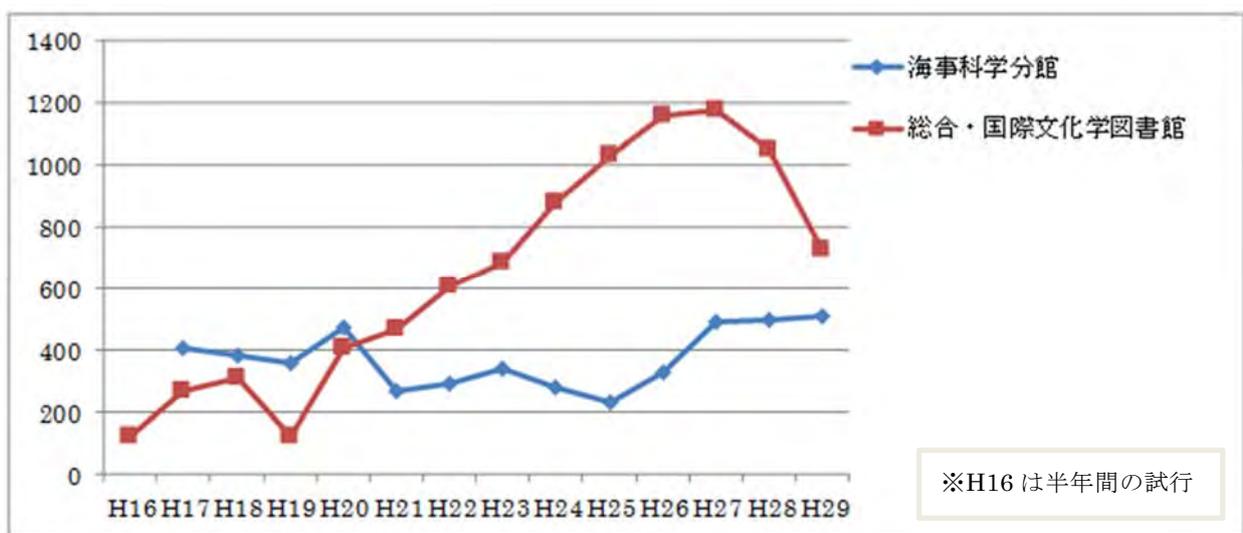
4. 社会連携・情報発信

(1) 一般市民への資料提供サービス・展示会の開催

<一般市民の図書館利用>

- 総合・国際文化学図書館と海事科学分館において一般市民への貸出サービスを実施している。平成29年度の利用登録者数は227名で、前年度より26名減少した。貸出冊数は総合・国際文化学図書館で前年度と比べて31%減の727冊になった。海事科学分館では3%増の511冊になった。

<貸出冊数の推移>



<公共図書館との協力>

- 前年度に引き続き、兵庫県大学図書館協議会で加盟館の図書館相互協力便覧や一般市民への公開状況を取りまとめ、同協議会ホームページ上で情報公開を行った。
- 平成20年度から、兵庫県立図書館で公開されている兵庫県内図書館横断検索に参加し、県内公共図書館等との横断的な所蔵検索が可能となっている。

<展示会の開催>

- 資料展「近代神戸の航路をたどる ～開港150年を迎えて～」

会期 平成29年10月13日(金)～12月19日(火)

会場 社会科学系図書館 2階 展示ホール

時間 月～金曜日 8:45～21:30

土・日・祝日 10:00～19:00 (11/3は休館)

内容 平成29年1月1日に神戸港が開港150年を迎えたことに因んで、「神戸開港文書」や「住田文庫」をはじめとした本館の所蔵資料を通し、またこれらを電子化したデジタルアーカイブの情報も織り交ぜ、開港を機とした近代神戸の歩みを紹介した。以下の4つのサブテーマに分けて、所蔵資料と説明のパネルを展示した。



- 1) 神戸、開港ス
- 2) 展開する神戸港
- 3) 開港で広まった西洋文化
- 4) 神戸の歴史を知るために

加えて、デジタルアーカイブ検索用のPCも用意して、その広報にも繋がる展示を目指した。

- ・ 学内各部局、及び近隣の地方自治体・公共図書館・公立学校等へチラシ、ポスターを送付して広報した。また「神戸開港150年記念事業」に登録した。
- ・ 図書館ホームページで展示品目録や紹介した記事のリストを公開している。
- ・ 会期は10月28日（土）開催の「神戸大学ホームカミングデー」に合わせ、当日は職員による館内案内と展示案内を実施した。
- ・ 人文学研究科の授業での見学を受け入れた。
- ・ 会場は通路部分であるため、正確な来場者数をカウントすることはできないが、開催期間中に社会科学系図書館に来館した利用者の多くが資料展を観覧したと思われる。
- ・ アンケート回収数は89件（会場で回収は66件、上記授業の見学学生から23件）で、多数の回答が寄せられた。75%が内容をよかったと評価しており、自由記述の内容も概ね好意的であった。

・ 海事博物館・春季展示「近代神戸の航路をたどる ～開港150年を迎えて～」パネル展

会期 平成30年3月26日（月）～6月29日（金）

会場 神戸大学海事博物館

日時 月・水・金曜日（祝日を除く） 13:30～16:00

内容 「神戸大学サテライト巡回展」の一環として、平成29年度資料展を、実物展示の部分も全てパネル展示に再構成して、海事博物館に出陳した。

＜その他の展示、及び他組織主催の展示の受入＞

- ・ 前年度と同様、阪神・淡路大震災の発生した1月17日にあわせ、平成26年度の資料展「つたえる・つながる～阪神・淡路大震災20年～」のリバイバル展示を、今回は本学人文学研究科地域連携センター、同地理学研究室と共催の企画展「阪神・淡路大震災と地域の復興 —23年目の神戸と地域・コミュニティの課題—」の一コーナーとして実施した。（会期：平成30年1月11日（木）～2月1日（木））
- ・ 海事博物館や人文学研究科と連携した展示企画「神戸大学サテライト巡回展」の一環として、以下の展示を社会科学系図書館展示ホールにて受入れた。

「景観文化財の継承と活用」（主催：人文学研究科地理学研究室、

会期：平成29年6月12日（火）～9月8日（金））

「神戸における海技者教育100年の歩み」（神戸商船大学から現在まで第2次大戦後の海技者教育について）（主催：海事博物館、会期：平成30年3月9日（金）～4月6日（金））



- ・ 本学国際教育総合センター プログラムコーディネート部門からの申し出で、「ローマ条約調印 60 周年 記念パネル展」を社会科学系図書館展示ホールにて受入れた。(主催：EU、会期：平成 29 年 4 月 11 日(火)～4 月 20 日(木))
- ・ 一橋大学、大阪市立大学、本学の社会科学系学部の学生による合同ゼミ「三商ゼミ」の開催にあわせ、各大学と三商ゼミの経緯・歴史を関連図書やパンフレット等の資料と解説パネルで紹介する合同企画「三商大図書館連携企画展示」を社会科学系図書館 2 階壁画前で実施した。(会期：平成 29 年 12 月 5 日(火)～12 月 18 日(月))



◆評価と課題

一般市民への資料の貸出サービスの開始以来、総合・国際文化学図書館では平成 19 年度に改修工事の影響で一時的に貸出数は落ち込んだものの増加を続けていたが、前年度より減少傾向となった。一方、海事科学分館では平成 21 年度に書庫立ち入り制限の実施により大きく減少し、その後はほぼ横這い状態であったが、前々年度より微増が続き過去最高の貸出冊数となった。地域社会への貢献活動のひとつとして定着していると評価できる。

資料展については、本年度からの第 3 期中期目標・中期計画において、社会及び地域への貢献の一環として資料展の開催が位置付けられており、その充実が重要となっている。本年度の資料展は地域挙げての取組だった「神戸開港 150 年」に因んだもので、一般市民の関心も高く、アンケート回答においても概ね高評価を得ている。震災リバイバル展示は他部署との合同企画展に発展し、特に被災地のその後を撮影し続けたカメラマン大木本美通氏の追悼写真展(写真原版は震災文庫所蔵、展示は地域連携センターによる)を中心に、テレビ局 4 社と新聞 5 紙から取材があり 1/17 にあわせて数多く報道された。回収した 54 枚のアンケート結果においても、92%が内容をよかったと評価している。図書館主催のものに加え、他組織主催の展示を前年度に続き多数受け入れ、展示ホールは高い稼働率を維持しており、展示を通じた地域・社会貢献を推進できた。

(2) 震災文庫

<資料収集と一般公開>

- ・ 引き続き、様々なチャンネルからの情報収集を行い、購入や寄贈依頼等の積極的な収集活動に努めた。1,864 件(平成 28 年度は 2,036 件)を収集し、資料所蔵総数は 5 万 8 千件を超えた。

	全件数 (タイトル数)	H29 新着		全件数 (タイトル数)	H29 新着
図書資料	8,241 (7,221)	175 (156)	地図資料	137 (131)	0 (0)
雑誌資料	13,928 (3,397)	76 (7)	動画資料	323 (268)	5 (5)
新聞・広報誌資料	21,888 (10,000)	1,556 (1,481)	音声資料	108 (88)	1 (1)
パンフレット資料	6,197 (6,033)	12 (12)	コンピュータ資料	96 (92)	0 (0)
一枚もの資料	7,020 (7,013)	38 (38)	www	10 (4)	0 (0)
写真資料	113 (95)	1 (1)	総合計	58,061 (34,342)	1,864 (1,701)

注) 雑誌等の各号を 1 冊ずつ数えた数が「件」、同一タイトルを 1 と数えたのが「タイトル」。

写真資料はコレクション単位(概ね撮影者単位)を 1 としているため件数が少ないが、写真 2 万枚強のコレクションも含まれている。

- ・ 被災時に建物倒壊状況調査を行った際の貴重な原資料である地図 2 点について、エンキャプシュレーション（ポリエステルフィルムへの封入）を再度実施した。
- ・ 継続して行っている視聴覚資料のメディア媒体変換については、本年度は VHS テープ 45 点が完了し、今後も継続的に実施の予定である。

＜震災デジタルアーカイブ＞

- ・ 資料全体のタイトル等だけでなく掲載されている記事情報等からも検索できるよう、詳細なデータを継続的に作成している。本年度は 3,649 件を入力し、その結果、データベースのレコード総数は 29 万 1 千を超えた。
- ・ 著作権の許諾が得られた資料 13 点をデジタル化公開した。
- ・ 各機関から、防災に関する資料作成や展示等のための転載許可願が写真を中心に 15 件（前年度 12 件）あり、著作権者へ許諾確認を行い回答した。
- ・ 平成 21 年 1 月より開始した人と防災未来センターと震災文庫の「震災資料横断検索」は兵庫県立図書館を加えて 3 機関での横断検索を継続中であり、データ受領時に更新を行った。（人と防災未来センター：5,8,11,2 月、兵庫県立図書館：11,3 月）
- ・ 平成 24 年 10 月に連携を開始した「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）」に継続してデータを提供している。

＜震災文庫の活動＞

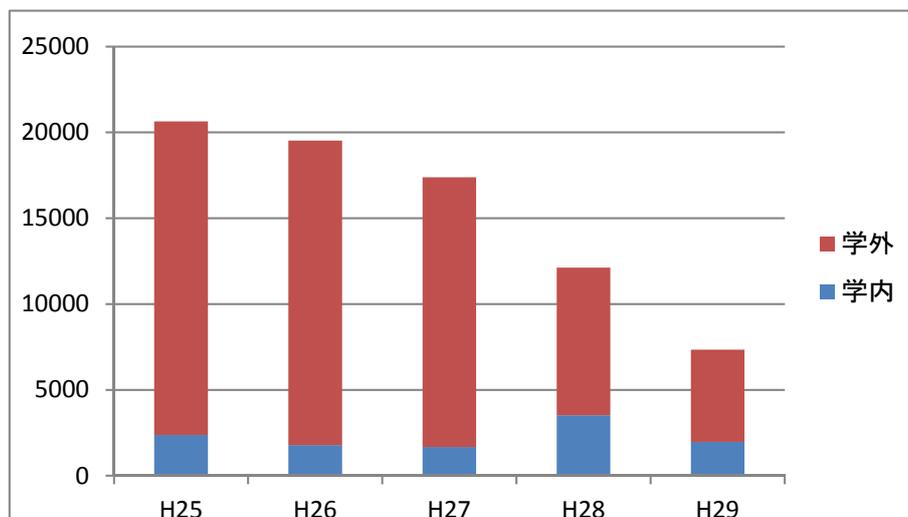
- ・ 5 回（15 名）の見学や取材の依頼があり、電子図書館係を中心に対応した。
- ・ 1 月 29 日に、「第 7 回被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」を人文学研究科と協力して開催した。会には計 28 名が参加した。

◆評価と課題

本年は、例年 1 月 17 日前後に開催している阪神・淡路大震災関連の展示の会場を一部震災文庫にまで広げ、パネルや資料の展示を行った。会期には学内外の多くの方が来場し、年間の来館者数は前年比 26% 増となった。展示について多くのメディアから取材を受け、新聞記事やテレビ放送等で紹介された。

課題として、収集資料のうち、ハードウェアの生産終了やファイルフォーマットのサポート終了などの要因により利用不可能となる恐れのあるデータの媒体変換作業を継続していく。そのほか、利用促進のための活動の実施が課題であるが、そのためにはまず、業務の効率化や優先順位の決定などを行っていく必要がある。震災文庫トップページへのアクセス数は年々減少しているが、これは横断検索サイトや震災資料サイトの増加に伴うアクセスの分散化によるものと考えられ、また近年は平成 28 年 9 月のシステムリプレースでの設定変更により数値が減少したと推定される。

＜震災文庫トップページアクセス数経年推移＞



※H28.9 図書館システムリプレース

（３）電子図書館システムによる情報発信

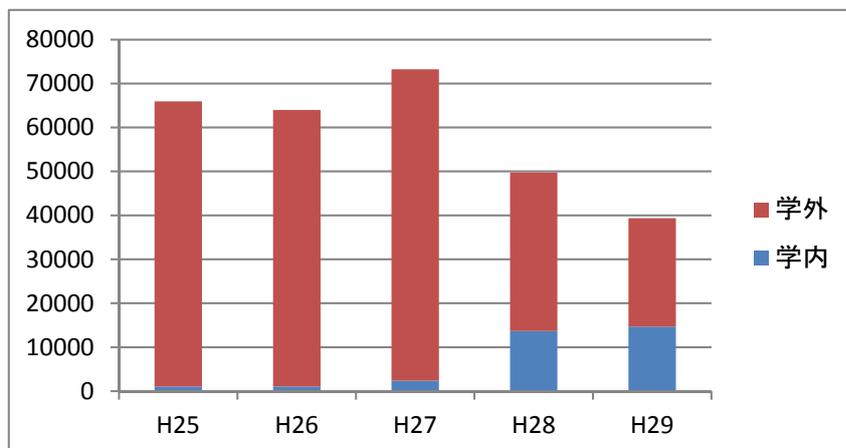
＜「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築＞

- 同システムは当初全国 5 大学に「先導的電子図書館プロジェクト」として予算措置されたもので、本学には平成 10 年度補正予算で措置され、平成 11 年から稼働している。法人化後は電子図書館事業費として学内経費化され、運営を続けている。
- 「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内研究成果」を 3 本柱に事業を推進し、デジタル化した資料を Web 上で公開してきた。経費には上記の電子図書館事業費と、科学研究費補助金研究成果公開促進費（平成 11-15 年度 震災デジタルアーカイブに措置、平成 16-23,25,27,28 年度 戦前期新聞経済記事文庫に措置）を充ててきた。
- コンテンツのうち震災関係資料については、前節で述べたとおりである。
- 拠点大学として参加している国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業のデータベース構築のため、住田文庫を含む各館古典籍 368 点(650 冊)の電子化を行った。電子化した画像は「新日本古典籍総合データベース」より順次公開される予定である。
- 前年度取り交わした協定書にもとづき、国立公文書館アジア歴史資料センターへ神戸開港文書のメタデータ全件（1,128 件）を提供した。データは、翻刻等の情報を追記の上、2018 年 3 月にアジア歴史資料センターデータベースにて公開された。

＜経済関係資料デジタル化＞

- 新聞記事文庫（戦前期記事切抜）デジタル化については、科学研究費補助金研究成果公開促進費（「戦前期新聞経済記事文庫データベース」）が不採択であったため、学内の電子図書館事業費で「教育」分野約 1,900 記事の画像・インデックスデータを作成し、公開に向けて準備中である（累計約 30 万記事）。なお、本年度の作成分から、全文テキスト化よりも、画像・インデックスデータの作成を優先して進めている。
- 平成 24 年 5 月より当文庫データベースの「活用事例集」ページを HP 上で公開し、また活用事例を Twitter で照会するなど、より一層の普及と有効活用の支援を図っている。
- 平成 24 年 1 月より公開された「国立国会図書館サーチ（NDL Search）」とは、前身のデジタルアーカイブポータル（PORTA）に引き続いて連携を行っている。

<新聞記事文庫トップページアクセス数経年推移>



※H28.9 図書館システムリブレース

<学内研究成果資料デジタル化>

- ・ 機関リポジトリは開設 12 年目となり、平成 30 年 3 月末現在 26,076 件（前年度末 24,551 件）の学術成果を一般公開している。詳細は次項に述べる。
- ・ キク科の染色体数データベース（渡邊邦秋名誉教授作成）のデータ更新を続けている。更新頻度は月 1 回、本年度のレコード増加数は 11,056 件で、累計レコード数は 165,005 件である。

◆評価と課題

新聞記事文庫はその規模の大きさと希少性（戦前の記事切抜きはほとんど残っていない）から高い評価を得ており、HP へのアクセス数は継続してデジタルアーカイブ中トップである。また、本年 1 月刊行の広辞苑（第 7 版）では 77 項目にて引用される等、多くの活用事例が報告されている。引き続き電子化をすすめ、戦前期の完成を目指したい。なお、本年度からは、画像の早期公開を目指し、全文テキスト化よりも画像とインデックスデータの作成を優先して進めている。

「学内研究成果」については、学術論文は機関リポジトリ（次項）へ、その他成果はデジタルアーカイブへ登録している。今後も継続してコンテンツ収集に努めたい。

（４）機関リポジトリによる情報発信

<コンテンツ収集活動>

- ・ 平成 18 年度に稼働を始めた神戸大学学術成果リポジトリ（Kernel）は、比較的順調に成長を続けている。平成 29 年度末現在のコンテンツ数は 26,076 件となり、1 年間で 1,525 件増加した。

<機関リポジトリコンテンツ種別件数>

一般雑誌記事	105(105)	図書	101(107)
会議発表論文	53(54)	データセット	2(2)
紀要論文	18,074(43,673)	学術雑誌論文	3,698(3,868)
教材	19(19)	会議発表用資料	428(428)
研究報告書	126(126)	テクニカルレポート	704(1,127)
博士学位論文	2,346(10,504)	その他	411(411)
プレプリント	9(9)	合計	26,076(60,433)

注) 括弧内は書誌情報のみ(本文ファイルなし)も含んだデータ数

- ・ 学位規則改定後の平成 25 年 4 月以降に学位授与された博士學位論文は要旨・全文ともに原則としてリポジトリからインターネット公表することとなったため、非公表・公表延期を除く論文を公開した。また、学位規則改定前の学位授与論文についても全文公開のため著作権調査を行い、可能なものについて電子化公開を行った。本年度は合計 185 件の本文を公開した。
- ・ 神戸大学研究者紹介システム「KUID」や「Web of Science」より抽出したデータを元に、学内研究者に論文登録照会作業を行い学術雑誌掲載論文の収集に努めた。
- ・ 学内刊行紀要論文を対象に、JaLC DOI の付与を開始した。

<広報活動>

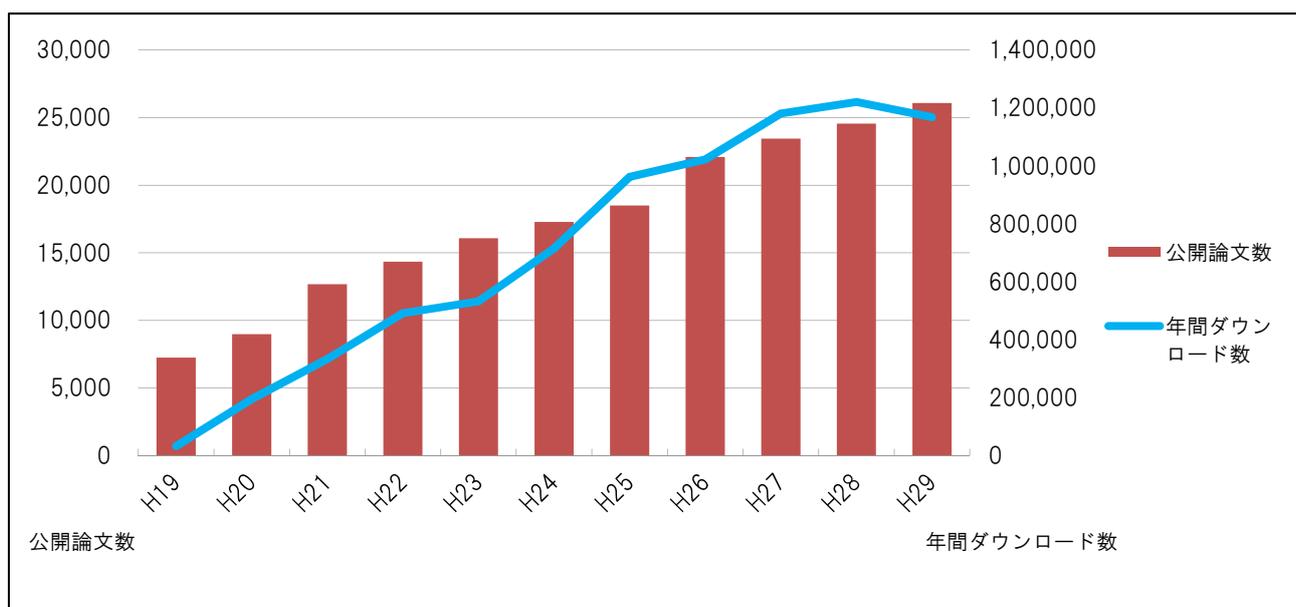
- ・ 学内教員への浸透を図るため、『Kernel 通信』の第 17 号、第 18 号を発行した。
- ・ 登録者へのサービスとして、毎月 1 回ダウンロード数お知らせメールの配信を継続して実施している。
- ・ 「神戸大学オープンアクセス方針」周知の為の学内説明会を計 17 回実施し、約 980 名の教員が参加した。

◆評価と課題

リポジトリ開設から公開論文数は着実に数を伸ばし、26,000 件を超えた。本年度は、2017 年 1 月に学長裁定となった「神戸大学オープンアクセス方針」にもとづいて学術論文の登録業務を行い、登録コンテンツ数で前年比 38%増を達成することができた。また、学内刊行の紀要論文に JaLC DOI の付与を開始するなど、リポジトリの機能向上にも務めている。

課題としては、「神戸大学オープンアクセス方針」採択にともない更に学術論文の登録率増加を達成できるように、教員の登録作業の負担を軽減するような仕組みの整備が必要である。KUID とリポジトリの効率的な連携がなされるよう、学内関係部署との協議を引き続き行う。

<Kernel 公開論文数及びダウンロード数推移>



※H28.9 図書館システムリプレース

(5) 国際連携

<海外派遣>

国立大学図書館協会海外派遣事業経費により、9月17日～10月1日の期間、北米の大学図書館におけるアウトリーチサービスの実態を調査対象に、職員1名を米国へ派遣した。訪問先は、中央フロリダ大学（UCF）John C. Hitt Libraryであった。

UCFは米国においても大規模な総合大学である。図書館における「アウトリーチサービス」はサブジェクトライブラリアンが担当し、「ライブラリアンが建物を出て直に教育・研究の現場でサービスすること」と定義されていたが、物理的な拠点の移動よりも利用者の活動に対して統合を図る能動的な姿勢を指して「アウトリーチ」と称しているとのことであった。サブジェクトライブラリアンの職責は職位記述書と年間の評価指標を兼ねた「Annual Assignment and Position Description (AAPD)」という書類に記され、具体的なサービス内容が列挙されている。図書館サービス提供の前提として、ライブラリアンと教員は大学の基幹部分を構成するほとんどの委員会で協働しており、これはアメリカの大学に広く見られる傾向であるようだ。そのため、図書館が大学の中で一定の地位を占め、カリキュラムを把握しやすい環境にある。



(John C. Hitt Libraryにて)



(レファレンスカウンターにて)

学習支援としては、毎年約80%の学生がオンラインまたはブレンディッドコース（オンライン・オフライン混合型の講義形態）を受講していることもあり、情報リテラシーモジュールや主題分野に沿ったリサーチガイドなど豊富なオンラインコンテンツをウェブサイトで提供している。講義棟（Classroom）における対面でのインストラクションも頻繁に開催され、いずれもまず学生が抱える課題や疑問を引き出し、その疑問をどの情報資源をどう用いて解決するかという「ニーズから出発してサービス紹介に繋げる」方法をとっていた。

研究支援としては、まず学術コミュニケーション支援グループの取組が挙げられる。このグループは研究ライフサイクルにおける図書館の8つの役割（文献レビュー、引用管理ツール、メタデータサービスなど）を定め、どの過程でどのようにライブラリアンが助けられるかウェブサイトで図式化して案内し、各テーマに沿ったワークショップやウェビナーを提供している。サブジェクトライブラリアンが担当分野に沿って作成したeニュースレターやメールも定期的に送られ、博士研究員や研究助手も含めて専門に特化した情報が提供される。また、図書館が開催する文献レビューや引用ツール、著作権、出版社・データベース提供元の製品説明といったテーマのワークショップに対する教員からの要望も強い。

学内他組織とも様々な形で連携を図っている。たとえば学生へのライティング指導は、ライティン

グセンターが主導してライブラリアンがリサーチスキルや情報リテラシースキルを教えるという協力体制で行われている。他にも障害学生サービス、編入学生サービス、初年次教育、学士課程学生による研究のサポートなど大学の基幹部分を占める多くのユニットに、図書館とのリエゾンを担う「エンゲージドライブラリアン」としてサブジェクトライブラリアンが割り当てられている。

ライブラリアンの評価は前述のAAPDの項目の具体的な達成度・達成状況に基づいてなされるが、図書館全体の評価では大学における投資対効果(RoI)が重んじられ、近年は図書館サービスを利用する学生の成績(GPA)に対する貢献度が数値的な指標とされている。Barbara Tierney氏(研究情報サービス部長)によると、現に図書館サービスのユーザーはノンユーザーに比べて高い成績を収めると実証されているとのことであった。

この調査の結果は平成30年2月の富山大学附属図書館FD・SDセミナー、平成30年3月の大阪大学附属図書館職員研修において報告された。また平成30年6月の国立大学図書館協会総会での口頭発表において報告予定である。

＜韓国海洋大学校図書館との相互訪問休止＞

韓国海洋大学校とは平成21年度から毎年相互に職員を派遣し合って研修を行ってきたが、先方から諸般の事情により平成29年度は来日できない旨の連絡が届いた。これを契機に検討した結果、相互訪問を一時休止することとし、その旨を海洋大学校館長宛てにメールで返信した。

平成19年12月に協定書の調印を行った翌々年から継続して相互訪問を実施し、8年間の派遣・受入の人数は21名に上る(受入10名、派遣11名)。韓国海洋大学校と互いの図書館の概要・課題を理解し合う他、釜山大学校、ソウル大学校、延世大学校、梨花女子大学校等、他大学の施設見学の機会を通して韓国の図書館事情から多くのことを学んだ。平成24年度からは図書館長も訪問メンバーに加わり、ラーニングコモンズや電子ジャーナル等の共通課題、運営方針の違いについても意見交換の場も設けることができた。一方で、さらに踏み込んだ業務研修や、両館が協力して事業を行う等、高度な協力関係まで発展させるのが難しかったことも事実で、受入時の負担とともに一時休止の要因となった。

◆評価と課題

本年度も国立大学図書館協会海外派遣事業経費により1名の職員を米国に派遣した。今回は、長期で申請を行い、平成27年度に招聘したBarbara Tieney氏の中央フロリダ大学にて、2週間にわたる調査研修を行った。日米の職制の違いなどもあるが、サブジェクトライブラリアンが実践するアウトリーチサービスの活動内容から、図書館から飛び出して新たなサービスを展開する姿勢と、他部局との連携協力の重要性について大いに学ぶべき点がある。

韓国海洋大学校との相互訪問が一時休止になったことで研修の機会が減ったことは残念である。協定に基づく国際交流は継続性を担保できる利点はあったが、内容に新機軸を打ち出すことが難しく、習慣化・形式化に伴い人的・経済的な負担が増していた。

とはいえ海外派遣事業をはじめとする国際連携は、グローバルな視点を持って大学図書館を担っていく職員の育成のために非常に重要である。その実現には予算の確保が不可欠であり、今後も外部資金の獲得などを積極的に行っていく必要がある。

(6) 大学文書史料室

大学文書史料室では、公文書管理法に基づき、内閣総理大臣指定「国立公文書館等」の機関としての責務を全うし積極的な社会貢献を図るため、平成29年度においては次の事業を実施した。

<法人文書移管協議>

- 平成 29 年度法人文書移管協議は、神戸大学法人文書 2,897 件を対象に 2 月 14 日から 3 月 20 日までの約 1 ヶ月間実施され、移管 439 件、廃棄 2,357 件、保存期間延長 101 件が決定された（移管率 15%）。この協議結果に基づき、移管の受入れを平成 30 年度に実施予定である。

移管協議の対象	総件数	協議結果			移管率	移管年度
		移管決定	廃棄決定	延長		
平成 29 年度末保存期間満了分	2,897 件	439 件	2,357 件	101 件	15%	H30

(注) 平成 29 年度第 5 回大学文書史料室運営会議(平成 30 年 3 月 14 日開催)の審議結果では、総件数 2,898 件、移管 441 件、廃棄 2,360 件、延長 97 件であったが、その後、4 部局から修正(保存期間延長 4 件、未作成による不存在 1 件)があったため、上記の結果となった。

<法人文書等の受入れ状況>

- 平成 29 年度における法人文書等の受入れ状況は、学内移管文書等 1,186 件、個人・団体からの寄贈寄託文書等 339 件（以上、公文書管理法 2 条 7 項が規定する「特定歴史公文書等」に該当。）、他大学史等の参考図書 139 件、計 1,664 件である。

受け入れた法人文書等			受入れ件数 (注1)	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書(移管協議に基づく移管)	598 件	1,525 件
		法人文書(上記以外の移管)(注2)	9 件	
		学内印刷刊行物	579 件	
(小計)	1,186 件			
	個人・団体からの寄贈寄託文書等		339 件	
参考図書	寄贈図書のうち上記に該当しないもの(他大学史等)		139 件	
合計			1,664 件	

(注1) 「受入れ件数」の数値は、分冊や関連文書等をまとめて1件とする場合があるため、実際の冊数や目録入力件数とは異なる。

(注2) 「上記以外の移管」とは、神戸大学法人文書ファイル管理簿(神戸大学法人文書管理規則第 10 条)に未掲載の古い法人文書及び門標等のモノ資料を対象とした、移管協議を経由しない移管を指す。

<目録入力>

- 平成 29 年度における目録入力の件数は 1,833 件であり、目録総件数は 53,471 件となった。
- インターネット上の目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」を毎月定期的に更新した。

対象			目録入力件数 (注)	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書	623 件	1,679 件
		学内印刷刊行物	627 件	
		(小計)	1,250 件	
個人・団体からの寄贈寄託文書等	429 件			
参考図書	寄贈図書のうち上記に該当しないもの(他大学史等)		154 件	
[上記合計] 平成 29 年度目録入力件数 (①)			1,833 件	
[参考] 平成 22-28 年度目録入力件数 (②)			51,638 件	
目録総件数 (①+②)			53,471 件	

(注) 「目録」とは、「神戸大学特定歴史公文書等データベース」のことを指す。なお、「目録入力件数」の数値は、受入れ時点の件数とは異なる場

合がある(受入れ時点では、分冊や関連文書等をまとめて1件とする場合があるため)。また、平成28年度以前受入れ分の遡及入力も含む。

<利用状況>

- 平成29年度の資料利用件数は、前年度より363件増加して752件(前年度比93%増)、利用者数は、前年度より25名増加して113名(同28%増)であり、その内訳は下表のとおり。
- 一般利用者の利用に供するため、展示会及びレファレンス等に積極的に対応した(次項以降参照)。

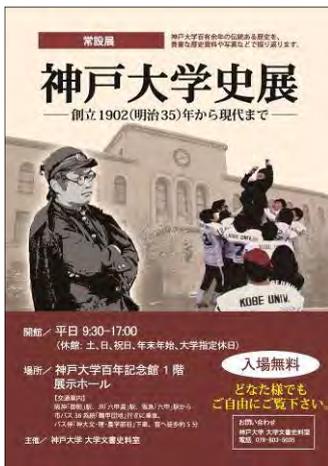
		利用者数	利用件数(注)		
			閲覧(①)	写しの交付(②)	合計(①+②)
本学	教員	6名	31件	8件(32枚)	39件
	教員以外の職員	26名	113件	4件(8枚)	117件
	学生	17名	203件	19件(57枚)	222件
	旧教員	1名	1件	1件(43枚)	2件
	旧教員以外の旧職員	0名	0件	0件(0枚)	0件
	卒業生	18名	92件	34件(349枚)	126件
他大学	教員	13名	81件	15件(88枚)	96件
	教員以外の職員	0名	0件	0件(0枚)	0件
	学生	4名	12件	0件(0枚)	12件
一般	マスコミ	8名	4件	19件(52枚)	23件
	その他	20名	59件	56件(343枚)	115件
合計		113名	596件	156件(972枚)	752件

(注)「利用件数」の数値は、(1)公文書管理法第16条に基づく利用請求の件数、(2)同法第24条に基づく移管元部局による利用の特例の件数、(3)ガイドラインC-13に基づく簡便な方法による利用の件数を合計したもの。なお、同一の資料を「閲覧」と「写しの交付」の両方で利用した件数(79件)を除いた場合、利用件数の合計は673件となる。

<展示会の開催>

- 収蔵物を広く学内外に紹介するため、常設展「神戸大学史展—創立1902(明治35)年から現代まで—」を常時開催(展示替え及び特別展の開催期間は除く)し、百有余年にわたる神戸大学の歴史に関する文書や実物資料、写真など206点を展示公開した。また、展示替えによる臨時休館期間を短縮するため、平成29年10月10日~20日の間、展示ホールに隣接する空きスペース(観覧スペース)を利用したミニ常設展を初めて開催した。常設展(ミニ常設展を含む)の来場者数は、前年度より631名増加して3,360名(前年度比23%増)であった。
- 平成29年4月の国際人間科学部の設置に伴い、常設展の展示物の一部(年表パネル、沿革図パネル)を更新した。
- 平成29年度特別展及び巡回展(東京1回・神戸2回)は、「神大キャンパス今昔物語—神戸大学創立115周年記念—」をテーマに、115年にわたるキャンパスの変遷を貴重な文書・写真・実物史料(一部は初公開)などで取り上げた。特別展及び巡回展の来場者数は、前年度より計2,607名減少して計6,791名(前年度比28%減)であった。

種類	展示テーマ	開催期間	会場	来場者数
常設展	神戸大学史展—創立 1902(明治 35)年から現代まで—	常時(展示替、特別展開催時を除く)	神戸大学百年記念館 1階 展示ホール	3,360名
特別展	神大キャンパス今昔物語 —神戸大学創立 115周年記念—	H29.10.26(木)– H29.11.10(金)	神戸大学百年記念館 1階 展示ホール	964名
巡回展 (神戸Ⅰ)	神大キャンパス今昔物語 —神戸大学創立 115周年記念—	H29.11.27(月)– H29.12.13(水)	神戸大学海事博物館	120名
巡回展 (東京)	神大キャンパス今昔物語—神戸大学 創立 115周年記念— パネル展	H30.01.15(月)– H30.01.25(木)	神戸大学東京六甲クラブ	593名
巡回展 (神戸Ⅱ)	神大キャンパス今昔物語 —神戸大学創立 115周年記念—	H30.02.07(水)– H30.03.03(土)	神戸大学社会科学系図 書館2階 展示ホール	5,114名
合計				10,151名



(常設展の案内チラシ)



(特別展の案内チラシ)



(特別展における来場者の様子)



(特別展)



(巡回展 (神戸Ⅱ))

<レファレンス>

- ・ 学内外からの照会は、前年度より 398 件 47 名増加して 1,008 件 (前年度比 65%増)、262 名 (同 22%増) あり、それぞれ情報提供を行った。

対 象		件数(人数)	対 象		件数(人数)
本学	教員	50件(18名)	他大学	教員	98件(20名)
	教員以外の職員	187件(74名)		教員以外の職員	2件(2名)
	学生	231件(22名)		学生	4件(4名)
	旧教員	8件(7名)	一 般	マスコミ関係	59件(24名)
	旧教員以外の旧職員	2件(1名)		その他(周辺住民等)	196件(44名)
	卒業生	165件(40名)		合計	
	関係諸団体(同窓会等)	6件(6名)			

<研修の実施>

- 公文書管理法第32条に基づき、本学職員及び大学文書史料室員に対して、次の研修を実施した。

研修名	対象者	テーマ	開催日	受講者数	備考
新任教職員研修 (講師派遣)	神戸大学の新任教職員	神戸大学法人文書管理について	H29.04.06(木)	104名	総務部人事企画課主催
文書管理者研修	神戸大学の文書管理者、文書管理担当者及び文書管理に従事する職員	神戸大学法人文書の適切な管理に向けて	H30.02.16(金)	61名	総務部総務課との共催
大学文書史料室研修	大学文書史料室員	①レッド・ロット状態になった所蔵史料の処置について(2)(実技) ②関西大学年史編纂室の見学 ③神戸大学の歴史及び歴史的建築物について(映像視聴)	①H29.07.21(金) ②H29.07.25(火) ③H30.03.16(金)	①6名 ②4名 ③4名	大学文書史料室利用等要項30条1項の規定に基づく室員研修

<デジタル・アーカイブの充実>

- デジタル・アーカイブの充実を図るため、①SPレコード(「六甲台学徒の歌」「臥龍」等計4曲収録、旧制神戸商業大学、昭和18年作成)1枚のアナログ音源のデジタル化4点、②『神戸大学総合雑誌 展望』第6号(昭和36年秋刊)～第22号(昭和51年3月刊)、第24号(昭和52年4月刊)計18冊のデジタル画像1,162点及び記事見出し一覧395件、③旧制神戸高等商業学校の卒業アルバム(現存分)の内、大正13年(18回生)～昭和3年(22回生)の計5冊のデジタル画像1,270点を作成し、②は、著作権者の許諾を得たものから大学文書史料室ホームページ上で順次公開を開始した(平成29年度末時点で著作権者45名の許諾を得て記事314件をWEB公開中)。

(<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/bunsho/tenbou.htm>)

対象	デジタル画像作成	記事見出し入力
SPLコード「六甲台学徒の歌」等計 4 曲収録 1 枚	デジタル音声 4 点	—
『神戸大学総合雑誌 展望』第 6～22、24 号 18 冊	1,162 点	395 件
神戸高等商業学校の卒業アルバム 大正 13～昭和 3 年 5 冊	1,270 点	—
合計	2,432 点 + 音声 4 点	395 件

<その他>

・ 内閣総理大臣への平成 28 年度状況報告

平成 29 年 7 月 19 日付け神大図第 29-25 号により、「平成 28 年度特定歴史公文書等の保存及び利用の状況」を内閣総理大臣に報告した。本件は、公文書管理法第 26 条第 1 項に規定する報告の義務に基づく。なお、本報告の概要は、平成 30 年 3 月に内閣府大臣官房公文書管理課から「平成 28 年度における公文書等の管理等の状況について」として公表された。

・ 室の改組の準備

室の課題やあるべき姿について前年度の検討をさらに進め、平成 29 年 8 月 8 日開催の理事懇談会にて室の改組の方向性が承認されたことにより、9 月 22 日文部科学省を通じて内閣府に改組の意向を正式通知した。以後、関連規則等の改正案を準備し、内閣府公文書管理委員会の審議を経て、翌年 3 月 20 日付けで内閣総理大臣の同意書を受領。同月 30 日『官報』にて「神戸大学附属図書館大学文書史料室」から「神戸大学大学文書史料室」への名称変更が公示された（平成 30 年内閣府告示第 49 号、平成 30 年 4 月 1 日施行）

・ 文書保存環境の改善

永年保存の法的義務がある特定歴史公文書等を保管するための専用書庫の狭隘化を改善するため、①『神戸大学百年史』全 4 巻の在庫を社会科学系図書館管理棟 1 階倉庫に移動すると共に、②神大会館 1 階にある施設部地下倉庫の一部を間借りして平成 29 年 9 月 25 日に書架を設置し参考図書等を移動することにより、専用書庫に新たな空きスペースを確保した。

・ 利用審査の効率化

利用制限事由に関する審査（利用審査）の業務効率化・標準化を図るため、平成 29 年 8 月に利用審査の実務マニュアルを作成し、室員周知を行った。今後業務上の必要に応じて随時更新予定。

・ 他機関からの見学を受入れ

他機関からの見学（視察）が 5 機関 97 名あり、その内訳は下表のとおり。

年月日	大学文書史料室を見学した機関	見学者数
H29.07.10	神戸大学総合教養科目「神戸大学史B」(教員 1 名、受講生約 45 名)	46 名
H29.07.10	全北大学校(韓国)(韓国科学文明学研究所教員 2 名、学生 5 名)	7 名
H29.10.31	神戸大学文学部講義「文化財学」(教員 1 名、受講生約 30 名)	31 名
H30.01.19	文部科学省図書館(職員 1 名)	1 名
H30.01.23	兵庫県立御影高等学校(教員 1 名、生徒 11 名)	12 名
合計		5 機関 97 名

・ 神戸大学広報誌・同窓会誌等への寄稿

広報の充実を図るため、本学広報誌及び同窓会誌等への寄稿を次のとおり実施した。

- ・ 「出光佐三と草創期の柔道部—大学文書史料室から(22)—」
(同窓会誌『凌霜』第 413 号、神戸大学凌霜会、平成 29 年 4 月号、22-23 頁)
- ・ 「エ克蘭—神大人の心のふるさと—大学文書史料室から(23)—」
(同窓会誌『凌霜』第 414 号、神戸大学凌霜会、平成 29 年 7 月号、18-19 頁)
- ・ 「『神大』ヒストリー 76 年ぶり戦前に手放された絵画の里帰り」
(広報誌『風』Vol.9、神戸大学総務部広報課、平成 29 年 7 月、2 頁)
- ・ 「文書館・史料館めぐり 神戸大学附属図書館大学文書史料室」
(日本歴史学会編『日本歴史』第 831 号、吉川弘文館、平成 29 年 8 月、73-74 頁)
- ・ 「GHQ に接收された神大プール—大学文書史料室から(24)—」
(同窓会誌『凌霜』第 415 号、神戸大学凌霜会、平成 29 年 10 月号、26-27 頁)
- ・ 「『神大』ヒストリー 魚住和晃先生と神戸大学」
(広報誌『風』Vol.10、神戸大学総務部広報課、平成 29 年 12 月、2 頁)
- ・ 「神戸大学ロゴマーク—大学文書史料室から(25)—」
(同窓会誌『凌霜』第 416 号、神戸大学凌霜会、平成 30 年 1 月号、20-21 頁)

・ 神戸大学沿革図の作成

- ・ 『学生生活案内 平成 29 年度』（学務部、4 月刊）掲載の本学沿革図を作成した。
- ・ 神戸大学ホームページの「沿革年表」「沿革略図」を平成 29 年 4 月 25 日に更新した。
- ・ 『神戸大学概覧 2017』（総務部広報課、6 月刊）掲載の本学沿革図を作成した。

・ 学内記念事業への協力

- ・ 経済経営研究所創立 100 周年記念事業の一つである旧制神戸高等商業学校資料群（大学文書史料室所蔵）のデジタル化・データベース化事業に協力した（次年度継続予定）。
- ・ 医学部保健学科創基 70 周年記念事業「募金趣意書」（平成 29 年 10 月）の作成に協力した。
- ・ 附属中等教育学校主催の卒業研究パネル展の制作・開催（平成 30 年 3 月開催）に協力した。

・ 大学史及びアーカイブズ学関連授業への講師派遣

大学史及びアーカイブズ学関連授業への協力として、平成 29 年度は下記を実施した。

- ・ 総合教養科目「神戸大学史」講義への講師派遣（1Q2 回、2Q1 回、3Q2 回、4Q1 回）
- ・ 文学部専門科目「地域歴史遺産保全活用基礎論」講義への講師派遣（2Q1 回）

・ その他の協力等

- ・ 大学広報への協力として、①大学来訪者の学内案内（随時）、②学生広報ボランティアの取材協力、③インターネットラジオ「神戸大学 Radio！」への出演（平成 29 年 5 月 12 日、19 日放送の計 2 回）などを実施した。
- ・ 他機関への協力として、①NHK スペシャル「731 部隊の真実」（平成 29 年 8 月 13 日放送）の調査協力、②宗像青年会議所刊行『絵本 出光佐三のふるさと』の作成協力、③出光興産若手社員研修会での講演及びキャンパス案内（10 月 5 日）、④姫路商工会議所青年部主催講演会での講演（10 月 5 日）、⑤国立歴史民俗博物館主催の企画展示「1968 年」の調査協力、⑥兵庫県立御影高等学校の講義（総合人文コース 2 年生対象）に講師派遣、⑦BS 朝日「建物遺産」（平成 30 年 2 月 16 日、23 日、3 月 2 日放送）の取材協力などを実施した。
- ・ 卒業生向けの講演を 2 回行った（平成 29 年 11 月 14 日、15 日）。

- ・ 国立公文書館主催「平成 29 年度全国公文書館長会議」（平成 29 年 6 月 8 日開催）に室長及び室員が出席し、①「『明治 150 年』に取り組む基本的考え方」、②「『公文書館職員の育成と活用』における基本的考え方」の 2 点を議決した。
- ・ 総務部総務課主催の平成 29 年度法人文書管理状況監査（一部）に同行し、学内 6 部局における法人文書の管理状況等を現地確認した。

◆評価と課題

平成 29 年度は、室の課題やあるべき姿について前年度の検討をさらに進め、室の改組（平成 30 年 4 月実施予定）に向けて準備を整えることができた。

また、特定歴史公文書等の適切な保存及び円滑な利用を確保するため、①神大会館 1 階の施設部倉庫を間借りして書庫収蔵スペースの狭隘化を改善した、②利用審査の実務マニュアルを作成して業務効率化・標準化に努めた、③展示替え期間中の空きスペースでミニ常設展を初めて開催して常設展来場者数が増加（前年度比 23% 増）した、④大幅に増加した資料利用件数（前年度比 93% 増）と学内外からの各種問合せ・調査依頼（前年度比 65% 増）への迅速な対応に努めた。

なお、今後は、ガイドライン改正（平成 30 年度施行予定）に伴う関連規則等の整備に取り組むと共に、歴史公文書等の評価選別基準の見直しに向けて検討を進め、また、特別展来場者数の減少を背景に、効果的な展示の工夫を講じる必要がある。

5. 管理運営等

(1) 図書館組織と運営

<管理運営全般>

平成 29 年 3 月、任期満了により野海正俊館長（理学研究科教授）が退任し、4 月より部局長経験者である萩原泰治館長（経済学研究科教授）が就任した。館長の交替に伴い、副館長 3 名が交替した。4 月 14 日に館長・副館長懇談会を開催し、新たな役割分担を決めた。新任の副館長及び役割分担は以下のとおりである。

金京拓司副館長（経済学研究科教授）	社会科学系図書館、国際交流担当
大西 洋副館長（理学研究科教授）	自然科学系図書館、広報担当、基盤センター運営委員
浅野慎一副館長（人間発達環境研究科教授）	評価担当、大学文書史料室長

<館内諸会議>

* 開催日時、議事内容等は、巻末添付資料に掲載

① 附属図書館運営委員会

- ・ 平成 29 年度は 4 回開催した。

② 附属図書館長・副館長・分館長懇談会

- ・ 平成 29 年度は 6 回開催した。（第 2 回、第 3 回は将来計画見直し検討 WG として開催）

③ 附属図書館評価委員会

- ・ 平成 29 年度はメール回議にて 2 回開催した。

④ 附属図書館研究開発室会議

- ・ 平成 29 年度はメール回議にて 1 回開催した。
- ・ 教育研究支援部会は独自に懇談会を 1 回開催した。

⑤ 大学文書史料室運営会議

- ・ 平成 29 年度はメール回議を含め 5 回開催した。

⑥ 附属図書館係長会議

- ・ 平成 29 年度は開催なし

<教育研究基盤資料の充実>

平成 29 年度は 3.52 億円（決算ベース）を確保し、約 25,400 誌の電子ジャーナルと 23 種のデータベースを全学に提供した。平成 31～33 年の教育研究基盤資料整備について、第 2 回運営委員会（11/8 開催）にて案提示、運営委員会委員から部局長へ意見照会のものち、第 3 回運営委員会（2/5 開催）にて図書館としての案が承認された。（その後役員懇談会・平成 30 年 5 月の部局長会議にて学内承認済「第三期中期計画期間後半における教育研究基盤資料整備費のあり方について」）

<附属図書館将来計画の見直し>

平成 12 年に附属図書館審議会が答申した「神戸大学附属図書館将来構想」から 15 年以上の年月が経過し、その間神戸商船大学との合併、国立大学法人化を経て内容が時代にそぐわなくなってきた

る。また、平成 28 年 6 月に国立大学図書館協会では「国立大学図書館機能の強化と革新に向けて～国立大学図書館協会ビジョン 2020～」が採択され、基本理念の下に三つの重点領域が示されたところである。そこで、附属図書館将来計画の見直しを検討するため館長・副館長・分館長をメンバーとする将来計画見直し検討 WG を組織し、第 2 回（8/7 開催）、第 3 回（9/15 開催）の館長・副館長・分館長懇談会において詳細を検討した。その検討内容を「神戸大学附属図書館今後 10 年の運営方針について」と題し、第 2 回附属図書館運営委員会（11/8 開催）に提案し、各部局に持ち帰った上で承認を得た。その後役員懇談会（1/23 開催）を経て、部局長会議（2/8 開催）にて学内に報告された。（＊全文は巻末付録（p57～60）参照）

＜「大学文書史料室」の運営＞

- ・ 大学文書史料室は平成 22 年 4 月 1 日に附属図書館に設置され、平成 23 年 3 月 30 日付けで、「国立公文書館等」（＝国立公文書館に類する機能を有する施設）として内閣総理大臣の指定を受けている（平成 23 年内閣府告示第 13 号）。活動と評価・課題の詳細は本年次報告 4（6）「大学文書史料室」に記載している。平成 30 年 4 月 1 日付で附属図書館の下を離れ、学長の下に置く室として改組されることとなった。（事務担当は引き続き附属図書館企画係）

＜神戸大学出版会＞

4 月 1 日付で神戸大学出版会が設立され、担当は広報担当理事であるが、事務担当部局として出版会運営委員会を 1 回、出版会出版委員会を 6 回開催し 2 冊の図書を刊行した。また平成 30 年 1 月 30 日に出版会設立記念シンポジウムを六甲ホールにて開催し、学内外から約 200 名が参加し盛況であった。

◆評価と課題

附属図書館運営委員会において、「神戸大学附属図書館今後 10 年の運営方針について」を審議、承認し、理事懇談会、部局長会議に報告できた。この資料は附属図書館が概算要求等において将来計画をどのように描いているかを説明するものであるが、図書館を取り巻く環境は年々変化し、かつ厳しくなってきたことから、今後も不断に検討を続けていく必要がある。

また、懸案であった第 3 期中期計画期間後半の教育研究基盤資料整備について、一部補填金額を減額するものの、中心となる電子ジャーナル及びデータベースについては平成 26 年度の規模を維持することが附属図書館運営委員会で承認された。

大学文書史料室は平成 30 年 4 月から、附属図書館から離れ学長直下の室として独立することとなった。事務担当は引き続き附属図書館が担当するが、大学が所有する歴史的公文書等を管轄する部署として、今後も組織としての充実を要望していきたい。

附属図書館が担当する二つ目の附属図書館外の組織として、神戸大学出版会が設立された。初年度としては「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の成果物シリーズ化、というコンテンツをいただいたことにより順調に滑り出しているが、出版資金の確保とブランド力が今後の大きな課題である。

（２）事務組織と人事管理

＜図書館事務組織＞

- ・ 平成 29 年 4 月に附属図書館事務組織の一部グループ化が実現し、関連規則等の改正を行った。
- ・ 平成 29 年 5 月現在、附属図書館事務部は 2 課 3 グループ 11 係、定員 46 名、非常勤職員 37 名の

83名となっている。(サービス課課長補佐(自然)の課長昇進による転出に伴う欠員1)また経済経営研究所図書係は、定員3名を配置しており、平成22年4月に設置した大学文書史料室は定員1名、非常勤職員3名を配置している。

- 平成29年5月現在、職員の配置状況は、以下のとおりである。

地区	館室	配置係数等	定員職員	非常勤職員	計
六甲地区	総合・国際文化学図書館	サービス課長 2係	5	5	10
	社会科学系図書館	部長 管理課長・補佐 1グループ 4係	20	17	37
	自然科学系図書館	サービス課補佐(欠員) 1グループ 1係	6	3	9
	人文科学図書館	1係	3	3	6
	人間科学図書館	1係	3	2	5
楠地区	医学分館	サービス課補佐 1グループ	3	5	8
名谷地区	保健科学図書室	1係	2	1	3
深江地区	海事科学分館	サービス課補佐 1係	4	1	5
		計	46	37	83

六甲地区	経済経営研究所図書館	1係	3	0	3
	大学文書史料室		1	3	4

- 現在のところ、社会科学系図書館が事実上の中央館として機能しており、企画係・管理係が全館の総務機能を、資料整備グループ受入担当・雑誌担当・目録担当は、当該業務に係る全館調整機能と社会科学系図書館及び総合・国際文化学図書館の整理業務を担当している。
- 情報管理課の電子図書館係(社会科学系図書館配置)、同情報システム係(自然科学系図書館配置)及び情報サービス課の情報リテラシー係(総合・国際文化学図書館配置)は、当該業務の全館調整機能を果たしている。
- 資料整備担当は、自然科学系図書館及び医学分館に配置し、各館の総務機能と整理部門を担当し、各館室に配置するサービス担当もしくは情報サービス係は、主に各館室のサービス業務を担当している。

<職員の採用と育成>

- 「神戸大学新任職員研修」及び「兵庫県下教育機関事務系職員(新規採用者)研修」受講者はいなかった。
- 大阪大学附属図書館との人事交流を実施中。(係員1名、前年4月から2年間の予定)
- 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験受験者の中から、11月に職員1名を新規採用した。
- 図書館では、事務系職員の「職員調書」とは別に図書系職員の「意向調書」を実施している。本年度も職員のキャリア形成に係わる目標や希望に加えて、業務内容やスキルの分析、業務目標の達成度評価等を盛り込み、よりの確な聴取に努め、その結果研修計画等に反映した。
- 他機関・他団体等の主催する各種研修、大学図書館職員長期研修、主題専門知識の研修等に職員を派遣し、スキルアップに努めた。本年度参加の主な研修は次のとおりである。

※参加者:「専門職員」→「係長」、「事務員」→「係員」に統一表記

区分	研修名	主催	日程	参加者
	大学図書館近畿イニシアティブ中級研修	近畿イニシア	5/26	係員3

若手職員向けの基礎研修	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	9/28-29	係員 3
	大学図書館職員短期研修	京都大学、国立情報学研究所(共催)	10/3-6	係員 2
中堅職員向けの研修	大学図書館職員長期研修	筑波大学	7/3-14	係長 1
管理職向けの研修	管理監督者(課長・課長補佐相当)研修	神戸大学	7/10-11	補佐 1
	国立大学協会近畿地区支部研修「係長研修」	国立大学協会(当番校:京都大学)	11/8-9	係長 1
個別業務の専門的知識のための研修	学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来」	日本学術会議	5/18	館長
	第 88 回通常総会、第 2 回学術集会	日本医学図書館協会	5/19-20	補佐 1
	漢籍整理長期研修	東京大学	6/5-9、9/4-8	係員 1
	学術情報基盤オープンフォーラム	国立情報学研究所	6/7 午後のみ	係員 1
	神戸大学事務職員国際業務研修	神戸大学	6/7-8/3(初級) 9/13、20(上級)	補佐員 3(初級) 係長 1
	次世代リポジトリシステムに関する懇談会	国立情報学研究所	6/21	係員 1
	国立大学協会近畿地区支部研修「労働法研修」	国立大学協会	7/7	主任 1
	ハラスメント相談員研修会	神戸大学	7/12、13	係長 2
	第一種衛生管理者試験受験準備講習会	神戸大学	8/23-25	係員 6
	近畿地区国立大学法人等会計事務研修	京都大学(当番校)	10/18-20	係員 1
	レファレンスサービス研修	国立国会図書館	10/19-20	係長 1
	漢籍担当職員講習会(中級)	京都大学	11/6-10	係員 1
	第 19 回図書館総合展	図書館総合展運営委員会	11/7-9	部長 学生 2 係員 3
	障害者サービス担当職員向け講座	国立国会図書館	11/14-15	係長 1
	目録システム書誌作成研修	国立情報学研究所	11/16-17	係員 1
	メンタルヘルス II 種試験	神戸大学	12/4、11	補佐 2
	スキルアップ研修「プレゼンテーション研修」	神戸大学	12/6、22	係員 1
	機関リポジトリ新任担当者研修	JPCOAR	12/7-8	係員 1
	日本古典籍講習会	国文学研究資料館、国立国会図書館	1/16-19	係員 1
	研究データ管理を支える人材育成に関する意見交換会	京都大学	2/13	係員 1

	文書管理者・文書管理担当者等研修	神戸大学	2/16	係長 12
	第 2 回紀要編集者ネットワークセミナー	京都大学	2/26	係長 1
	オープンサイエンスデータ推進ワークショップ	京都大学	3/1-2	係長 1 係員 1
1 日以内の講演会・研修会等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハラスメント相談員研修会 ・ 人事評価に係る研修会 ・ 個人情報保護・情報セキュリティ研修 ・ アプリケーションソフトウェア研修 ・ 国大図協近畿地区助成事業「その時図書館はどう動くか？」 ・ 総務関係実務担当者研修 ・ iPRES 2017 ・ 京都大学図書館機構講演会「デジタルアーカイブの新たな展開と可能性」 ・ 日本医図協シンポジウム「教え方を学ぶ」 ・ JaLC 研究データ利活用協議会 (RDUF)研究会「デジタルアーカイブと研究データの出会いシンポジウム」 ・ 救急講習会 ・ 県大図協研究会「教えて！CAT2020」 ・ 有期労働契約に係る説明会 ・ 震災復興支援・災害科学研究推進室 第 6 回シンポジウム ・ これからの学術情報システムに関する意見交換会 ・ 第 113 回日本医学図書館協会近畿地区例会 ・ 国大図協シンポジウム「電子ジャーナル購読をめぐる課題」 ・ 大阪大学職員研修「学修スペースを活性化させるために」 ・ 第 7 回被災地図書館情報交換会 	国立国会図書館関西館、国立大学図書館協会、日本医学図書館協会、兵庫県大学図書館協議会、和歌山大学、京都大学、大阪大学、神戸大学ほか(主に近畿地区で開催されるもの)	各半日～1日	管理職を含め延べ 41

上記に加え、附属図書館職員の知識習得を目的として内部研修を次のとおり開催した。

研修名と内容	日程	参加者数	備考
附属図書館職員研修講演会「神戸開港 150 年、都市イメージの変遷をめぐる」	5/15	51	講師：奥村教授(人文学研究科)、山本康司氏
附属図書館職員研修海外派遣事業報告等	12/11	41	報告：補佐 1 名、係員 3 名
図書の修理講座 背表紙の補修、簡易帙、簡易箱作成等	9/11、1/4、3/12	43	※参加者数はのべ人数

- ・ 大学文書史料室では、室員が講師となって、学内職員に対する文書管理の研修を次のとおり実施した。
 - ・「神戸大学新任教職員研修」の「法人文書管理について」のコマを担当（受講者数：104名）
 - ・「神戸大学文書管理者研修」（受講者数：61名）
 - ・大学文書史料室職員に対する研修：3回

＜業務の改善と効率化・合理化＞

① 業務の標準化・合理化

- ・係横断的なワーキンググループ（以下WG）を組織し、業務の合理化及び質的向上を図った。平成29年度は、総合図書館資料選定委員会・情報リテラシー教育支援WG・図書館アウトリーチWG・業務改善WG・展示WGが活動した。次期図書館システム検討WGはメーリングリストのみ存続させている。

② アウトソーシング

- ・図書装備付納品、社会科学系図書館・医学分館・保健科学図書室の時間外開館業務と自然科学系図書館の土・日開館業務、電子化コンテンツの作成業務、廃棄図書搬出業務のアウトソーシングを実施した。雑誌製本業務は予算縮減のため製本のみアウトソーシングとし、準備・データ作成・装備は職員により実施した。資産点検業務についても予算縮減となっており、点検時期を見直して契約額を可能な限り抑え、総合・国際文化学図書館、人間科学図書館、医学分館、海事科学分館において計約28万冊のアウトソーシングを実施した。

③ 業務改善の検討

- ・全学の業務改善は、平成26年10月を起点として新たな枠組みで推進されている。附属図書館でも業務改善WGを組織し取り組んでおり、半期ごとに各業務の現状の課題と対策を確認しつつ改善事項を報告している。平成29年度は、パスファインダーの公開方法変更によるコスト削減、郵便差出業務における割引サービスの検証、震災文庫における資料整理業務の合理化を実績として報告した。

◆評価と課題

学外の各種図書館関連研修、情報関連研修、専門主題に関わる研修に職員を派遣した。また、学内の学修・教育支援に関する講演会や安全衛生・メンタル関連の研修を職員に受講させた。その研修成果は、報告書の提出により他の職員の能力開発に役立っている。

ワーキンググループについては、具体的な業務目的を負ったものに絞って設置し、いずれも活発に活動し成果をあげている。アウトソーシングによる効率化については、図書館予算の減額が続く中、製本業務や資産点検業務では、従来通りの方法・規模での実施が難しくなっている。その一方で時間外開館、土・日開館業務は、開館時間増加傾向のもと拡大は不可避である。後述の学内ワークスタディ実施経費の活用も視野に入れつつ、現状に即して注意深く進める必要がある。

全学の業務改善については、ある程度の改善を達成した一方、未達成で実現の可能性が低いものは年度末に提案を取り下げ整理した。次年度は事務局長の交替に伴い全学の業務改善の枠組みに変化がありうるが、引き続き取り組んでいく。事務組織の改編については、業務の実情に即して、更なるグループ化も含めて検討を続けていく。

(3) 予算及び財務会計業務

<平成 29 年度附属図書館予算・決算>

① 既定経費（経常運営費・経常事業費）等

- ・経常運営費は当初予算配分 156,608 千円、決算額 158,291 千円であった。平成 28 年度の当初予算配分 165,685 千円 決算額 161,717 千円と比較して、いずれも減額となった（予算額 H28 予算比 9,077 千円 5.5%減、決算額 H27 決算比 3,426 千円 2%減）。
- ・経常事業費は当初予算 108,611 千円、決算額 107,670 千円であった。平成 28 年度の当初予算 123,510 千円 決算額 129,996 千円と比較して、いずれも減額となった（予算額 H28 予算比 14,899 千円 12%減、決算額 28,674 千円 17%減）。
- ・平成 29 年度の学生用資料費は、当初配分 41,682 千円（前年比 4,178 千円、10%減）、決算額 41,679 千円であった。前年度、運営費交付金の大幅減に対し、図書館の経常運営費を最低限確保するために 13.1%もの大幅減額をせざるを得なかったが、本年度も引き続き 10%の大幅減額となった。大学文書史料室管理運営経費も前年度から 8%減の 6,530 千円となった。
- ・本年度より各部局が施設面積に応じて建物老朽劣化対策経費を負担することになり、4,124 千円が当初予算配分より差引かれた。
- ・キャンパス情報ネットワークシステム（KHAN2017）対応として、4,146 千円が当初予算配分より差引かれた。
- ・以上の既定経費（経常運営費と経常事業費、大学文書史料室運営経費合計）の当初予算配分は 271,749 千円で、平成 28 年度の 296,293 千円から 24,544 千円 8.3%の減となり、予算編成に支障を来したため、当該年度中の複写料等収入見込額 4,000 千円を加え、275,749 千円を当初予算額に設定した。結果、年度中の複写料収入を含む収入確保インセンティブ経費等からの繰入を加えた、既定経費の予算総額は 278,016 千円、決算総額は 277,168 千円となった。

② 臨時的経費

- ・教育研究基盤資料整備費として確保した 3.52 億円（決算ベース）により、外国雑誌を含む電子ジャーナル・データベースの維持及び整備を実施した。
- ・学内ワークスタディ実施経費（782 千円）により、総合・国際文化学図書館、人文科学図書館、人間科学図書館で SA（ステューデント・アシスタント）を雇用した。
- ・建物老朽劣化対策経費（26,715 千円）により、自然科学系図書館の外壁補修、社会科学系図書館書庫 A 棟と総合・国際文化学図書館棟（鶴甲 1 団地 A 棟）の屋上防水を実施した。
- ・学長戦略経費（環境整備）（2,984 千円）により、社会科学系図書館マイクロ保管室に除湿機を設置し、人文科学図書館の防犯カメラと録画装置一式を更新した。
- ・学内営繕・エコ対策経費（5,575 千円）により、人間科学図書館の空調修理、保健科学図書室西側スロープ取設工事等を実施した。

③ その他の経費

- ・国文学研究資料館の「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク」構築のための経費により、画像撮影（3,013 千円）を実施した。
- ・国立大学図書館協会地区事業助成金（67 千円）により、「文献入手スキルアップセミナー～文献入手のプロとして学術情報流通の今とこれからを知る～」を開催した。
- ・電子図書館事業である新聞記事文庫デジタル化について、「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」は不採択となった。

※平成 29 年度附属図書館予算及び決算を巻末に添付する。

<図書資産の管理>

① 図書資産点検

- ・アウトソーシングにより実施しているが、予算縮減により、前年度に策定した第 3 期中期目標・中期計画期間 6 年間の資産点検計画では完遂が見込めないため、監査法人の了承のもと、資産管理上支障のない範囲で計画を修正した。
- ・平成 29 年度の資産点検は、総合・国際文化学図書館、人間科学図書館、医学分館、海事科学分館の 4 館で実施し、点検総冊数は 280,534 冊である。アウトソーシングの契約にあたり、点検実施時期の見直しにより単価を極力抑制して、予算縮減に対応した。

② 不明資料の追跡調査

- ・平成 26～28 年度資産点検時から不明となっている資料について、追跡調査を実施した。
(資産点検時不明資料 7,061 点、追跡調査による発見資料 4,143 点、追跡調査後不明資料 2,918 点)

③ 不用決定

- ・不明後 3 年以上経過している資料（平成 25 年度資産点検時からの不明資料）を不用決定した。
(140 点、資産価格 820,189 円)
- ・重複資料やオンラインで利用可能となった資料等を不用決定した。(32,202 点、資産価格 154,494,004 円)

◆評価と課題

本年度も引き続き厳しい予算運営を余儀なくされた。

平成 30 年度は、機能強化促進係数影響分（年 1.6%減）がキャンパス情報ネットワークシステム（KHAN2017）対応分の戻りで相殺され、当初予算配分額は平成 29 年度と同額の 271,749 千円としたが、厳しい状況に変わりはない。特に時間外開館、土・日開館業務に係る人件費は、開館時間増加傾向のもと増加は不可避であり、学内ワークスタディ実施経費の活用も含め財源の確保の工夫が課題である。図書資産点検についても、引き続き限られた予算で、計画上必要な点検を、最大限に実施できるよう配慮する必要がある。図書資料の選択的廃棄の推進は第 3 期中期目標・中期計画期間においても取組内容に位置付けられており、引き続き進めていく。

（４）施設整備・システム整備

<各館室の施設整備・設備更新>

- ・平成 29 年度における主な事項は、以下のとおりである。

総合・国際文化学図書館	鶴甲 1 団地 A 棟屋上防水シート補修
社会科学系図書館	書庫A棟屋上防水シート補修、マイクロ保管室除湿機を設置、本館1階各室ドアクローザ取付
自然科学系図書館	外壁補修、4 階機械室空調機修理、1 階特殊資料室防カビ施工
人文科学図書館	防犯カメラと録画装置一式更新
人間科学図書館	事務室空調修理
経済経営研究所図書館	—

医学分館	1・2階西側窓遮光遮熱フィルム貼付、事務用椅子4脚更新
保健科学図書室	図書館西側スロープ取設、1階情報処理教室扉修理、トイレ排水管路系統修繕
海事科学分館	1階学生自習室空調機更新、書庫1換気扇周辺雨漏り改修工事、事務椅子7脚更新

<安全点検>

- ・ 附属図書館安全衛生会議を、構成単位である社会科学系図書館と自然科学系図書館と大学文書史料室の3館室のみならず、附属図書館全体の安全衛生事項の周知・報告の場として運用しており、平成29年度はメール回議にて4回開催した。
- ・ 安全衛生活動計画を策定し、週1回の衛生管理者による巡視を実施した。
- ・ 職場巡視に必要な第一種衛生管理者資格について、事務局主催の受験準備講習会を受講のうえ試験を受け、4名が資格取得した。
- ・ また安全衛生活動計画において、年1回図書館独自の自衛消防・防災訓練の実施を計画し、2月から3月の間に全館室で実施した。特に社会科学系図書館においては、震度7の地震に伴う火災が館内で発生したとの想定で、館内アナウンス・避難誘導と負傷者の搬送・初期消火行動の訓練を実施した。
- ・ 火元責任者による防火防災の自主点検を実施した。

<情報機器の更新>

- ・ 使用年数の長い蔵書検索用端末の交換を随時行った。
- ・ 利用者用PC等の設置台数は次のとおりである。
- * 情報コンセントは、キャンパス情報ネットワークシステム(KHAN2017)の更新に伴い、一部の館での提供としている。

	総・国	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
PC台数	46	41	38	25	19	1	22	14	16	222
教育用端末(*1)	(37)	(28)	(33)	(16)	(13)	(0)	(17)	(10)	(13)	(167)
蔵書検索用端末等(*2)	(9)	(13)	(5)	(7)	(6)	(1)	(5)	(4)	(2)	(52)
スタンドアロン	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(3)
貸出用PC	12	4	1	0	0	0	3	0	1	21
タブレット(ipad)	(2)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(1)	(9)
ノート	(10)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(12)
情報コンセント	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7
無線LANAP(*3)	4	7	3	2	2	0	3	2	2	25

注) (*1) 情報基盤センター教育研究用計算機システムの教育用端末

(*2) 「図書館向けデジタル化資料送信サービス」「歴史的音源(れきおん)配信サービス」に対応する端末を含む

(*3) 附属図書館内に情報基盤センターが設置

<システム整備>

- ・ 平成28年9月に更新した図書館システムについては、機能向上や問題点への対応を随時行った。また、業務用PCのWindows7からWindows10への入替を順次実施した。

<自動貸出装置等>

- 自動貸出装置等の設置台数は次のとおりである。

自動貸出装置	全館室(研究所を除く)
入退館管理システム	全館室(研究所を除く)
BDS(無断持出防止装置)	全館室(研究所を除く)
24時間入退館管理システム	医学分館
セルフ式コピー機(コイン式等)	全館室

◆評価と課題

施設部が各部局より確保して執行する建物老朽劣化対策経費(26,715千円)により、懸案事項だった自然科学系図書館の外壁補修と、社会科学系図書館書庫A棟と総合・国際文化学図書館棟(鶴甲1団地A棟)の屋上防水が実施された。また学長戦略経費(環境整備)(2,984千円)により、社会科学系図書館マイクロ保管室に除湿機を設置し、人文科学図書館の防犯カメラと録画装置一式を更新した。平成30年度も厳しい予算状況が続くが、限られた範囲で適切に対応する必要がある。

今後の主な課題としては以下のものがある。

1. 海事科学分館1階トイレが未改修で残っているが、老朽化も進んでおり改修が必要である。
2. 各館室の空調設備に故障が発生しており、利用者サービスや業務に支障をきたしているため更新が必要である。
3. 海事科学分館の屋上への動線は現状危険な状態のため、屋外階段の設置を希望する。
4. 総合・国際文化学図書館書庫の照明器具は、老朽化しており更新が必要である。
5. 海事科学分館のエレベーターが車椅子対応でなく老朽化も進んでおり改修が必要である。

特に海事科学分館建物の今後については、深江キャンパスの整備計画の動向に合わせ、海事科学研究科・施設部と連絡を密にして対応していく必要がある。

神戸大学LC検討WGの報告書に基づき、学習支援機能の強化のため、自然科学系図書館でのLC設置を概算要求している。また資料収容力強化とスペース効率向上のため、自然科学系図書館と六甲台1地区の高度専門国際人材育成拠点Ⅱ期における自動化書庫設置を概算要求しており、その計画の推進と実現が、現在の附属図書館における主要な課題の一つである。

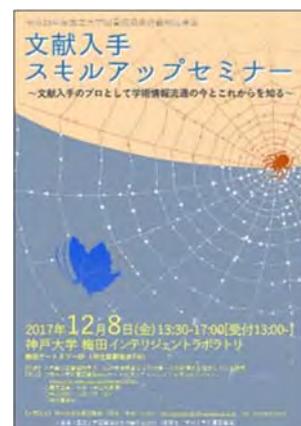
なお、各館室改修等の進め方については、『神戸大学附属図書館今後10年の運営方針について』において、その指針を示している。

システムについては、平成28年9月のリプレース以降、概ね問題なく稼働している。また、キャンパス情報ネットワークシステム(KHAN2017)の更新への対応については、一部の残件を除き概ね完了した。今後はシステムの安定した運用の維持と、改善を要する点への対応が課題である。また、平成31年度中に予定されている次期会計業務システムへの更新について、円滑に移行できるよう対応する必要がある。

(5) 図書館界での諸活動

<国立大学図書館協会>

- ・ 「学術資料整備委員会」の委員を務めた（事務部長）。
- ・ 「総務委員会」の委員を務めた。（サービス課長）。
- ・ 係員1名が平成29年度国立大学図書館協会海外派遣事業（長期）に採択され、米国 University of Central Florida を訪問調査した。（9月17日～10月1日、調査研究テーマ：北米の大学図書館におけるアウトリーチサービスの実態調査）
- ・ 平成29年度国立大学図書館協会近畿地区助成事業の主担当となり「文献入手スキルアップセミナー」を開催した。（12月8日、会場：神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ）募集定員50名に対し46機関78名の参加があり内容への関心の高さが窺われた。



<オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) >

- ・ 係長1名が研修作業部会員を務めた。
- ・ 係員1名がメタデータ普及タスクフォース作業部会員を務め、JPCOAR 総会に報告者として出席した。

<国立情報学研究所、JUSTICE>

- ・ 係長1名が「学術認証運営委員会 図書館系サービス作業部会」委員を務めた。（平成27年度から継続）
- ・ 係員1名が電子リソースデータ共有作業部会員を務めた。
- ・ 係員1名が JUSTICE 作業部会協力員を務めた。

<日本医学図書館協会近畿地区>

- ・ 課長補佐1名がシンポジウム実行委員会委員を務め「教え方を学ぶ：医学系図書館におけるインストラクショナルデザインについて」を開催した。（10月24日、会場：大阪大学生命科学図書館）

<兵庫県大学図書館協議会>

- ・ 平成28年度に引き続き、会長館、事務局として協議会の運営にあたった。研修事業においては、研修担当館による事業の企画・運営を事務局として補助した。
 - 研究会「教えて！CAT2020：図書館対応マニュアル Q&A」（会場：神戸市看護大学）
- ・ 平成28年度の活動成果として、地域貢献の取組について、図書館における危機管理に関する取組について、広報活動（SNS・キャラクター活用その他）について、事例報告と質疑応答を行った。活発に情報交換がなされ、今後の大学図書館の展開を模索する上でも貴重な情報共有ができた。また総会での提案を受け、当協議会加盟館間の相互利用に関するアンケートを実施した。（平成29年10月19日依頼、平成30年度総会にて報告予定）
- ・ 県内の大学図書館にとどまらず、公共図書館や大学図書館近畿イニシアティブ加盟館とも連携強化を図っている。

<研修等への講師・発表者の派遣>

- ・ 国立情報学研究所等が開催する研修や講習会に、平成29年度は次のとおり職員を講師・発表者として派遣した。

研修名	主催	会場	日程	講師等
第2回、第4回機関リポジトリ新任担当者研修、JAIRO Cloud 操作説明会	JPCOAR 国立情報学研究所	国立情報学 研究所	7/27-28 9/21-22	電子図書館係員 (講師・運営補助)
京阪奈三教育大学連携事業職員研修	大阪教育大学(実施 担当)	大阪教育大 学	9/29	自然科学系グループサービス 担当事務員、情報システム 係員 (講師)
第19回図書館総合展	図書館総合展運営 委員会	パシフィコ横 浜	11/7-9	研究所図書係員(図書館 キャラクターグランプリ・説明)
これからの学術情報システムに関する意見交換会	国公立大学図書 館協力委員会	キャンパス プラザ京都	12/1	電子図書館係員 (講師)
FD・SD セミナー「大学図書館が支援する授業手法改革」	富山大学	富山大学	2/23	海事科学情報サービス係員 (報告)
職員研修「大学図書館と他組織との連携・協力のあり方をさぐる」	大阪大学	大阪大学	3/15	海事科学情報サービス係員 (報告)

<その他>

- ・ 近畿地区国立大学等職員採用図書系専門試験実施委員会の委員を務めた。
- ・ 大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会の委員を務めた。
- ・ 大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会の委員を務めた（情報サービス課課長補佐）。

◆評価と課題

国立大学図書館協会や兵庫県大学図書館協議会の活動において、会員間で緊密な連携と協力を図ることによって、それぞれの図書館機能の向上を支援するとともに、学術情報資源の共同整備と相互利用を促進している。

研修事業について、講師を積極的に派遣することは、図書館諸団体の活動・運営に寄与するのみならず、講師として参加する職員の資質向上につながるものであり、大いに評価できる。今後も推進が期待される。

平成29年度
神戸大学附属図書館年次報告

<付録>

神戸大学附属図書館今後10年の運営方針について

趣 旨

神戸大学附属図書館は、神戸大学の使命に基づき、世界トップクラスの教育・研究活動を将来にわたって支える学術情報基盤としての役割を担うとともに、人類の知の発展を導く卓越した研究成果を世界に発信する拠点となることを理念として掲げ、学内外にサービスを提供してきた。しかし、法人化後3度目の中期目標期間を迎えて、大学をとりまく環境は大きく変容し、大学図書館の果たすべき役割も、大学の基本機能としての従来在り方に加えて、教育・研究支援組織としての新たな方向性が求められている。本方針は、今後10年を視野に置き、図書館機能の強化と革新のために用いるものとして定める。

1. 知を創出する「場」の提供

(1-1) アクティブラーニング等新しい学習スタイルに対応した環境の整備

神戸大学ラーニングコモンズ(LC)検討ワーキンググループ報告書の構想に基づき、附属図書館のうち3館に基幹となるLCが整備された。LC未設置の館室においても、改修に合わせてLCのスペースを確保し、双方向型授業やアクティブラーニングなどの課題解決型の能動的学習の推進を支援する。また、PC必携化等の学生のICT環境の変化に対しても多様な利用形態に対応した学習空間を整備する。

(1-2) 分野を超えた研究をつなぐ場としての環境整備

本学が掲げる文理融合の研究を強力に推進するため、様々な分野の若手研究者を支援する場として、前項のLCとは異なるコンセプトの環境を整備する。大学院生レベルの研究ディカッションの実践やポスターセッションの訓練を行い切磋琢磨したり、サイエンスカフェ等を開催して新たなアイデアを得るためのスペースを館内に確保し、部局を超えた融合研究を醸成する場として自然科学系図書館を展開する。

(1-3) 各館室の改修

前2項を達成することを主眼とし、(2-4)に掲げる蔵書の分担収蔵も考慮しながら、未改修の自然科学系図書館、医学分館、保健科学図書室、海事科学分館の改修計画を各キャンパス関係部局及び財務部・施設部等と調整・立案し、実現に向けた予算要求を実施する。(別紙1：各館室改修等の進め方について)

2. 蔵書ならびに知識や情報の共有

(2-1) 電子ジャーナルをはじめとする研究基盤としての資料整備

先端研究と文理融合を掲げる本学にとって研究基盤の充実は不可欠である。大手出版社の電子ジャーナルパッケージやデータベースは、価格の上昇や為替変動、消費税の影響を受けながら契約規模を維持してきた。現在は教育研究基盤資料整備費として全学予算の中に組み入れられており、25000タイトル・130万アクセスの実績がある。今後、限られた予算の中で最大限の研究基盤を、全学的な合意を得ながら整備していく。(別紙2：電子ジャーナルタイトル数とアクセス数の推移等)

(2-2) 学習の基礎となる学生用図書整備

附属図書館は法人化以降、学生用図書費の確保を最重点事項として、資料整備に努めてきた。平成25年度からは、教員と連携してシラバス型パスファインダー(授業に関連する参考文献リスト)「KULiP」を作成し、掲載図書を複数冊備えたコーナー設置を開始した。今後も協力教員を拡大し、授業で指定される参考文献・必読図書を網羅的に収集し、利用に供するとともに、多数の同時アクセスが可能で、大規模授業への教材提供に適した電子書籍を積極的に導入し、自学自習に必要な学生用図書の整備をさらに進める。

(2-3) 国際化に対応した資料整備、サービスの提供

グローバル人材育成事業から配分を受けて整備した英語多読テキスト、各言語の検定試験問題集等の語学資料や留学関係資料を引き続き充実させ、本学の学生の国際性を一層涵養する。また世界から参集した優秀な留学生・研究者に対して、資料整備に加えて外国語によるレファレンス等の多文化・多言語サービスを提供し、学習・研究活動をサポートする。

(2-4) 全館室の効率的な資料収集と、蔵書の分担収蔵

9館室で構成される附属図書館は、従来より総合・国際文化学図書館を学部1・2回生向け、及び複合分野・基礎的資料の重点館とし、他の館室はそれぞれ学部3回生以上を対象に専門的な資料を収集する方針としている。各館室間で資料を流通させる図書館デリバリーサービスを利用することにより、館室間での資料重複購入を最小限とする。また、すでに所蔵している重複資料については可能な限り処分するとともに、利用頻度の低い資料や製本雑誌の管理については、共同利用書庫としての自動化書庫を要求し、スペースの有効活用を図る。(別紙3：附属図書館における蔵書の分担収蔵計画について、別紙4：全館室収容可能冊数等)

(2-5) 大学固有の学術情報資源、教育研究成果のオープン化の推進

社会への説明責任及び大学のブランディングの観点から、神戸大学の所有する学術情報資源や教育研究成果のオープン化を推進し、長期的な保存をはかる。「神戸大学オープンアクセス方針」

(平成29年1月学長裁定)に基づき、本学教員著作の学術論文をリポジトリに登録する業務を図書館が積極的に担い、さらにエビデンスとしての研究データの登録が可能なように、一部の部局や情報基盤センターと連携してシステム・サーバ構築の最適化を図る。

3. 人材の育成と参画

(3-1) 教員・学生・一般利用者など多様な人材の参画

図書館の活動は多様化しており、これまでも教員の協力を得て展示会やライティングセミナーなどを開催したり、学生の提案を広報活動に生かしたりしてきた。今後は図書館に関わる様々なステークホルダーに積極的に働きかけ、教員、本部職員、学生、一般利用者等と緊密に連携しながら、それぞれのスキルや知識を活かしつつ、新たな知の共有と創出を促す。

(3-2) 新たな人材の確保と職員の資質向上

各館室のサービスと蔵書構築に必要な専門的知識の習得など、職員の資質向上のための研修を行う一方、オープンデータの推進に関わるなど新たな人材の確保や育成を目指す。また、学術情報流通の変化に伴い、海外の動向を踏まえた新たな知識やスキルの習得が求められているため、職員を国際会議に参加させたり海外事例の調査研究に継続して派遣したりするなど、組織として育成の環境を整える。

4. 財政的な課題ほか

(4-1) 各館室維持費の確保

全館室総計で2万㎡を超える面積を保有・運用している。利用対象者は学生・教職員合わせて2万人を超え、年間300日以上開館するための光熱水費、備品・設備・建物の維持・更新には一定の金額が必要である。附属図書館は外部資金等による補填が期待できないため、維持経費を安定的に確保することが重要である。

(4-2) 外国雑誌センター・電子図書館事業について

外国雑誌センターは一橋大学とともに人文・社会科学分野における外国雑誌の収集拠点として設置されている。また、電子図書館事業も全国15大学に配分され、本学の電子図書館は震災文庫・新聞記事文庫をはじめとしたコンテンツが外部から高い評価を受けている。もともと法人化前に措置されていた予算が運営費交付金に組み入れられており、これらの事業は今後とも堅実に運用していく責任がある。

(4-3) 大学文書史料室及び大学出版会について（附属図書館が事務を担当する部署）

附属図書館は従来からの図書館業務以外に、大学文書史料室（平成22年度）、大学出版会（平成29年度）の事務を担当している。それぞれに予算や人員、設備等の課題があるが、関連する部局等と連携しながら安定的な運用と発展をめざす。

（平成29年11月8日 附属図書館運営委員会承認）

1. 達成度評価

(第3期中期目標・中期計画・年度計画管理表より)

全学中期目標/中期計画 (附属図書館担当部分のみ抜粋)	年度計画	自己評価	中期計画のアウトプット/アウトカム
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1. 教育に関する目標 (3) 学生への支援に関する目標 ○世界的教育研究拠点としてふさわしい、質の高い教育を実施するための体制を強化する。</p> <p>中期計画 3-2: グローバル化やアクティブラーニングの推進など学部・大学院教育における機能強化を実施するため、関係部局・組織が連携した学修支援体制を整備し、ラーニングコモンズやICT教育基盤等の学修の場や設備の拡充、学修に必要な資料の体系的整備、及び学修に関する人的支援の拡充を進める。</p>	<p>電子的資料を含む学修に必要な図書館資料の体系的整備を行い、授業やガイダンス等の情報リテラシー教育の拡充やライティングセミナーの開催等の人的支援を実施する。</p>	<p>IV</p>	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生用資料費として当初配分で約41,680千円を確保し、各館室の学生用資料やシラバス掲載資料等の整備を実施。E-Study事業費は別枠として約5,345千円確保。 ・学生用資料の充実のため、学生選書ツアーを6/23に実施。選書した図書は総合・国際文化学図書館所蔵だが、今年度から新たに昨年度の学生選書を他の7館室に巡回配架した。 ・学土カ・研究力の養成に必要な人的支援の一環として、またLC活用の一環として、4~5月に全6回(うち1回は会場定員超過による追加実施)のライティングセミナーを鶴甲第一キャンパスLCで(ただしうち1回は工学部で)開催(延べ参加者399名で前年度比2.9倍、新学期早々への開催時期変更、事前申込不要への変更、実施内容の見直し・更新等が増加の要因と考えられる)。 ・若手研究者・大学院生を対象に、学術英語スキルアップセミナーを開催(参加者67名) ・自然科学系図書館にLC(Aタイプ)を設置するため予算要求したが不採択となった。 ・シラバス型パスファインダー「[KULiP]」は今年度31件作成(累計51件)し、またセルフラーニング資料を19件登録。 ・全学共通科目「情報基礎」(1年次必修)の1コマ(90分)を、附属図書館各館室の職員で構成する「情報リテラシー教育支援ワーキンググループ」のメンバー10名が担当、実施(前後期計23回、2,633名受講)。 ・初年次セミナーにおいて、図書館ツアーやガイダンスを7学部に対し計37回実施(1,027名受講で前年度比1.7倍、図書館から教員への日々の働きかけ・案内の結果と判断される)。実施にあたっては各館のLCスペースを会場とし、LCの施設什器等の特性を活用している。 ・SNSを活用した広報としては附属図書館公式ツイッターを中心に据え実施。 <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進の一環で各館で定期的に開催している図書のテーマ展示に共感した教員より関連イベント開催の申し出があり、協力してお昼休みトークイベント「趣味語学のすゝめ」全4回を総合・国際文化学図書館で開催し、合計139名の参加があり、回収した77枚のアンケートのうち88%から満足との回答を得た。これに触発されさらに教員と連携して、同じく総合・国際文化学図書館にて昼休みトークイベント「映画で広げる知的フィールド」全4回を開催し、合計194名の参加があり、回収した127枚のアンケートのうち88%から満足及びやや満足との回答を得た。図書館の取組が教員との新たな連携を生み、学生の主体的学修と知的好奇心を惹起することに繋がったと判断される。 ・ライティングセミナー、回収した266枚のアンケート結果において、88%が内容をよかったと、また92%が今後役に立つと評価している。 ・学術英語スキルアップセミナー、回収した56枚のアンケート結果において、どのプログラムも75%以上が参考になったと評価を得ている。 ・全学共通科目「情報基礎」、アンケート結果で受講者の95%から肯定的な評価を得ている。
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 2. 研究に関する目標 (2) 研究実施体制等に関する目標 ○研究戦略・計画の企画立案機能を強化するとともに、平成28年度に策定した神戸大学オープンアクセスポリシーの周知を進め、「神戸大学学術成果リポジトリ」への雑誌論文や学位論文、教材や研究データ等多様なコンテンツの登録を加速させることにより、研究支援機能及び情報発信機能を向上させる。</p> <p>中期計画 8-4: 分野融合・新領域創出等のグローバルな研究の実施を支援するため、電子ジャーナル等の学術情報の利用環境の維持と利用向上を促進するとともに、オープンアクセス等の学術情報流通の潮流を踏まえ、多様な研究成果をデジタル形態で保存し、国際的に発信する体制を強化する。</p>	<p>附属図書館において外国雑誌を含む電子ジャーナル及びデータベース等の教育研究基盤資料の安定的な維持・提供に努めるとともに、平成28年度に策定した神戸大学オープンアクセスポリシーの周知を進め、「神戸大学学術成果リポジトリ」への雑誌論文や学位論文、教材や研究データ等多様なコンテンツの登録を加速させることにより、研究支援機能及び情報発信機能を向上させる。</p> <p>神戸大学出版会を新たに設立し、出版事業を立ち上げる。</p>	<p>IV</p>	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子ジャーナルなどの全学共同利用する研究基盤資料を計画的・安定的に提供するためにH30年度整備費の確保を実施した。またH31~33年度の方針を検討した。 ・「学術成果リポジトリ」のコンテンツ収集に努めている。 ・オープンアクセスポリシーの周知のため、教員向けに説明会を、全部局に対し、計17回実施。 ・オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)に参加していて、職員1名がその中のメタデータ普及タスクフォースで活動している。職員1名が、「これからの学術情報システム構築検討委員会」の電子リソースデータ共有作業部会委員として活動している。学外の関連研修に職員が参加している(合計9件、延べ17名参加)。 ・収蔵スペースの有効活用を図るため、重複雑誌等の廃棄を実施。(8館で計32,202冊廃棄) ・資産点検における不明図書について毎年追跡調査を行い、不明期間が3年以上経過した資料の不用決定を実施。(社会科学系図書館、人文科学図書館、海事科学分館) ・増床や自動化書庫の設置による収蔵能力拡大を予算要求したが不採択となった。 ・4/11に発足した神戸大学出版会において、出版企画募集要項を制定して8月30日付で募集を開始し、神戸大学基金の中に出版会出版基金を設置するなど、体制整備を進めた。結果今年度中に2冊出版した。 <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育研究基盤資料整備費の今後のあり方について意見照会を実施したところ、全ての部局から可能な限り現状簿規模の維持を希望する回答が寄せられた。 ・オープンアクセスポリシー説明会参加者: 合計975名 ・学術成果リポジトリの年間登録数(H29年度)は1,525件で、昨年度の1,106件より約38%増加した。 ・1/30に出版会設立記念シンポジウムを開催した。学内外から約200名の参加があり、出版会への期待について意見交換した。本シンポジウムは新聞(2紙)でも報道され、出版会を世に知らしめる機会となった。

全学中期目標/中期計画 (附属図書館担当部分のみ抜粋)	年度計画	自己評価	中期計画のアウトプット/アウトカム
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 3. 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標 ○教育研究を社会と協働して推進し、先端的技術の開発や社会実装の促進、研究成果の社会還元においてもハブとなることを目指す。</p> <p>中期計画 10-4: 図書館が所蔵する、阪神・淡路大震災関連資料を網羅的に収集した「震災文庫」、他に現存しない記事を多数含む明治末から戦前の全文データベース「新聞記事文庫」等の特色ある資料を、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」や国会図書館等と連携しながら、電子的発信を含む多様な手法により公開し、社会及び地域への貢献を実施する。</p>	<p>教育研究成果の社会還元を図るため、「震災文庫」や「新聞記事文庫」等の図書館所蔵資料や学内研究成果のデジタル化を推進し、デジタルアーカイブにおける公開を継続するとともに、図書館所蔵資料による資料展を、神戸開港150年にちなんだテーマで開催する。</p>	<p>III</p>	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子図書館事業により、「震災文庫」の震災関係資料、「新聞記事文庫」などの経済関係資料及び学内研究成果等のデジタル化を推進し図書館HPで公開。 震災文庫における阪神・淡路大震災関係資料の収集・保存・公開及び、「人と防災未来センター」「兵庫県立図書館」との横断検索システムの構築や国会図書館と連携した東日本大震災アーカイブへのデータ提供等他機関との連携を継続中。 昨年度に続き、国文学研究資料館の構築する典籍データベースに収録公開のための古典籍電子化として、医学分野等の古典籍368点(650冊)の電子化を実施。また本事業推進のため、国文学研究資料館と本学人文学研究科と当館の3者で協力協定を締結した(2/2付) 神戸開港150年にちなんだ資料展「近代神戸の航路をたどる ～開港150年を迎えて～」を開催(会期:10/13～12/19)。 資料展「近代神戸の航路をたどる ～開港150年を迎えて～」のパネル巡回展を海事博物館で開催(会期:3/26～6/29)。 阪神・淡路大震災発生日にあわせ、震災文庫所蔵資料で阪神・淡路大震災の概要と復興や本学の対応等を紹介した平成26年度資料展「つたえる・つながらる～阪神・淡路大震災20年～」のリバイバル展示を含んだ、学内他部署との合同企画展「阪神・淡路大震災と地域の復興 —23年目の神戸と地域・コミュニティの課題—」を開催(会場:社会科学系図書館展示ホール、1/11～2/1)。 学内他部署による展示を社会科学系図書館展示ホールにて受入れた。「ローマ条約調印60周年 記念パネル展」(主催:EU、実施:国際教育総合センター、4/11～20) 「景観文化財の継承と活用」(主催:人文学研究科地理学研究室、6/12～9/8) 「神戸における海技者教育100年の歩み」(主催:海事博物館、3/9～4/6、神戸商船大学から現在まで第2次大戦後の海技者教育について) 一般市民への図書館開放や資料の館外貸出サービスを継続実施中。 <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> H30年1月刊行の『広辞苑』(7版)において、デジタル化公開した「新聞記事文庫」の新聞記事から、77項目を参照・引用。 資料展「近代神戸の航路をたどる ～開港150年を迎えて～」、回収した89枚のアンケート結果において、75%が内容をよかったと評価している。 合同企画展「阪神・淡路大震災と地域の復興 —23年目の神戸と地域・コミュニティの課題—」、テレビ局4社と新聞5紙から取材があり1/17にあわせて数多く報道された。回収した54枚のアンケート結果において、92%が内容をよかったと評価している。
<p>IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標 2. 情報公開や情報発信等の推進に関する目標 ○社会への説明責任及び大学のブランディングの観点から、神戸大学の様々な活動及び成果等を国内外に広く効果的な手段で情報発信する。</p> <p>中期計画 26-1: 社会への説明責任の観点から、神戸大学における教育研究活動の状況や自己点検・評価に関する情報等を関係者にわかりやすく伝える形式で公表するとともに、大学ポर्टレートの活用や大学の歴史的な文書等を一般利用に供するなど、積極的な情報発信を行う。</p>	<p>特定歴史公文書等の受入れから一般利用に供するまでの業務をより円滑に行うため、職員研修を計画的に実施するとともに、前年度に着手した組織体制の見直しを進める。また、一般利用の促進を図るため、展示会の開催、所蔵資料のデジタル化、国立公文書館との連携による横断検索目録の充実等を行う。</p>	<p>III</p>	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学から移管された歴史公文書等598件の受入れを4月から6月に行った。原則受入れ後1年以内に、一般の利用に供するまでの専門業務を実施し、平成30年3月に利用を開始した。 歴史公文書等保存利用業務に必要な専門的知識技能を習得及び向上させるため、室員研修を3回実施した(受講者計14名)。 文書管理従事者に必要な専門的知識を習得させるため、文書管理者研修を2月に実施した(受講者61名)。 大学のガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底を図るため、附属図書館の下にあった文書史料室を、『学長の下に置く』とする組織体制の変更作業を関係部署と進めており、あわせて関係規則等の改正作業を実施した(平成30年4月改組)。 神戸大学史についての常設展を実施するとともに、神戸大学創立115周年にちなんだ特別展1回(「神大キャンパス今昔物語—神戸大学創立115周年記念—」、会場:百年記念館1階展示ホール、会期:10/26-11/10、来場者数964名(前年度比126名減))及び巡回展3回((1)会場:海事博物館、会期:11/27-12/13、来場者数120名(前年度比121名減)、(2)会場:東京六甲クラブ、会期:1/15-1/25、来場者数593名(前年度比1,473名減)、(3)会場:社会科学系図書館展示ホール、会期:2/7-3/3、来場者数5,114名(前年度比887名減))を開催した。次年度は展示来場の機会を増やすために会期の一部延長を実施する予定。 利用度の高い神大総合雑誌『展望』18冊1,162コマのデジタル画像を作成し、5月より著作権者の許諾を得たものからインターネットでの提供を開始した。また、原本保護のため、戦時中のSPレコード「六甲台学徒の歌」1点のデジタル音源を作成し、さらに大正末期から昭和初期の旧制神戸高等商業学校の卒業アルバム5冊1,270コマのデジタル画像を作成した。 国立公文書館など全国の公文書館等全15館との横断検索による連携を充実させるため、3月末までに目録情報1,833件を追加提供した。 収蔵能力を拡大するため、神大会館1階施設部倉庫の一部及び社会科学系図書館管理棟1階の一部を間借りし、これらに参考図書の大半を移動することで、歴史公文書等専用書庫に空きスペースを確保した。 大学史関連授業2科目(計7回)、本学インターネットラジオ2回、新任教職員研修1回に講師を派遣した。 <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文書管理者研修の受講者アンケート結果によれば、回答者57名中、満足34名(60%)、やや満足21名(37%)であり、総合的な満足度は97%であった。 特別展「神大キャンパス今昔物語」の来場者アンケート結果によれば、回答者109名中、満足93名(85%)の高評価を得た。また、新聞1社、テレビ局1社の報道があった。 デジタル化史料のインターネット公開ページ「デジタル・アーカイブ」のH29年度アクセス数は、2,779件(前年度比2,214件増)であった。 同窓会主催講演会2回、学内外講演会2回に講師を派遣し、本学の歴史に関する情報提供及び広報の要請に広く応えて貢献した。また、国立歴史民俗博物館など学外5機関による本学の歴史に関する調査研究にそれぞれ協力し、各機関の展示・テレビ番組制作等への支援を通じて本学の情報発信に貢献した。

神大図書館お昼休みトークイベント「趣味語学のすゝめ」参加人数・ミニアンケート集計

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計
参加人数(含む関係者)	38	41	28	32	139

1)あなたのご身分について、当てはまるものを選んでください。

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計
学部1回	13	9	8	7	37
学部2回	5	2	2	8	17
学部3回	2	1	1	2	6
学部4回	2	1		1	4
大学院・M1		1	1	2	4
研究生		1			1
科目等履修生	1		1		2
教員	1				1
職員			2		2
学外	2	2	2		6
合計	26	17	17	20	80

2)学内所属内訳

文・学部1	3	1	1	1	6
文・学部2			1	1	2
文・学部3				1	1
国際文化・学部3	1				1
国際文化・学部4				1	1
国際文化・M1		1			1
国際文化・研究生		1			1
国際文化・科目等履修生	1		1		2
国際人間・学部1	1				1
発達・学部2	2	1	1	1	5
発達・M1				1	1
法・学部1	2	3	3	2	10
法・学部4	2				2
経済・学部1	1		1	1	3
経済・学部2	2	1		1	4
経済・学部3	1	1	1	1	4
経済・教員	1				1
理・学部1	2	2	1	1	6
理・学部2	1				1
理・M1				1	1
医・学部1			2		2
工・学部1		1		1	2
工・学部2				4	4
システム情報学・M1			1		1
システム情報学・職員			1		1
農・学部1	2	2			4
農・学部4		1			1
海事・学部1	2			1	3
海事・学部2				1	1
合計	24	15	14	20	73

3)本日のトークイベントはいかがでしたか。

満足	24	15	15	14	68
やや満足	1	1	2	3	7
ふつう	1			1	2
やや物足りない					0
物足りない					0
合計	26	16	17	18	77

神大図書館お昼休みトークイベント2「映画で広げる知的フィールド」ミニアンケート集計

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計
参加人数(含む関係者)	50	52	48	44	194

1)あなたのご身分について、当てはまるものを選んでください。

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計
学部1回	18	23	20	20	81
学部2回	6	4	3	4	17
学部3回	2	4	4	1	11
学部4回	1	1	1	1	4
大学院・D1	1	2	1	1	5
大学院・D3		2			2
大学院・2(MかDか不明)	1	1	1		3
大学院・研究生			2		2
留学生		1			1
教員			2	1	3
そのほか(学外)		1			1
合計	29	39	34	28	130

2)学内所属内訳

文・学部1		2	1	1	4
文・学部3			1		1
国際人間・学部1	9	13	14	12	48
国際文化・学部2	1	1	2	1	5
国際文化・学部3	1	2	3	1	7
国際文化・D1	1	2	1	1	5
国際文化・D3		1			1
国際文化・大学院2		1	1		2
国際文化・研究生			2		2
人間発達環境・大学院2	1				1
法・学部1	2	3			5
経済・学部1	1	2	1	3	7
経済・学部2	1	1		1	3
経済・学部3	1	1			2
経済・学部4	1	1	1	1	4
経営・学部1	1				1
理・学部1	2	1	1	1	5
理・D3		1			1
工・学部1	1		2	1	4
工・学部2	3	2	1	2	8
工・学部3		1			1
農・学部1	3	2	1	1	7
海事・学部1				1	1
国際教育総合センター		1			1
国際人間・教員			1	1	2
所属不明・教員			1		1
合計	29	38	34	28	129

3)本日のトークイベントはいかがでしたか。

満足	17	26	24	15	82
やや満足	10	8	6	7	31
ふつう	2	3	2	4	11
やや物足りない		1	1		2
物足りない		1			1
合計	29	39	33	26	312

平成29年度 附属図書館ライティングセミナー「レポート執筆攻略セミナー～大学生のためのRPG」
アンケート集計結果

1. 参加人数と内訳

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計	
学生	70	85	51	41	247	93.6%
院生	1	5	1	6	13	4.9%
教員	0	0	0	1	1	0.4%
職員	0	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0.0%
記載なし	0	3	0	0	3	1.1%
アンケート回収数	71	93	52	48	264	

学部/研究科	第1回	第2回	第3回	第4回	合計
文学部	5	3	2	0	10
国際人間科学	18	48	16	0	82
経済学部	3	2	4	0	9
経営学部	4	1	1	0	6
法学部	0	1	3	1	5
医学部	31	13	4	6	54
発達科学部	1	1	1	0	3
理学部	0	5	4	4	13
工学部	6	5	7	13	31
農学部	1	4	6	15	26
海事科学部	0	1	3	1	5
人文学研究科	1	0	0	0	1
国際文化学研	0	0	1	0	1
経営学研究科	0	0	0	1	1
工学研究科	0	0	0	3	3
農学研究科	0	5	0	0	5
システム情報	0	0	0	3	3
記載なし	1	4	0	1	6

2. 広報について(何で知ったか:複数回答可)

掲示ポスター		チラシ		HP	
70		71		27	
掲示場所内訳		掲示場所内訳		HP内訳	
図書館内	24	図書館内	9	図書館	6
図書館外	29	図書館外	40	ラーニングcommons	0
図書館Twitter	13	教員からの紹介	59	友人・知人からの紹介	60
		その他	6	その他	1

入り口の人の呼びかけ
その場で

3. セミナーについて

3-1. セミナーの内容

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計	
よかった	67	84	47	34	232	87.9%
ふつう	4	7	5	14	30	11.4%
よくなかった	0	1	0	0	1	0.4%
記載なし	0	1	0	0	1	0.4%

内容について:自由記述

英語での講義は楽しかった。
おもしろかったためになった。
英語でやってくれたのが、かえって話に集中できてよかった。

3-2. セミナーの難易度

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計	
ちょうど良い	60	86	46	36	228	86.4%
簡単	9	3	6	10	28	10.6%
難しい	2	3	0	2	7	2.7%
記載なし	0	1	0	0	1	0.4%

3-3. セミナーの時間

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計	
ちょうど良い	66	75	50	41	232	87.9%
長い	2	16	2	4	24	9.1%
短い	2	1	0	3	6	2.3%
記載なし	1	1	0	0	2	0.8%

3-4. セミナーの時期

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計	
適当	71	92	51	45	259	98.1%
その他の時期	0	0	1	3	4	1.5%
記載なし	1	1	0	0	2	0.8%

3-5. セミナーの会場

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計	
適当	54	87	52	44	237	89.8%
その他の場所	17	6	0	4	27	10.2%
記載なし	1	0	0	0	1	0.4%

会場について:自由記述

もう少し広い教室
 もう少し広いところ
 わかりにくい
 農学部

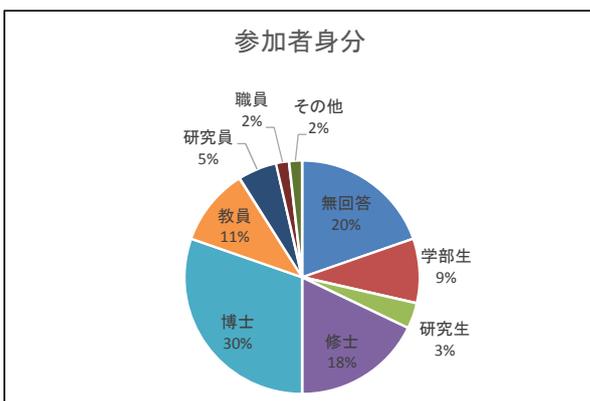
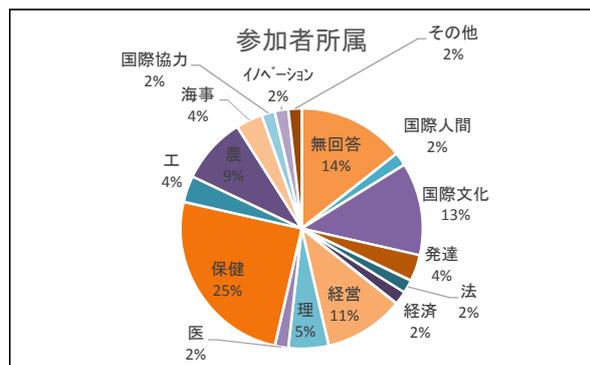
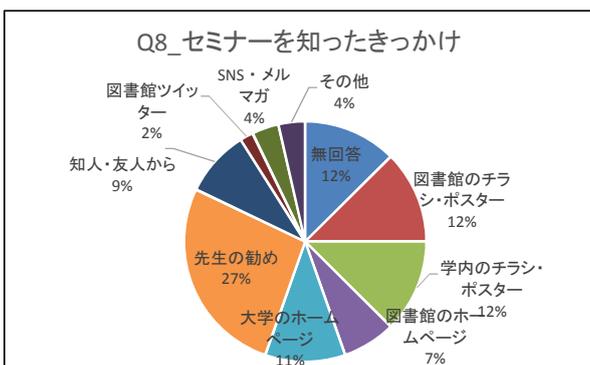
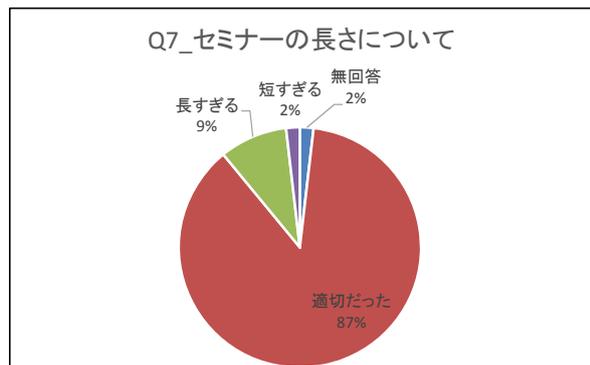
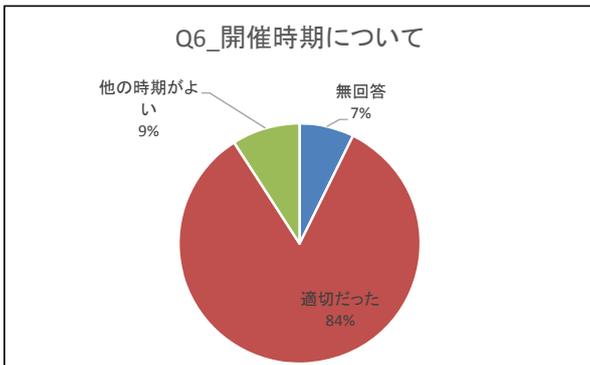
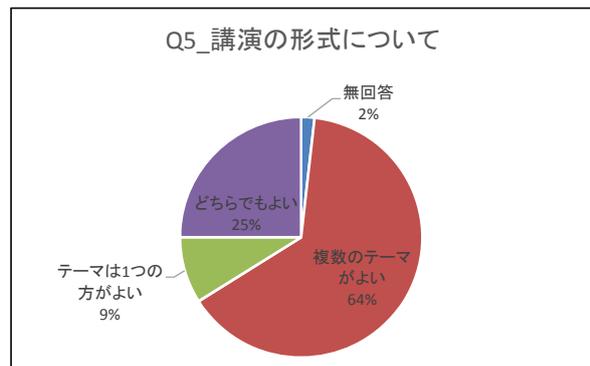
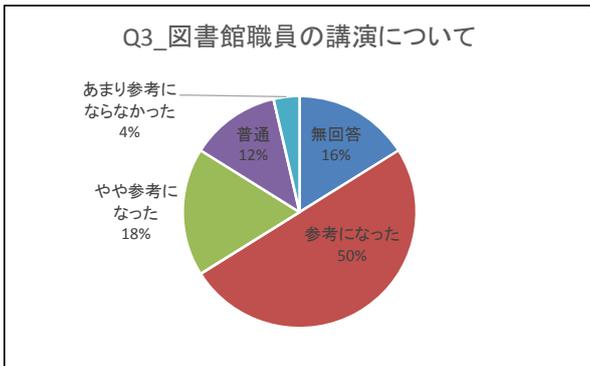
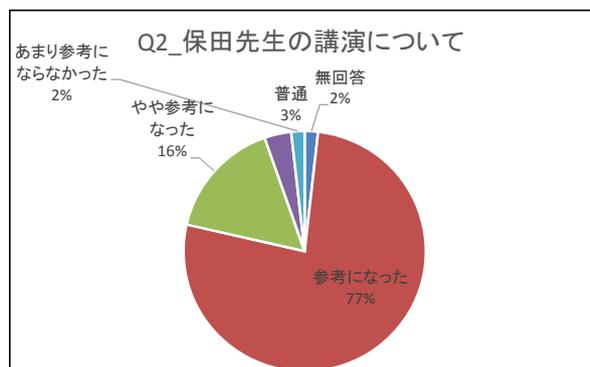
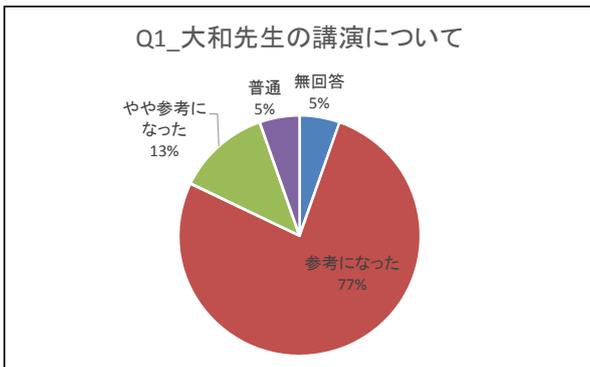
3-6. 今後役に立つか

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計	
そう思う	69	82	50	43	244	92.4%
分からない	2	7	2	4	15	5.7%
思わない	0	0	0	0	0	0.0%
記載なし	0	4	0	1	5	1.9%

4. その他の意見/感想

途中で来て英語にびっくりしましたがユニークなセミナーでおもしろかったです。
 英語中心の講義は初めてでしたが、面白かったです。
 簡単な英語で喋り続けられる力を僕も身につけたいです
 プレゼンテーションへの入り込みがすごかった。頭良い!と思えるアイデアを思いつきたい。
 開催場所はどこにしても不満があるので、複数回開催するのが良いと思う。
 文理農工付近でもして欲しい。
 批判の目で自分の書いたものを見るという大事なことを学べました。
 英語でも分かりやすかったです。レジュメもらえなかったのは残念です。

2017年度
英語セミナー アンケート結果



参加人数: 67名 (うちアンケート回答者: 56名)

※資料のみ希望者: 3名 (参加人数に含まず)

※事前申込人数: 83名

(うち事前キャンセル連絡: 5名、不参加: 13名)

※事前申込なし参加者: 2名

神戸大学出版会設立記念シンポジウム アンケート

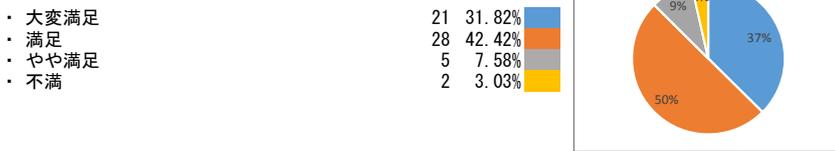
平成30年1月30日(火) 15:00~17:10

アンケート回答数: 67

1 このシンポジウムをどのようにして知りましたか?

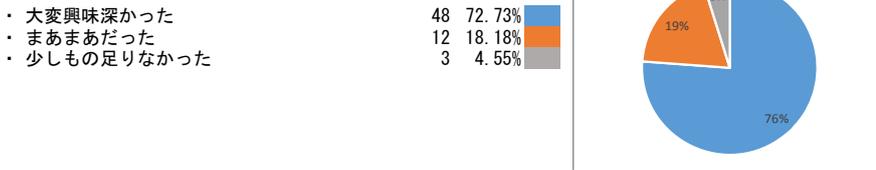


2 このシンポジウムはいかがでしたか。

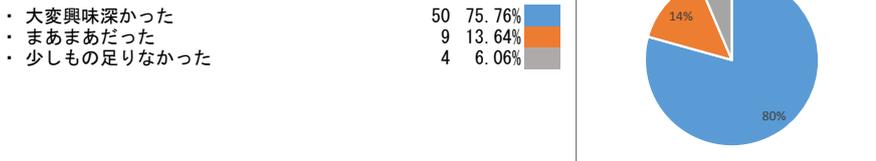


3 各講演・パネルディスカッション等についてお聞かせください。

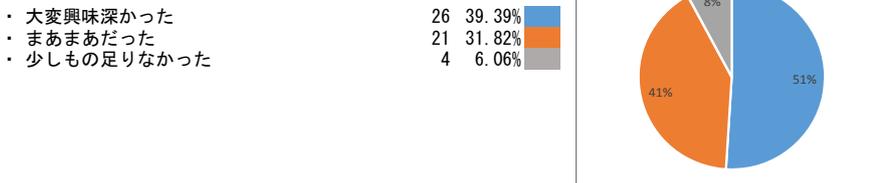
講演(1) 竹宮恵子先生



講演(2) 福田和代先生



パネルディスカッション



【1 ポスター・チラシを見た場所】

- ・放送大学兵庫センター
- ・社会科学系図書館
- ・六甲道の図書館
- ・理学部
- ・文学部ホール
- ・人間科学図書館
- ・兵庫県立大学神戸学園都市キャンパス
- ・図書館
- ・西区民センター
- ・神大保健学研究科
- ・姫路城内図書館
- ・県立のじぎく会館
- ・国大図協近畿事務連(奈良教)
- ・人文学研究科A棟

【1 その他記述】

- ・福田和代さんのフェイスブック
- ・神戸大学関係者から
- ・職場
- ・教授会での紹介
- ・研究室教授より

平成29年度 資料展「近代神戸の航路をたどる～開港150年を迎えて～」
 (会期:平成29年10月13日～12月19日)
 アンケート結果(回答数:89 うち、会場で回収:66 菊地先生の授業で提出:23)

0 来場者について

1 ご所属

	回答数	割合
0 無回答	1	1.12%
1 神戸大学(無回答)	3	3.37%
2 神戸大学(学生)	26	29.21%
3 神戸大学(院生)	4	4.49%
4 神戸大学(教員)	3	3.37%
5 神戸大学(職員)	6	6.74%
6 神戸大学(その他)	2	2.25%
7 学外(無回答)	2	2.25%
8 学外(卒業生)	10	11.24%
9 学外(一般)	22	24.72%
10 学外(大学生)	0	0%
11 学外(院生)	0	0%
12 学外(高校生)	3	3.37%
13 学外(その他)	7	7.87%

受験生
年金生活者
大学教員
聴講生

大阪府...2
大阪
大阪府豊中市
京都府...2
京都市
京都市東山区
京都府宇治市
奈良
奈良市
高松市
徳島県
広島県福山市
富山
千葉県
仙台市

2 お住まい

	回答数	割合
0 無回答	1	1.12%
1 神戸市内	55	61.8%
2 兵庫県内	14	15.73%
3 その他	19	21.35%

ポスター掲示場所
灘図書館
百年記念館
神代(神大?)の歴史展
会場
六甲学院図書館
中央図書館
自然系図
勤務先大学の図書館

3 この展示会があることを何でお知りになりましたか？(複数回答可)

	回答数	割合
1 ポスター	15	16.85%
2 チラシ	19	21.35%
3 看板	7	7.87%
4 図書館ホームページ	6	6.74%
5 開港150年ホームページ	5	5.62%
6 ツイッター	2	2.25%
7 ホームカミングデー	2	2.25%
8 新聞	4	4.49%
9 その他	36	40.45%

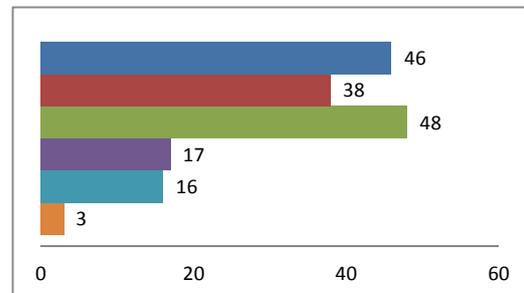
チラシ配布場所
神戸大学
案内所
博物館関連の講義
生田文化会館
中央図書館
100年館
神戸海洋博物館
自然系図
工学部
東灘図書館?

知人
校内
友達
今この場
六甲祭に来て
図書館に来たから(それまで知らなかった)
インターネット
メール
12/11研修会
NHK
たまたま来た

4 興味をひいたコーナーあるいは展示物(複数回答可)

4-1 コーナー

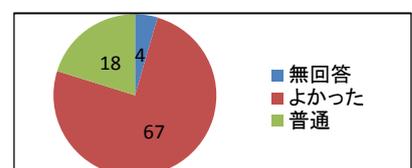
	回答数	割合
1 神戸、開港ス	46	51.69%
2 展開する神戸港	38	42.7%
3 開港で広まった西洋文化	48	53.93%
4 神戸の歴史を知るために	17	19.1%
5 関連図書コーナー	16	17.98%
6 デジタルアーカイブの閲覧PC	3	3.37%



4-2 展示物(別掲)

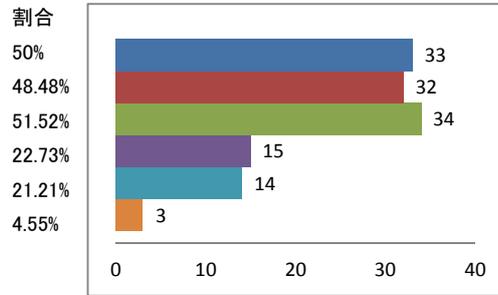
5 感想

	回答数	割合
0 無回答	4	4.49%
1 よかった	67	75.28%
2 普通	18	20.22%
3 よくなかった	0	0%



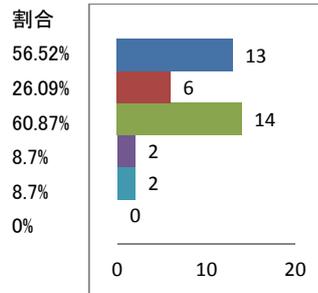
4-1 コーナー(会場で回収分)

項目	回答数	割合
1 神戸、開港ス	33	50%
2 展開する神戸港	32	48.48%
3 開港で広まった西洋文化	34	51.52%
4 神戸の歴史を知るために	15	22.73%
5 関連図書コーナー	14	21.21%
6 デジタルアーカイブの閲覧PC	3	4.55%



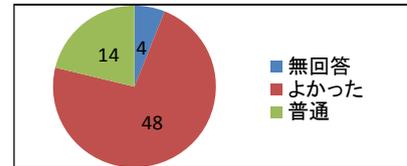
4-1 コーナー(菊地先生の授業で回収分)

項目	回答数	割合
1 神戸、開港ス	13	56.52%
2 展開する神戸港	6	26.09%
3 開港で広まった西洋文化	14	60.87%
4 神戸の歴史を知るために	2	8.7%
5 関連図書コーナー	2	8.7%
6 デジタルアーカイブの閲覧PC	0	0%



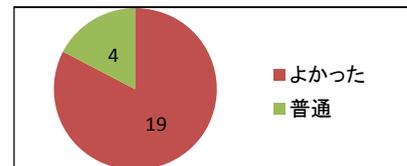
5 感想(会場で回収分)

感想	回答数	割合
0 無回答	4	6.06%
1 よかった	48	72.73%
2 普通	14	21.21%
3 よくなかった	0	0%



5 感想(菊地先生の授業で回収分)

感想	回答数	割合
0 無回答	0	0%
1 よかった	19	82.61%
2 普通	4	17.39%
3 よくなかった	0	0%



企画展「阪神・淡路大震災と地域の復興—23年目の神戸と、地域・コミュニティの課題—」
 (会期:平成30年1月11日~2月1日)
 アンケート結果(会場で回収:回答数:42)

0 来場者について

1 ご所属

	回答数	割合
0 無回答	0	0%
1 神戸大学(無回答)	0	0%
2 神戸大学(学生)	3	7.14%
3 神戸大学(院生)	0	0%
4 神戸大学(教員)	2	4.76%
5 神戸大学(職員)	0	0%
6 神戸大学(その他)	0	0%
7 学外(無回答)	0	0%
8 学外(卒業生)	5	11.9%
9 学外(一般)	28	66.67%
10 学外(大学生)	0	0%
11 学外(院生)	0	0%
12 学外(高校生)	0	0%
13 学外(その他)	4	9.52%

芦屋市
西宮市
尼崎市
大阪府豊中市
大阪市
大阪府...2
京都市...2
京都
神奈川県横浜市

主婦
大学研究所
小学生(同行)
JASDIS

チラシ配布場所
授業

テレビ
NHK:::5
ABC:5
サンテレビ
局は忘れましたが夕
方のニュース番組
ラジオ関西
ラジオ

新聞
読売5
朝日4
毎日
神戸

その他
先生
Facebook:2
友だち
ネット

2 お住まい

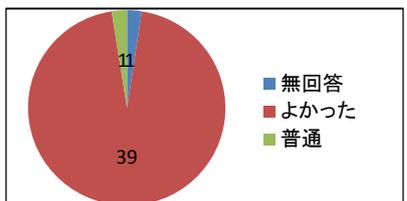
	回答数	割合
0 無回答	0	0%
1 神戸市内	22	52.38%
2 兵庫県内	11	26.19%
3 その他	9	21.43%

3 この展示会があることを何でお知りになりましたか？(複数回答可)

	回答数	割合
1 玄関の立看板	1	2.38%
2 会場で	1	2.38%
3 チラシ	2	4.76%
4 ホームページ	4	9.52%
5 ツイッター	3	7.14%
6 テレビ	20	47.62%
7 新聞	13	30.95%
8 その他	5	11.9%

4 感想

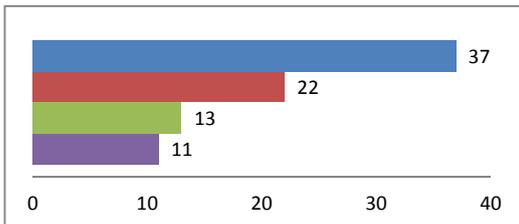
	回答数	割合
0 無回答	1	2.38%
1 よかった	39	92.86%
2 普通	1	2.38%
3 よくなかった	1	2.38%



5 興味をひいたコーナーあるいは展示物(複数回答可)

5-1 コーナー

	回答数	割合
1 第1部 阪神・淡路大震災を見つめるー	37	88.1%
2 第2部 災害と復興、23年ー阪神・淡路	22	52.38%
3 第2部 第2会場:震災文庫	13	30.95%
4 第3部 地域の復興とコミュニティ	11	26.19%



企画展「阪神・淡路大震災と地域の復興—23年目の神戸と、地域・コミュニティの課題—」
 (会期:平成30年1月11日~2月1日)
アンケート結果(菊地先生授業で回収:回答数:12)

0 来場者について

1 ご所属

	回答数	割合
0 無回答	0	0%
1 神戸大学(無回答)	0	0%
2 神戸大学(学生)	12	100%
3 神戸大学(院生)	0	0%
4 神戸大学(教員)	0	0%
5 神戸大学(職員)	0	0%
6 神戸大学(その他)	0	0%
7 学外(無回答)	0	0%
8 学外(卒業生)	0	0%
9 学外(一般)	0	0%
10 学外(大学生)	0	0%
11 学外(院生)	0	0%
12 学外(高校生)	0	0%
13 学外(その他)	0	0%

大阪府
京都市内
京都府
奈良市

2 お住まい

	回答数	割合
0 無回答	0	0%
1 神戸市内	5	41.67%
2 兵庫県内	3	25%
3 その他	4	33.33%

3 この展示会があることを何でお知りになりましたか？(複数回答可)

	回答数	割合
1 玄関の立看板	0	0%
2 会場で	1	8.33%
3 チラシ	1	8.33%
4 ホームページ	0	0%
5 ツイッター	0	0%
6 テレビ	0	0%
7 新聞	0	0%
8 その他	9	75%

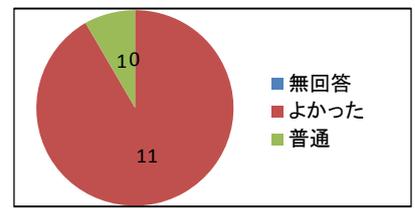
チラシ配布場所
学内

ポスター掲示場所
人文科学図書館

その他
授業・講義:9
先生から教えていた
だいた
人文科学図書館

4 感想

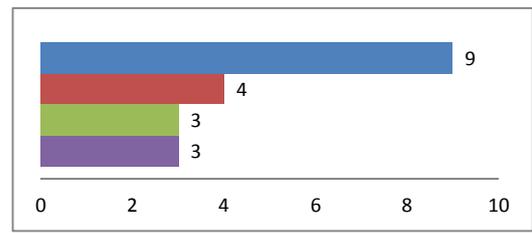
	回答数	割合
0 無回答	0	0%
1 よかった	11	91.67%
2 普通	1	8.33%
3 よくなかった	0	0%



5 興味をひいたコーナーあるいは展示物(複数回答可)

5-1 コーナー

	回答数	割合
1 第1部 阪神・淡路大震災を見つめる-	9	75%
2 第2部 災害と復興、23年—阪神・淡路	4	33.33%
3 第2部 第2会場:震災文庫	3	25%
4 第3部 地域の復興とコミュニティ	3	25%



附属図書館蔵書・受入等の現況(平成29年度)

		総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計		
蔵書	蔵書数 (冊)	497,720	1,392,752	475,174	312,290	342,038	281,135	154,336	61,265	254,640	3,771,350		
	和洋区分	和漢書	356,400	668,522	251,703	197,439	265,359	125,180	71,645	52,770	198,373	2,187,391	
		洋書	141,320	724,230	223,471	114,851	76,679	155,955	82,691	8,495	56,267	1,583,959	
	遊及状況	入力済	449,395	1,264,723	337,132	273,361	286,792	208,078	96,127	60,779	254,640	3,231,027	
		未入力	48,325	128,029	138,042	38,929	55,246	73,057	58,209	486	0	540,323	
	所蔵雑誌数 (タイトル数)	2,455	16,610	5,481	3,832	3,731	6,560	3,074	967	3,410	46,120		
和洋区分	国内雑誌	1,595	6,578	2,485	2,891	2,542	2,920	1,614	768	2,266	23,659		
	外国雑誌	860	10,032	2,996	941	1,189	3,640	1,460	199	1,144	22,461		
図書受入	受入図書数 (冊)	2,918	2,538	11,771	3,471	3,252	3,118	1,134	1,379	1,338	1,952	32,871	
	和洋区分	和漢書	2,822	1,735	7,845	2,800	2,395	2,766	849	1,297	1,263	1,589	25,361
		洋書	96	803	3,926	671	857	352	285	82	75	363	7,510
	取得手段	購入(一般財源)	2,844	1,595	5,720	1,846	1,188	1,859	441	792	848	1,465	18,598
		補助金による購入	55	708	3,708	933	1,632	851	303	370	156	350	9,066
		一般寄贈	0	225	1,444	574	350	328	218	159	310	104	3,712
		再受入	0	2	467	24	22	39	22	0	0	0	576
		製本編入	19	8	432	90	60	41	150	58	24	33	915
		所属換	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
	取得目的	学生用図書	2,614	273	3,401	1,380	428	635	211	597	586	1,323	11,448
		図書館備付	146	643	4,074	1,585	1,048	1,021	602	368	455	136	10,078
		研究室備付	158	1,622	4,296	506	1,776	1,462	321	414	297	493	11,345
	除却・移譲等による減 (冊)	4,557		1,566	11,714	2,172	2,772	3,205	0	870	7,948	34,804	
	和洋区分	和漢書	3,502		1,313	8,358	1,528	2,608	887	0	544	5,274	24,014
		洋書	1,055		253	3,356	644	164	2,318	0	326	2,674	10,790
	所属換による減 (冊)	4		0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	和洋区分	和漢書	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
		洋書	4		0	0	0	0	0	0	0	4	
	年間増加数 (冊)	895		10,205	-8,243	1,080	346	-2,071	1,379	468	-5,996	-1,937	
	和洋区分	和漢書	1,055		6,532	-5,558	867	158	-38	1,297	719	-3,685	1,347
洋書		-160		3,673	-2,685	213	188	-2,033	82	-251	-2,311	-3,284	
雑誌受入	受入雑誌数 (タイトル数)	99	138	1,681	517	1,012	351	633	456	143	370	5,400	
	和洋区分	国内雑誌	92	105	657	404	856	314	398	325	122	300	3,573
		外国雑誌	7	33	1,024	113	156	37	235	131	21	70	1,827
	取得手段	購入(一般財源)	99	65	1,412	335	283	223	269	174	86	142	3,088
		補助金による購入	0	0	32	21	0	0	0	40	0	1	94
		一般寄贈	0	73	237	161	729	128	364	242	57	227	2,218
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取得目的	学生用雑誌	96	11	20	130	22	136	0	152	80	116	763
		図書館備付	3	95	1,479	20	990	108	627	242	57	231	3,852
		研究室備付	0	32	182	367	0	107	6	62	6	23	785
その他資料受入	受入新聞数 (タイトル数)	6	0	17	10	6	8	9	5	3	12	76	
	和洋区分	国内新聞	5	0	13	10	4	8	5	4	3	12	64
		外国新聞	1	0	4	0	2	0	4	1	0	0	12
	取得手段	購入	5	0	17	10	6	8	9	5	3	11	74
		寄贈	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	データベース(年間契約点数)	15		7	1	0	0	0	5	2	0	30	
電子ジャーナル(利用可能数)						25,424					25,424		
資料購入費	一般財源資料費	360,476,680	10,309,066	131,829,116	41,230,029	13,540,830	12,592,033	19,564,626	41,726,172	8,901,680	10,020,450	650,190,682	
	図書館セグメント	学生用資料費	7,520,927	2,151,945	7,283,000	9,780,970	1,934,971	3,030,545	767,676	3,892,880	2,627,863	2,688,529	41,679,306
		その他資料費	351,420,842	0	28,727,113	0	0	0	0	0	0	0	380,147,955
	部局セグメント	館室備付	374,321	2,818,139	85,834,439	1,640,677	8,982,808	5,324,040	18,492,512	35,618,196	5,499,763	6,499,985	171,084,880
		研究室備付	1,160,590	5,338,982	9,984,564	29,808,382	2,623,051	4,237,448	304,438	2,215,096	774,054	831,936	57,278,541
	その他の財源 補助金等	8,333,400	4,985,990	39,560,543	16,996,319	13,519,434	5,921,261	1,015,385	5,676,813	759,725	3,189,362	99,958,232	
	図書購入費	7,218,676	11,806,805	70,745,022	15,933,336	17,674,215	9,967,717	6,779,886	8,249,849	4,037,680	7,998,285	160,411,471	
	和洋区分	和漢書	6,601,795	6,370,094	26,714,897	9,322,292	11,273,852	7,524,287	2,198,714	6,605,515	3,625,464	4,702,241	84,939,151
		洋書	616,881	5,436,711	44,030,125	6,611,044	6,400,363	2,443,430	4,581,172	1,644,334	412,216	3,296,044	75,472,320
	雑誌購入費	15,689,657	1,636,452	78,909,103	25,124,593	6,047,843	4,675,255	11,529,512	27,057,132	4,487,125	4,193,129	179,349,801	
	和洋区分	国内雑誌	1,006,978	390,166	9,016,081	3,716,750	736,332	2,086,360	1,459,191	3,652,722	1,573,393	1,318,451	24,956,424
		外国雑誌	14,682,679	1,246,286	69,893,022	21,407,843	5,311,511	2,588,895	10,070,321	23,404,410	2,913,732	2,874,678	154,393,377
	新聞購入費	305,858	0	1,864,155	465,509	256,691	222,840	519,788	256,691	152,184	519,857	4,563,573	
	電子資料費	345,073,871	0	10,827,689	9,401,090	0	163,506	740,793	10,590,668	594,478	0	377,392,095	
	その他の資料購入費	522,018	1,851,799	9,043,690	7,301,820	3,081,515	3,483,976	1,010,032	1,248,645	389,938	498,541	28,431,974	
資料購入費計	368,810,080	15,295,056	171,389,659	58,226,348	27,060,264	18,513,294	20,580,011	47,402,985	9,661,405	13,209,812	750,148,914		
電子コンテンツ作成費					3,519,962						3,519,962		
製本費	56,278		900,459	187,595	125,064	85,460	312,660	120,895	50,025	79,303	1,917,739		

* 所蔵雑誌数は雑誌包括所蔵数から誌名変遷数を引いた数値とする(平成23年度変更)

附属図書館サービス業務の現況(平成29年度)

		総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計	
施設	施設面積合計(m ²)	3,558	10,313	3,287	1,288	1,474	1,084	1,612	808	2,170	25,594	
	現行用途別(m ²)	サービススペース	1,954	2,125	1,577	664	538	141	838	603	719	9,159
		書庫スペース	1,208	5,771	449	535	714	887	431	71	1,051	11,117
		事務スペース	130	627	351	48	89	27	163	35	159	1,629
		その他	266	1,790	910	41	133	29	180	99	241	3,689
	閲覧座席数	閲覧座席数	389	411	266	121	153	24	220	88	170	1,842
		上のうち、教員用	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	書架収容力	棚板延長(m)	12,285	49,003	10,616	8,016	7,857	6,833	6,268	1,792	7,258	109,928
収容可能冊数		341,300	1,361,200	294,900	222,700	218,300	189,800	174,100	49,800	201,600	3,053,700	
利用者端末台数		46	41	38	25	19	1	22	14	16	222	
利用者	利用対象者総数	5,170	4,483	5,891	866	1,348	73	3,748	990	1,284	23,853	
	利用者別	学部学生	4,330	2,152	2,363	367	719	0	596	502	742	11,771
		大学院生	238	1,242	1,787	243	295	0	536	283	193	4,817
		教職員	353	566	1,588	186	195	69	2,520	157	205	5,839
		その他	62	54	20	9	63	4	71	11	26	320
		学外登録者総数	187	469	133	61	76	0	25	37	118	1,106
内訳:卒業生765、放送大学等114、一般市民227												
開館入館	開館日数	年間	282	328	306	277	272	235	286	277	277	2,540
		土曜(内数)	33	46	34	33	33	0	49	33	33	294
		休日(内数)	13	46	36	8	8	0	0	8	8	127
	時間外等開館時間数	平日時間外開館	810.0	1044.0	814.5	720.0	720.0	0.0	944.0	720.0	575.0	6,347.5
		土曜開館	264	414	271	264	264	0	392	264	264	2,397
		休日開館	104.00	400.25	283.00	64.00	64.00	0.00	0.00	64.00	64.00	1043.25
	入館者数	年間入館者総数	261,597	181,981	101,732	81,703	65,668	3,968	115,334	49,695	25,401	887,079
		(内訳)時間内(含:土日)	231,601	160,001	86,942	69,313	59,191	3,968	76,841	43,539	22,911	754,307
		平日時間外	29,996	21,980	14,790	12,390	6,477	0	17,448	6,156	2,490	111,727
		閉館時(無人)	-	-	-	-	-	-	21,045	-	-	21,045
		土曜(内数)	4,435	12,675	4,608	2,764	1,251	0	4,738	2,126	749	33,346
		休日(内数)	1,951	9,500	4,621	705	213	0	0	581	257	17,828
		学外者(内数)	5,032	13,189	3,320	2,028	2,206	52	1,849	1,684	1,480	30,840
		(内訳)卒業生	1,387	6,448	1,090	836	1,543	13	697	798	223	13,035
他大学生・研究者等一般市民	658	2,173	1,018	272	190	21	514	158	241	5,245		
		2,987	4,568	1,212	920	473	18	638	728	1,016	12,560	
貸出	貸出総冊数	70,374	61,645	37,830	22,259	23,937	1,484	10,553	14,625	18,958	261,665	
	利用者別	学生	40,457	18,408	23,310	6,364	10,395	189	5,650	9,422	11,775	125,970
		院生	20,046	29,546	11,001	12,682	10,628	434	1,375	3,498	4,128	93,338
		教職員	4,474	5,396	1,880	2,163	1,241	734	481	781	1,131	18,281
		職員	3,262	3,270	978	597	955	127	2,808	551	1,023	13,571
		その他	100	2	6	0	33	0	0	0	9	150
		学外者総数	2,035	5,023	655	453	685	0	239	373	892	10,355
		卒業生(内数)	799	2,888	482	448	402	0	227	353	278	5,877
一般市民(内数)	727	-	-	-	-	-	-	-	511	1,238		
参考調査	参考調査件数	2,740	3,458	2,832	2,595	2,392	275	2,043	1,662	1,677	19,674	
	利用者別	学生	1,956	2,040	2,115	2,023	2,021	79	793	1,193	997	13,217
		教職員	61	208	307	217	322	134	734	133	86	2,202
		学外者	723	1,210	410	355	49	62	516	336	594	4,255
複写相互利用	来館複写件数	1,591	3,825	4,975	5,701	1,689	1,811	5,949	1,621	263	27,425	
	利用者別	学内者	1,032	3,218	3,726	5,552	1,402	1,676	4,982	1,114	141	22,843
		学外者	559	607	1,249	149	287	135	967	507	122	4,582
	学内相互利用	ILL文献複写 受付	51	82	93	97	52	30	109	70	64	648
		ILL文献複写 依頼	206	143	33	95	150	1	39	69	23	759
	図書配送	発送申込冊数	9,968	7,041	2,297	2,368	4,914	413	544	1,416	3,170	32,131
		受取申込冊数	6,451	5,196	4,099	8,901	3,510	661	1,004	765	1,544	
		申込者数	1,009	792	774	667	381	28	123	140	198	4,112
	学外相互利用	ILL文献複写 受付	185	2,386	410	477	468	161	1,269	669	158	6,183
		ILL文献複写 依頼	670	2,349	445	777	766	10	518	708	62	6,305
		ILL現物貸借 受付	498	1,582	92	508	209	28	16	9	71	3,013
		ILL現物貸借 依頼	223	475	89	414	137	23	7	10	2	1,380
海外ILL	文献複写 受付	0	17	0	0	0	0	3	0	4	24	
	文献複写 依頼	0	1	4	1	0	0	1	0	0	7	
	現物貸借 受付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	現物貸借 依頼	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	

電子的情報サービスの現状 (H29年度)

電子ジャーナルアクセス状況 ※基盤整備費にかかるもの

フルテキストへのアクセス数

	2017.4	2017.5	2017.6	2017.7	2017.8	2017.9	2017.10	2017.11	2017.12	2018.1	2018.2	2018.3	合計
ACS	6,114	7,364	7,819	5,789	5,044	6,253	8,776	8,254	7,404	8,075	6,909	5,181	82,982
APS	908	1,006	1,011	924	763	1,023	1,203	946	1,093	2,518	1,878	1,388	14,661
Cambridge UP	645	603	532	689	360	452	646	736	893	797	1,544	563	8,460
Elsevier ScienceDirect	48,601	52,685	54,777	45,726	38,306	38,897	63,958	52,307	49,512	56,686	57,389	40,257	599,101
HeinOnline	631	494	1,366	851	439	683	826	1,011	558	671	764	408	8,702
JSTOR	4,177	3,622	3,785	3,745	2,713	2,670	3,971	4,600	4,478	4,372	2,733	2,668	43,534
Nature	9,585	10,846	9,675	9,200	8,144	7,757	9,641	10,842	10,112	10,456	10,470	9,210	115,938
Ovid	944	895	842	819	675	596	763	784	904	873	854	810	9,759
Oxford UP	4,292	4,260	5,278	4,719	3,568	3,946	5,517	5,569	5,014	7,379	4,628	4,664	58,834
Science Online	1,526	1,567	1,806	1,715	1,126	1,074	1,578	1,408	1,293	1,435	1,166	1,042	16,736
SpringerLINK	7,937	30,740	9,196	8,341	7,328	7,187	9,024	9,261	9,123	10,412	9,350	7,352	125,251
Wiley Online Library	13,756	15,854	15,426	13,831	11,845	12,830	16,433	16,273	13,900	16,044	13,865	11,456	171,513

導入データベース数 ※図書館HP「データベース一覧」より(一般公開分を除く)

全学利用	49	WWWアクセス
キャンパス限定(医学)	5	医学4(医中誌、EBMR、MEDLINE、Up to date) 保健1(最新看護索引Web)

データベースアクセス状況 ※基盤整備費およびe-study資料費にかかるもの

各項上段がセッション数、下段(カッコ)が検索数

	2017.4	2017.5	2017.6	2017.7	2017.8	2017.9	2017.10	2017.11	2017.12	2018.1	2018.2	2018.3	合計
Business Source Premier	468 (610)	514 (720)	572 (474)	491 (596)	330 (424)	402 (429)	693 (979)	396 (525)	542 (787)	500 (542)	337 (486)	370 (608)	5,615 (7,180)
CINAHL	96 (236)	54 (151)	26 (55)	25 (84)	17 (67)	40 (125)	56 (225)	40 (128)	23 (68)	15 (28)	36 (141)	28 (129)	456 (1,437)
CiNii	1,079 (2,583)	4,125 (14,000)	5,249 (18,592)	4,960 (17,602)	2,978 (9,319)	3,084 (9,474)	4,826 (15,527)	4,885 (16,370)	4,274 (14,911)	3,870 (13,471)	2,771 (9,813)	1,963 (6,247)	44,064 (147,909)
EconLit	98 (263)	62 (224)	32 (75)	76 (298)	42 (123)	49 (133)	77 (270)	51 (183)	84 (289)	45 (121)	40 (102)	42 (123)	698 (2,204)
Index to Legal Periodicals & Books(EBSCOhost)	129 (134)	129 (87)	116 (31)	43 (44)	12 (56)	20 (52)	32 (125)	19 (79)	18 (59)	9 (19)	10 (21)	17 (42)	554 (749)
JCR	439 (1,009)	364 (1,321)	608 (2,613)	463 (2,459)	383 (1,303)	342 (1,387)	307 (986)	263 (877)	223 (787)	150 (661)	163 (550)	185 (602)	3,890 (14,555)
JDreamIII	418 (914)	127 (324)	128 (265)	140 (408)	160 (633)	159 (391)	267 (532)	170 (530)	168 (546)	124 (567)	105 (382)	160 (564)	2,126 (6,056)
Lexis advance	(24)	(85)	(42)	(26)	(89)	(44)	(113)	(35)	(47)	(129)	(59)	(84)	(777)
MathSciNet	3,323	2,794	3,641	2,940	3,100	3,020	3,028	2,554	2,390	2,449	2,088	2,063	33,390
OECD Library	90	76	61	30	135	30	85	67	71	69	29	0	743
PhycARTICLES	350 (761)	295 (753)	373 (807)	381 (930)	180 (409)	257 (637)	408 (589)	243 (439)	372 (712)	343 (972)	220 (681)	243 (618)	3,665 (8,308)
PhycINFO	219 (622)	181 (621)	256 (608)	269 (847)	120 (322)	202 (601)	271 (541)	139 (364)	263 (668)	250 (869)	139 (626)	183 (556)	2,492 (7,245)
ProQuest Dissertations & Theses Complete [A&I]	7 (22)	6 (15)	11 (42)	- (50)	- (70)	- (5)	- (39)	- (26)	- (16)	- (22)	- (45)	- (31)	24 (383)
Readers Guide to Periodical Literature(EBSCOhost)	62 (142)	28 (80)	12 (30)	16 (43)	12 (59)	20 (48)	32 (125)	16 (60)	17 (48)	9 (19)	10 (21)	19 (44)	253 (719)
SciFinder	762 (3,579)	978 (4,578)	1,336 (8,872)	1,100 (7,354)	649 (2,911)	751 (3,417)	999 (4,378)	1,009 (4,716)	868 (4,250)	833 (3,741)	825 (4,159)	444 (1,880)	10,554 (53,835)
Web of Science Core Collection	2,195 (9,732)	2,420 (11,038)	2,789 (14,681)	2,112 (10,874)	1,473 (6,085)	1,652 (7,074)	2,433 (11,193)	1,830 (9,003)	1,158 (5,207)	2,020 (9,228)	1,810 (8,100)	1,297 (6,035)	23,189 (108,250)
Westlaw Next	363 (1,284)	495 (2,368)	533 (2,386)	501 (1,859)	367 (1,520)	288 (1,398)	576 (2,310)	580 (1,975)	621 (1,685)	420 (1,650)	303 (3,875)	354 (1,316)	5,401 (23,426)
医学中央雑誌	4,876 (12,921)	5,021 (13,068)	4,789 (12,437)	4,034 (9,982)	3,483 (8,158)	4,023 (8,503)	3,965 (10,339)	3,437 (10,378)	3,654 (7,399)	3,437 (8,696)	3,094 (9,537)	3,094 (7,372)	46,622 (118,790)
間蔵IIビジュアル	495 (98,584)	753 (18,502)	588 (8,798)	507 (6,548)	376 (5,323)	356 (7,054)	601 (13,391)	655 (12,011)	816 (12,307)	828 (16,000)	432 (12,743)	320 (7,039)	6,727 (218,300)
ざっくプラス	38 (103)	40 (100)	25 (96)	12 (39)	19 (82)	14 (41)	14 (57)	18 (102)	26 (42)	13 (75)	18 (60)	13 (116)	250 (913)
ジャパンナレッジLib	893 (10,584)	1,225 (11,031)	1,284 (13,254)	1,208 (12,505)	551 (5,026)	533 (5,216)	1,123 (14,689)	1,225 (15,186)	1,127 (14,426)	995 (10,673)	549 (6,751)	333 (2,874)	11,046 (122,215)
ナクソス・ミュージック・ライブラリー	256	165	177	152	120	140	180	255	301	207	174	122	2,249
日経テレコン	165,836	221,863	184,615	87,833	69,207	68,219	130,130	148,999	168,067	158,717	65,835	104,306	1,573,627
毎糸	237 (7,965)	520 (30,551)	378 (22,260)	350 (11,822)	251 (4,632)	274 (9,517)	339 (15,386)	441 (27,102)	626 (65,380)	722 (48,229)	309 (13,102)	237 (7,100)	4,684 (263,046)
メディカルオンライン	7,660	8,003	8,189	7,181	5,951	6,387	6,991	6,469	5,254	6,182	5,749	5,038	79,054
ヨミダス歴史館	612	1,058	1,167	838	538	717	729	826	1,051	1,067	478	529	9,610

※各報は統計データ未公開

図書館ホームページ、OPAC等アクセス統計

	2017.4	2017.5	2017.6	2017.7	2017.8	2017.9	2017.10	2017.11	2017.12	2018.1	2018.2	2018.3	合計
図書館トップページ	44,909	58,372	47,315	45,186	33,674	27,340	43,096	42,224	38,201	40,486	32,523	25,976	479,302
OPAC延べ検索回数	245,933	324,831	324,615	303,279	226,421	207,777	338,231	216,194	242,726	251,772	188,746	159,808	3,030,333
ディスカバリー延べ検索回数	1,361	996	424	651	563	330	910	649	779	461	326	513	7,963
震災文庫トップページ	361	329	349	317	352	339	460	384	619	1,999	962	873	7,344
（うち学内）	173	150	150	133	177	152	220	168	314	210	57	65	1,969
（うち学外）	188	179	199	184	175	187	240	216	305	1,789	905	808	5,375
新聞記事文庫トップページ	2,997	2,893	2,659	2,497	2,356	1,965	2,553	2,854	3,489	6,303	4,260	4,546	39,372
（うち学内）	2,099	1,855	1,592	1,519	1,401	1,110	1,445	1,600	1,614	274	93	83	14,685
（うち学外）	898	1,038	1,067	978	955	855	1,108	1,254	1,875	6,029	4,167	4,463	24,687

リンクリゾルバ(SFX)利用統計

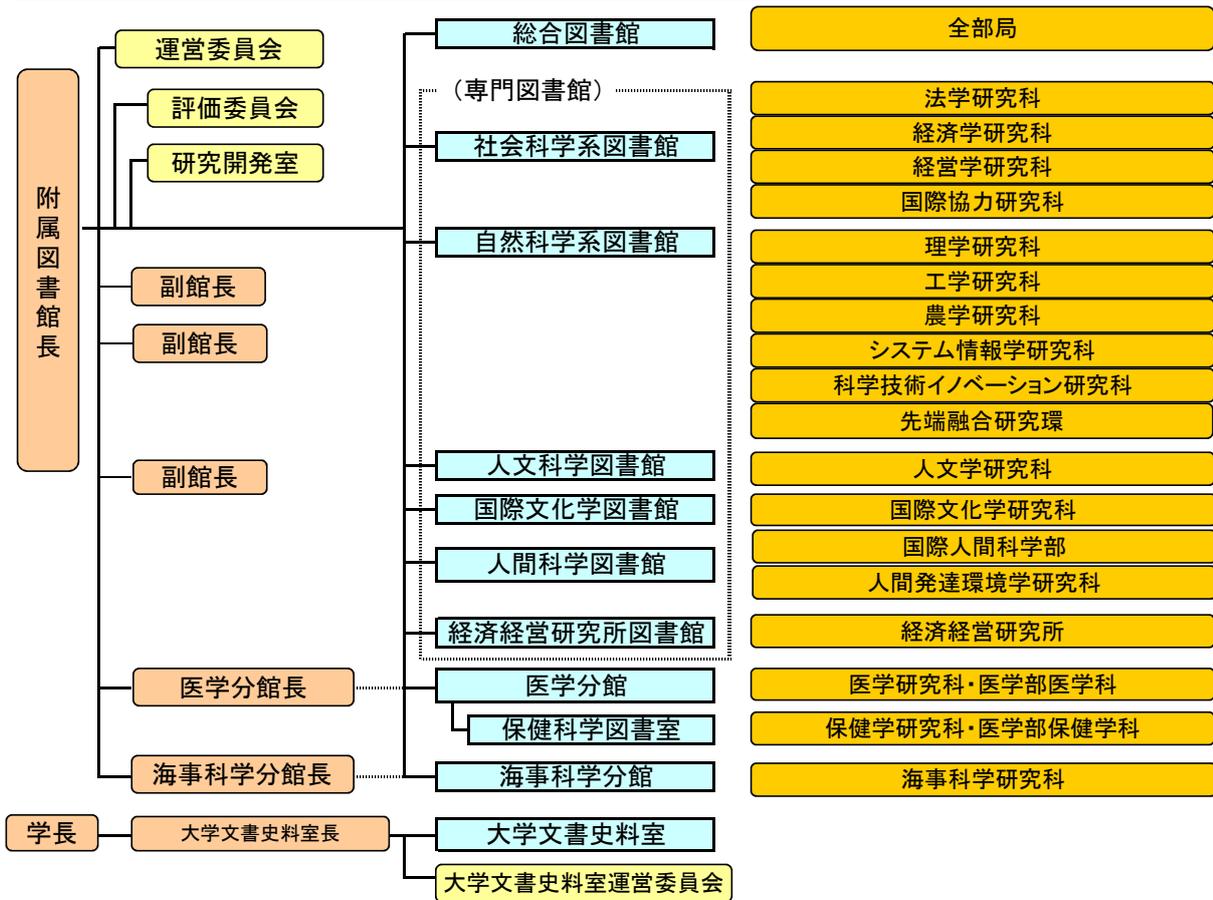
	2017.4	2017.5	2017.6	2017.7	2017.8	2017.9	2017.10	2017.11	2017.12	2018.1	2018.2	2018.3	合計
電子リソースアクセス数	15,716	19,244	19,077	16,717	11,722	11,516	18,033	14,806	14,362	14,661	13,230	10,576	179,660
電子リソースリスト	4,438	4,401	4,028	3,915	3,005	2,648	3,664	2,932	2,630	3,151	2,579	2,670	40,061
DBからのアクセス数	11,278	14,843	15,049	12,802	8,717	8,868	14,369	11,874	11,732	11,510	10,651	7,906	139,599
－フルテキスト	8,392	9,812	9,712	8,264	6,002	6,072	8,885	7,246	7,119	7,957	7,005	5,861	92,327
－所蔵検索数	1,418	2,194	2,325	2,235	1,440	1,280	2,319	1,981	1,697	1,406	1,406	907	20,608
－文献複写依頼	220	240	215	243	266	158	403	199	236	213	225	162	2,780

※ アクセス数:電子リソースリストやDBからのSFXリンクアイコン総アクセス数、所蔵検索数:OPAC、Webcatのアクセス回数

各DB(CiNii、WoS、JDreamIII、PubMed、医中誌など)へのSFXのリンク設定

附属図書館組織

(平成30年7月現在)



各専門図書館、分館及び保健科学図書室に、各館(室)の図書委員会を置く。

事務組織と職員配置

(平成30年7月現在)

		係名	正規	非常勤	館室名
情報管理課	情報管理課長	情報リテラシー係	2	0	総合図書館・
		総合・国際文化学情報サービス係	2	5	国際文化学図書館
情報サービス課	情報サービス課長	企画係	2	1	社会科学系図書館
		管理係	3	0	
		資料整備グループ受入担当	3	2	
		資料整備グループ雑誌担当	2	1	
		資料整備グループ目録担当	2	3	
		電子図書館係	2	4	
		社会科学系情報サービス係	3	5	
情報管理課	情報管理課長	情報システム係	2	0	自然科学系図書館
		自然科学系グループ資料整備担	2	1	
		自然科学系グループサービス担	2	2	
情報サービス課	情報サービス課長	人文科学情報サービス係	3	2	人文科学図書館
		人間科学情報サービス係	3	2	人間科学図書館
		医学グループ資料整備担当	1	2	医学分館
		医学グループサービス担当	1	3	
		保健科学情報サービス係	2	1	保健科学図書室
海事科学情報サービス係	3	1	海事科学分館		
		大学文書史料室	1	3	大学文書史料室

附属図書館 正規職員47名 非常勤職員35名
 大学文書史料室 特命職員 1名 非常勤職員 3名
 * 非常勤職員数は、夜間開館要員等、特定事業に関わるものを除く

経済経営研究所事務長	研究所図書係	3	0	経済経営研究所図書館
------------	--------	---	---	------------

平成29年度附属図書館諸会議一覧

<附属図書館運営委員会>

第1回： 7月6日（木）10：40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成28年度決算について
- (2) 平成29年度電子図書館事業について
- (3) 平成29年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (4) 附属図書館将来計画の見直しについて
- (5) 資料の不用決定について
- (6) その他

報告事項

- (1) 2018年外国雑誌購読調査について
- (2) 「神戸大学オープンアクセス方針」のご説明について
- (3) 平成28事業年度に係る業務の実績について
- (4) 平成29年度附属図書館職員研修実施報告(5/15)
- (5) 平成29年度情報リテラシー事業実施報告
- (6) 学生選書ツアー実施報告(6/23)
- (7) 各図書館・室報告について
- (8) 大学文書史料室報告について
- (9) その他

第2回： 11月8日（水）13：20～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 附属図書館今後10年の運営方針（案）について
- (3) 附属図書館規則等の改正について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) その他

報告事項

- (1) 大学文書史料室の改組について
- (2) 外国雑誌センターでの購入誌について
- (3) 各部局等年次計画の進捗状況の報告等について
- (4) 平成29年度附属図書館資料展について
- (5) 平成29年度後期図書館ガイダンスについて
- (6) 書評・キャッチコピーコンテストについて
- (7) 各図書館・室報告について
- (8) 大学文書史料室報告について
- (9) その他

第3回： 2月5日（月）10：40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 平成30年度附属図書館予算要求について
- (3) 平成30年度学生用資料費について
- (4) 平成29年度E-Study資料について

- (5) 平成30年度における附属図書館サービスの変更について
- (6) 資料の不用決定について
- (7) その他

報告事項

- (1) 附属図書館今後10年の運営方針について
- (2) 大学文書史料室の改組に伴う関連規則等の改正等について
- (3) 第3回書評・キャッチコピーコンテスト実施報告について
- (4) お昼休みトークイベント1「趣味語学のすすめ」(11/13~16)、
2「映画で広げる知的フィールド」(1/15~18)実施報告について
- (5) うりこのLINEスタンプ第2弾デザイン募集について
- (6) (2/15開催)学術英語スキルアップセミナー～Take a New Step!～について
- (7) 各図書館・室報告について
- (8) 大学文書史料室報告について
- (9) その他

第4回： 3月29日(木) 10:40～ (於：社会科学系図書館6階会議室)

協議事項

- (1) 平成30年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成30年度附属図書館学生用資料費について
- (3) 平成28年度総合図書館学生用図書選定結果と評価について
- (5) 資料の不用決定について
- (6) その他

報告事項

- (1) 大学文書史料室の改組に伴う関連規則等の改正等について
- (2) 情報リテラシー事業 平成29年度報告・平成30年度計画について
- (3) 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」
推進に関する協力協定書について
- (4) 各図書館・室報告について
- (5) 大学文書史料室報告について
- (6) 平成30年度版附属図書館利用案内について
- (7) その他

<附属図書館長・副館長懇談会>

4月14日(金) 11:30～ (於：社会科学系図書館5階館長室)

報告

- (1) 附属図書館の概要について
- (2) 附属図書館の関係会議について
- (3) 附属図書館の中期計画・年度計画・年次報告について
- (4) 附属図書館の予算について
- (5) 附属図書館の懸案事項について
- (6) 大学文書史料室の概要・課題について
- (7) 神戸大学出版会について

<附属図書館長・副館長・分館長懇談会>

第1回： 6月29日（木）10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成28年度決算について
- (2) 平成29年度電子図書館事業について
- (3) 平成29年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (4) その他

第2回： 8月7日（月）13:30～ （於：社会科学系図書館5階館長室）

※附属図書館将来計画の見直し検討WGとして開催

第3回： 9月15日（金）10:30～ （於：社会科学系図書館5階館長室）

※附属図書館将来計画の見直し検討WGとして開催

第4回： 11月1日（木）15:10～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 附属図書館将来計画の見直しについて
- (3) 附属図書館規則等の改正について
- (4) その他

第5回： 2月2日（金）10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 平成30年度附属図書館予算要求について
- (3) 平成30年度学生用資料費について
- (4) 平成30年度E-Study資料について
- (5) 平成30年度における附属図書館サービスの変更について
- (6) その他

第6回： 3月22日（木）10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成30年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成30年度附属図書館学生用資料費について
- (3) 平成28年度総合図書館学生用図書選定結果と評価について
- (4) その他

<附属図書館評価委員会>

第1回： 7月27日（木）～31日（月） （メール回議）

議題

- (1) 平成28年度附属図書館年次報告について

第2回： 3月28日（水）～29日（木） （メール回議）

議題

- (1) 平成29年度部局年次計画重点事項の実績報告等について

<附属図書館研究開発室会議>

第1回： 4月26日（水）～5月10日（水） （メール回議）

報告事項

- (1) 平成28年度電子図書館事業報告
- (2) 平成28年度学術成果リポジトリ事業報告
- (3) 国立公文書館アジア歴史資料センターとのシステム連携協定
- (4) 平成28年度教育研究支援部会活動報告

協議事項

- (1) 平成29年度電子図書館事業計画（案）

教育研究支援部会懇談会 第1回： 12月26日（火） （於：総合・国際文化学図書館）

議題

- (1) 平成29年度附属図書館による学修支援実施報告
- (2) 平成30年度附属図書館による学修支援年間計画について
- (3) その他

<附属図書館大学文書史料室運営会議>

第1回： 6月1日（木）13:20～14:50 （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成28年度決算について
- (2) 平成29年度予算について
- (3) 平成29年度特別展の企画について
- (4) 審査基準の一部改正について
- (5) 個人情報の利用審査マニュアルについて
- (6) その他

報告事項

- (1) 大学文書史料室報告（平成29年1月～3月）
- (2) その他

第2回： 8月2日（水）～10日（木） （メール回議）

協議事項

- (1) 個人情報の利用審査マニュアルについて

第3回： 11月2日（木）～7日（火） （メール回議）

協議事項

- (1) 神戸大学附属図書館規則等の一部改正等について

第4回： 12月18日（月）～25日（月） （メール回議）

協議事項

- (1) 大学文書史料室関連規則等の改正等案に係る事前確認について

第5回： 3月14日（水）15:10～16:40 （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成29年度法人文書移管協議について
- (2) 平成30年度事業計画について
- (3) 改組に係る内規改正案の一部修正について
- (4) その他

<附属図書館運営委員会委員名簿>

	職 名	氏 名	任 期 等
附属図書館長	経済・教授	萩原 泰治	H29. 4. 1～H31. 3. 31
副館長 (社会科学系・図書委員長)	経済・教授	金京 拓司	H29. 4. 1～H31. 3. 31
副館長 (自然科学系・図書委員長)	理・教授	大西 洋	H29. 4. 1～H31. 3. 31
副館長 (附属図書館評価委員長)	発達・教授	浅野 慎一	H29. 4. 1～H31. 3. 31
医学分館長	医・教授	中村 俊一	H29. 4. 1～H31. 3. 31
海事科学分館長	海・教授	今井 昭夫	H29. 4. 1～H29. 3. 31
大学教育推進機構	教 授	山内 乾史	H29. 4. 1～H31. 3. 31
人文学研究科	教 授	鈴木 義和	H29. 4. 1～H31. 3. 31
国際文化学研究科	教 授	萩原 守	H29. 4. 1～H31. 3. 31
人間発達環境学研究科	教 授	近江戸 伸子	H29. 4. 1～H30. 3. 31
法学研究科	教 授	大内 伸哉	H29. 4. 1～H31. 3. 31
経済学研究科	教 授	永合 位行	H28. 4. 1～H30. 3. 31
経営学研究科	教 授	小川 進	H28. 4. 1～H30. 3. 31
理学研究科	教 授	大槻 圭史	H28. 4. 1～H30. 3. 31
保健学研究科	教 授	塩谷 英之	H28. 4. 1～H30. 3. 31
工学研究科	教 授	芥川 真一	H29. 4. 1～H31. 3. 31
システム情報学研究科	教 授	坪倉 誠	H28. 4. 1～H30. 3. 31
農学研究科	教 授	野村 啓一	H28. 4. 1～H30. 3. 31
国際協力研究科	教 授	松並 潤	H28. 4. 1～H30. 3. 31
科学技術イノベーション研究科	経営・教授	尾崎 弘之	H28. 4. 1～H30. 3. 31
経済経営研究所	教 授	神谷 和也	H29. 4. 1～H31. 3. 31
情報基盤センター	教 授	鳩野 逸生	H28. 4. 1～H30. 3. 31
附属図書館	事務部長	北村 照夫	-----

<附属図書館評価委員会委員名簿>

職 名 (委員は全て官職指定)	氏 名	備 考
附属図書館長	萩原 泰治	
副館長	金京 拓司	
副館長	大西 洋	
副館長	浅野 慎一	委員長
医学分館長	中村 俊一	
海事科学分館長	今井 昭夫	
事務部長	北村 照夫	
情報管理課長	湖内 夏夫	
情報サービス課長	磯谷 峰夫	

<附属図書館研究開発室室員名簿>

所 属	職 名	氏 名	任期・関連する事業
総括	附属図書館長	萩原 泰治	室長
電子化部会	文・教授	奥村 弘	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (震災関連資料電子化)
	文・教授	福長 進	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (国文学研究資料館古典籍データベース)
	研究所・准教授	高槻 泰郎	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (新聞記事文庫電子化)
	図・電子図書館 係長	井庭 朗子 花崎佳代子	H28. 7. 1～H29. 6. 30 H29. 7. 1～H31. 6. 30
教育研究支援部会	大教・教授	山内 乾史	H29. 4. 1～H31. 3. 31
	大教・教授	近田 政博	H28. 4. 1～H30. 3. 31
	大教 国際コミュニケーション センター・教授	石川慎一郎	H29. 4. 1～H31. 3. 31
	国文・准教授	清光 英成	H28. 4. 1～H30. 3. 31
	図・情報サービス 課課長補佐	笠原 夕美	H29. 7. 1～H31. 6. 30
	図・情報リテラ シー係長	三谷 拓也 井庭 朗子	H28. 4. 1～H29. 6. 30 H29. 7. 1～H31. 6. 30
(部会に属さず)	基盤セ・教授	鳩野 逸生	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (情報システム)

<附属図書館大学文書史料室運営会議委員名簿>

	所 属 等	職名	氏 名	任 期 等
議長 1号委員	館長・経済学研究科	教授	萩原 泰治	H29. 4. 1～H31. 3. 31
室長 2号委員	副館長・人間発達環境学研 究科	教授	浅野 慎一	H29. 4. 1～H31. 3. 31
室員 3号委員	大学文書史料室	室長補佐兼 専門調査員	野邑理栄子	H29. 4. 1～H31. 3. 31
4号委員	附属図書館	事務部長	北村 照夫	H29. 4. 1～H31. 3. 31
5号委員	人間発達環境学研究科	教授	渡部 昭夫	H29. 4. 1～H31. 3. 31
5号委員	農学研究科	教授	金子 治平	H29. 4. 1～H31. 3. 31
5号委員	人文学研究科	准教授	河島 真	H29. 4. 1～H31. 3. 31
5号委員	総務部総務課	課長補佐	中村 秀幸	H29. 4. 1～H31. 3. 31

平成29年度 附属図書館決算

1. 既定経費

単位:円

事 項	平成29年度 予算配分額 (当初) (A)	平成29年度 予算配分額 (追加等) (B)	平成29年度 予算配分総額 (C)	平成29年度 執行額 (D)	残額 (C-D)	摘 要 (この欄のみ単位千円)
A. 経常運営費						
(1) 備品・消耗品費	6,500,000		6,500,000	2,861,482	3,638,518	※詳細は欄外
(2) 事務用図書費	360,000		360,000	384,404	△ 24,404	事務用図書、事務用雑誌
(3) 印刷製本費	360,000		360,000	332,856	27,144	利用案内
(4) 光熱水料	26,000,000	105,000	26,105,000	26,117,660	△ 12,660	電気代(21,055)、ガス代(2,508)、上下水道代(2,555) 追加は鶴1生協電気代
(5) 通信運搬費	7,000,000		7,000,000	6,588,283	411,717	切手代(922)、郵便料(2,032)、電話料(286)、学内資料搬送(3,348)
(6) 借料及び損料	1,220,000		1,220,000	1,406,237	△ 186,237	複写機(1,285)、タクシー代(21)
(7) 雑役務等諸経費	29,000,000	204,480	29,204,480	32,129,107	△ 2,924,627	警備請負(3,245)、清掃請負(10,126)、電話交換保守業務(180)、EV保守(7,294)、特高設備保守(270)、空調機保守(279)、桶田地設備保守(2,200)、消防設備保守(1,069)、水質検査(23)、廃棄物処理(1,132)、蔵書点検業務(797)、諸会費(290)、備品修理(866)、各種営繕(3,793)、その他(566) 追加は損害保険受取
(8) 非常勤職員給与等	85,000,000		85,000,000	87,436,924	△ 2,436,924	
(9) 電子計算機維持経費	144,000		144,000	103,000	41,000	情報基盤センター利用負担金
(10) 職員旅費	900,000		900,000	931,620	△ 31,620	会議・研修会・講習会旅費(803)、バス地下鉄私鉄カード(128)
(11) 建物老朽化対策経費	124,000	△ 124,000	0		0	附属図書館負担額(4,124)の一部
(1)～(11)小計	156,608,000	185,480	156,793,480	158,291,573	△ 1,498,093	
B. 経常事業費						
(1) 時間外開館経費	21,700,000		21,700,000	21,562,340	137,660	時間外開館(12,467) 学生非常勤(9,095)
(2) 電子図書館事業	6,450,000		6,450,000	6,578,591	△ 128,591	
(3) その他事業費	300,000		300,000	96,215	203,785	展示会用チラシ・ポスター、消耗品
(4) 図書館資料費	76,427,000		76,427,000	75,743,073	683,927	
学生用資料費	41,682,000		41,682,000	41,679,306	2,694	
e-study資料費	5,345,000		5,345,000	5,345,460	△ 460	
震災文庫資料費	400,000		400,000	399,077	923	
外国雑誌センター館経費	29,000,000		29,000,000	28,319,230	680,770	
(5) 製本費	500,000		500,000	500,350	△ 350	
(6) 附属図書館長裁量経費	3,234,000		3,234,000	3,189,492	44,508	人間空調機更新(1,188) 書籍移動(人文⇒社系 588) 医学窓遮熱(173) 医学・自然椅子(402) 図書館総合展等派遣旅費(430) DBプラットフォーム維持費等(359) ほか
(1)～(6)小計	108,611,000	0	108,611,000	107,670,061	940,939	
運営費+事業費	265,219,000	185,480	265,404,480	265,961,634	△ 557,154	
C. 大学文書史料室						
運営経費	6,530,000		6,530,000	6,550,570	△ 20,570	
小計	6,530,000	0	6,530,000	6,550,570	△ 20,570	
附属図書館(A,B)+大学文書史料室(C) 既定経費計	271,749,000	185,480	271,934,480	272,512,204	△ 577,724	

2. 収入確保インセンティブ経費等から繰入

事 項	平成29年度 予算配分額 (当初) (A)	平成29年度 予算配分額 (追加等) (B)	平成29年度 予算配分総額 (C)	平成29年度 執行額 (D)	残額 (C-D)	摘 要
D. 収入確保インセンティブ経費等から繰入						
(1) 建物老朽化対策経費		△ 4,000,000	△ 4,000,000		△ 4,000,000	施設部予算へ
(2) ILL費用計上				2,168,624	△ 2,168,624	他大学へ依頼分
(3) 管理運営経費(備品消耗品費に充当)				2,488,146	△ 2,488,146	※詳細は欄外
収入確保インセンティブ経費等 小計	0	6,081,696	6,081,696	4,656,770	1,424,926	
1. 既定経費+2. 収入確保インセンティブ経費等 総計	271,749,000	6,267,176	278,016,176	277,168,974	847,202	平成30年度へ繰越

3. 臨時的経費等(参考)

事 項	平成29年度 予算配分額 (当初) (A)	平成29年度 予算配分額 (追加等) (B)	平成29年度 予算配分総額 (C)	平成29年度 執行額 (D)	残額 (C-D)	摘 要
E. 電算機借料						
図書館システム		45,411,840	45,411,840	45,411,840	0	
小計	0	45,411,840	45,411,840	45,411,840	0	
F. 臨時的経費						
教育研究基盤資料整備費	346,075,382	6,628,000	352,703,382	352,703,382	0	(SciFinder負担金 6,628)
建物老朽劣化対策経費	—	26,715,984	26,715,984	26,715,984	0	自然科学系図書館外壁改修ほか
学内営繕・エコ対策経費	—	5,575,279	5,575,279	5,575,279	0	保健非常口スロープ、人間空調機電源、社系屋外階段ほか
施設整備費補助金(災害復旧)	—	442,800	442,800	442,800	0	社系図書館火災受信器修理
戦略的事業経費(防災設備点検)	66,960	0	66,960	66,960	0	防災設備点検費
学長戦略経費(環境整備)	—	2,984,040	2,984,040	2,984,040	0	人文監視カメラ更新(1,350)、社系マイクロ資料室除湿機設置(1,634)
学内ワースタディ実施経費	—	782,413	782,413	782,413	0	各館室業務補助員
神戸大学出版会事業	400,000	2,053,340	2,453,340	2,453,340	0	出版事業、出版会事務経費
小計	346,142,342	43,128,516	389,270,858	389,270,858	0	
G. 外部資金						
国文学研究資料館(撮影費)		3,013,635	3,013,635	3,013,635	0	歴史的典籍NW事業委託費
誓子基金		530,853	530,853	198,431	332,422	山口文庫関連書籍購入費
神戸大学出版会出版事業助成金		980,000	980,000	0	980,000	
国立大学図書館協会地区事業助成金		67,734	67,734	67,734	0	地区事業実施のための経費を外部資金として受入
小計	0	4,592,222	4,592,222	3,279,800	1,312,422	
臨時的経費等 計	346,142,342	93,132,578	439,274,920	437,962,498	1,312,422	

※備品・消耗品費支出内訳(収入確保インセンティブ経費 2,488,146を含む) 計 5,349,628
備品類(事務用PC入替 706,284)、事務用品(781,857)、図書館用品(1,552,952)、用紙類(231,489)、電算用品(874,033)、蛍光灯類(276,803)、雑用品(926,210)

平成29年度 図書資料費実績

(附属図書館セグメント)

単位:千円

館 室 名	学生用資料				震災文庫 資料費	外国雑誌 センター	e-study 事業費	** その他	*** 教育研究基盤 資料整備費	計 ****
	予算額 *	決算額 *	比較増減	図書購入冊数						
総合図書館	7,521	7,520	1	2,614			5,345		346,075	358,941
社会科学系図書館	7,283	7,283	0	3,401	399	28,319		8		36,010
自然科学系図書館	9,781	9,780	1	1,380						9,780
人文科学図書館	1,935	1,934	1	428						1,934
国際文化学図書館	2,152	2,151	1	273						2,151
人間科学図書館	3,032	3,030	2	635						3,030
経済経営研究所図書館	768	767	1	211						767
医学分館	3,893	3,892	1	597						3,892
保健科学図書室	2,628	2,627	1	586						2,627
海事科学分館	2,689	2,688	1	1,323						2,688
小 計	41,682	41,679	3	11,448	399	28,319	5,345	8	346,075	421,827

注* 図書その他 雑誌・新聞・電子資料などを含む

注** 社会:電子図書館と展示会経費から(消耗品扱)

注*** 電子ジャーナル経費・外国雑誌購読料補填経費

注**** これ以外に、電子コンテンツ作成費 3,519,962円がある

(部局セグメント)

単位:千円

館 室 名	一般財源 図書資料費		
	館室備付 共同利用	研究室等 備付	計
総合図書館	374	1,160	1,534
社会科学系図書館	85,834	9,984	95,819
自然科学系図書館	1,640	29,808	31,449
人文科学図書館	8,982	2,623	11,605
国際文化学図書館	2,818	5,338	8,157
人間科学図書館	5,324	4,237	9,561
経済経営研究所図書館	18,492	304	18,796
医学分館	35,618	2,215	37,833
保健科学図書室	5,499	774	6,273
海事科学分館	6,499	831	7,331
計	171,084	57,278	228,363

(部局セグメント)

単位:千円

館 室 名	補助金等による購入				
	科研費	委任経理	受託研究	その他	計
総合図書館	698	0	0	7,635	8,333
社会科学系図書館	32,617	1,170	300	5,471	39,560
自然科学系図書館	9,001	3,400	1,117	3,476	16,996
人文科学図書館	9,593	405	631	2,889	13,519
国際文化学図書館	4,480	0	236	269	4,985
人間科学図書館	5,242	298	378	1	5,921
経済経営研究所図書館	696	299	0	19	1,015
医学分館	1,116	2,561	1,965	33	5,676
保健科学図書室	652	95	0	11	759
海事科学分館	2,508	453	212	15	3,189
計	66,607	8,686	4,842	19,821	99,958

単位:千円

合計
368,810
171,389
58,226
27,060
15,295
18,513
20,580
47,402
9,661
13,209
750,148

* 千円未満切捨のため、合計等は一致しません

平成29年度附属図書館活動日誌

< 4月 >

- 3 (月) 萩原館長着任式 <於：社会科学系図書館>
オリエンテーション (国際文化学研究所院生)
<於：国際文化学部大会議室 説明：係長>
- 4 (火) 入学式 <於：ワールド記念ホール 出席：館長>
新入生ガイダンス (医学部保健学科、保健学研究科)
<於：名谷キャンパス D201 教室 説明：係員>
- 5 (水) オリエンテーション (国際人間学部) <於：六甲台講堂 説明：係員>
- 6 (木) 神戸大学新任教職員研修
<於：六甲台講堂 講師：サービス課長、室長補佐>
- 6 (木) ~ 12 (水) 新入生対象図書館ツアー <於：人間科学図書館>
- 7 (金) 経済学部初年次セミナー図書館ツアー <於：社会科学系図書館
来館：約120名 対応：管理課課長補佐、係長、係員2名>
新入生対象図書館ツアー <於：海事科学分館>
図書館リテラシー講習会 (理学部生物学科)
<於：基盤センター 講師：係員2名>
オーダーガイダンス (保健科学部)「雑誌論文の探し方」
<於：保健科学図書室 説明：係員2名>
- 7 (金) ~ 5月26日 新入生対象図書館セルフツアー <於：医学分館>
- 8 (土) ~ 6月4日 特別展「快慶 日本人を魅了した仏のかたち」 <於：奈良国立博物館
主催：奈良国立博物館 出陳：附属図書館所蔵「浄土寺縁起」>
- 10 (月) ~ 14 (金) 新入生対象図書館ツアー <於：総合・国際文化学図書館(案内：ULiCS)、
自然科学系図書館、人文科学図書館>
- 11 (火) ~ 12 (水) レポート執筆攻略セミナー①「レポートってどう書くの？」
(盛況につき12日追加開催) <於：国際文化学LC、
総合・国際文化学図書館LC 講師：係員1名、参加：160名>
- 11 (火) ~ 20 (木) (国際交流課)「ローマ条約60周年記念写真展」
<於：社会科学系図書館2階展示ホール>
- 12 (水) ~ 14 (金) 英語による図書館ツアー <於：総合・国際文化学図書館>
- 13 (木) 親和女子高校生徒による見学・壁画撮影
<於：社会科学系図書館 来館：14名>
オーダーガイダンス (理化学) <於：基盤センター>
- 14 (金) 経済学部初年次セミナー図書館ツアー
<於：社会科学系図書館 参加：120名>
工学部初年次セミナー図書館ツアー <於：自然科学系図書館>
国際人間・グローバル学科初年次セミナー図書館ツアー
<於：総合・国際文化学図書館>
平成29年度館長・副館長懇談会 <於：社会科学系図書館>
新入生対象図書館ツアー <於：海事科学分館、保健科学図書室>
兵庫県大学図書館協議会役員会・企画委員会合同会議
<於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長 他>
オーダーガイダンス (保健科学部)「雑誌論文の探し方」
<於：保健科学図書室 説明：係員2名>

- 15 (土) キャンパスツアー「神大歴史探訪～六甲おろしコース～」
 <於：社会科学系図書館 主催：総務部広報課 来館：12名>
- 17 (月) レポート執筆攻略セミナー②「Logical Thinking For Writing
 ～論理的に考える作法～」<於：鶴一キャンパス C-201 教室
 講師：石川慎一郎教授（国際コミュニケーションセンター） 参加：120名>
 神戸市内暴風警報発令のため全館室臨時閉館（16：30より順次）
- 17 (月)～20 (木) ミニガイド「図書館HPを使いこなそう！」
 <於：総合・国際文化学部図書館 LC>
- 18 (火) 施設キャラバン <於：社会科学系図書館>
- 20 (木) オーダーガイド（保健科学部）「図書館資料の探し方」
 <於：保健科学図書室 説明：係員2名>
 ULiCS 説明会 <於：国際文化学部 LC>
 理学部初年次セミナーガイド、図書館ツアー<於：自然科学系図書館>
 会計検査院会計実地検査
- 20 (木)～21 (金) 経済学部初年次セミナー図書館ツアー <於：社会科学系図書館>
- 21 (金) 海事科学部初年次セミナーガイド、図書館ツアー
 <於：海事科学分館>
 国際人間・グローバル学科初年次セミナー図書館ツアー
 <於：総合・国際文化学部図書館>
 オーダーガイド（応用化学）<於：工学部 参加：106名>
 図書館ツアー（応用化学）<於：社会科学系図書館 参加：106名>
 新入生対象図書館ツアー <於：保健科学図書室>
 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験実施委員会
 <於：神戸大学瀧川学術交流会館 出席：部長、管理課長>
 国立大学図書館協会近畿地区加盟館図書系人事担当課長・事務部長懇談会
 <於：神戸大学瀧川学術交流会館 出席：管理課長>
 国立大学図書館協会近畿地区協会 総会 <於：神戸大学瀧川学術交流会館
 出席：館長・部課長 陪席：管理課長補佐、係長1名>
- 22 (土) キャンパスツアー「神大生なりきりコース ～学生ガイドと大学の雰囲気を
 楽しむ～」<於：社会科学系図書館 主催：総務部広報課 来館：37名>
- 24 (月)～28 (金) 新入生対象図書館ツアー
- 25 (火) レポート執筆攻略セミナー③「論理的なコミュニケーション」
 <於：鶴一キャンパス C-201 教室
 講師：齊藤美穂准教授（国際教育総合センター）>
- 28 (金) 文学部初年次セミナー検索ガイド、図書館ツアー
 <於：人文科学図書館>
 工学部建築学科初年次セミナー図書館ツアー（各館室を自由見学）
 新入生対象図書館ツアー <於：保健科学図書室>
 第1回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会
 <於：近畿大学 出席：サービス課課長補佐（海事）>
- <5月>
- 8 (月) レポート執筆攻略セミナー④「理系レポート・論文の書き方」
 <於：工学部創造工学スタジオ
 講師：谷口隆晴准教授（システム情報学研究科）>

- 共通教育「情報基礎」授業開始
- 10 (水) ガイダンス「国内論文の探し方」 <於：海事科学研究科>
- 11 (木) ～6月10日 クイズラリー <於：総合・国際文化学図書館>
- 12 (金) 文学部初年次セミナーガイダンス、図書館ツアー <於：人文科学図書館>
海事科学部初年次セミナー図書館ツアー <於：海事科学分館>
国際人間学部発達系初年次セミナー図書館ツアー
<於：総合・国際文化学図書館>
兵庫県大学図書館協議会企画委員会
<於：神戸国際大学 出席：部課長、他>
第112回日本医学図書館協会近畿地区例会
<於：奈良県立医科大学 出席：サービス課課長補佐（医学）>
- 15 (月) 創立記念日の休校による休館（全館室）
ULiCS メンバー図書館ツアー
<於：海事→人間→社系・研究所→総合・国際→自然科学→人文
参加：4名、引率：係員2名>
附属図書館職員研修講演会「神戸開港150年、都市イメージの変遷を
めぐって」 <於：人文学研究科教室
講師：奥村弘教授、山本康司氏（人文学研究科）参加：51名>
- 16 (火) レポート執筆攻略セミナー⑤「ランチタイムブレイク Write & Cite」
<於：国際文化学部 LC 司会：係員1名>
- 16 (火) ～23 (火) 第1回社会科学系図書館 図書委員会（メール回議）
- 18 (木) 日本学術会議主催フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来」
<於：日本学術会議講堂 出席：館長>
- 19 (金) 日本医学図書館協会第88回通常総会
<於：聖路加国際大学 出席：サービス課課長補佐（医学）>
海事科学部初年次セミナーガイダンス、館内案内 <於：海事科学分館>
- 20 (土) 日本医学図書館協会第2回学術集会
<於：聖路加国際大学 出席：サービス課課長補佐（医学）>
キャンパスツアー「神大歴史探訪～六甲おろしコース～」
<於：社会科学系図書館 主催：総務部広報課 来館：33名>
- 22 (月) 文学部初年次セミナー図書館ツアー <於：社会科学系図書館>
- 24 (水) Web of Science 説明会 <於：海事・IPC室>
就活スタートセミナー <於：六甲ホール 説明：リテラシー係>
- 25 (木) 第1回保健科学図書室 図書委員会
第2回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会
<於：大阪芸術大学 出席：サービス課課長補佐（海事）>
- 26 (金) 海事科学部初年次セミナーガイダンス、館内案内 <於：海事科学分館>
大学図書館近畿イニシアティブ「中級研修」
<於：大阪芸術大学 受講：係員3名
実施要員：サービス課課長補佐（海事）>
- 29 (月) 文学部初年次セミナー図書館ツアー <於：社会科学系図書館>
- 30 (火) 第1回人文科学図書館 図書委員会
- 30 (火) ～6月9日 ガイダンス「秘書さん・職員さんのための図書館利用入門」（計8回）
<於：医学分館>
- 31 (水) オーダーガイダンス（国際文化学研究科）<於：鶴一キャンパス>

< 6月 >

- 1 (木) 第1回大学文書史料室 運営会議
- 2 (金) 第1回海事科学分館 図書委員会
- 5 (月) 第1回国際文化学図書館 図書委員会
UpToDate Anywhere 説明会 <於：医学研究科>
- 5 (月) ~ 9 (金) 筒井台中学トライやるウィーク <於：社会科学系図書館 実習：2名>
漢籍整理長期研修 (前半)
<於：東京大学東洋文化研究所 受講：係員1名>
- 6 (火) オーダーガイダンス (国際協力研究科) <於：国際協力研究科>
- 7 (水) JPCOAR メタデータタスクフォース初回顔合わせ
<於：国立情報学研究所 出席：係員1名>
NII 学術情報基盤オープンフォーラム 2017
<於：学術総合センター 出席 (部分)：係員1名>
- 8 (木) ~ 9 (金) 全国公文書館長会議
<於：ベルサール飯田橋、防衛省防衛研究所戦史研究センター
出席：室長、室長補佐>
- 9 (金) 旺文社『螢雪時代』によるキャンパスツアー取材
<於：社会科学系図書館>
- 10 (土) 育友会文学部懇談会 <於：文学部 出席：係長1名>
- 12 (月) SciFinder 説明会 (理学部) <於：基盤センター分館>
- 12 (月) ~ 9月8日 人文学研究科地理学教室主催巡回展「景観文化財の継承と活用」
<於：社会科学系図書館 2F 展示ホール>
- 13 (火) ガイダンス「雑誌論文の探し方」<於：自然科学系図書館>
- 13 (火) ~ 7月28日 第2回社会科学系図書館 図書委員会 (メール回議)
- 14 (水) ガイダンス「参考文献の見方・書き方」<於：自然科学系図書館>
EndNote basic 説明会 <於：自然科学系図書館>
第1回医学分館 図書委員会
- 15 (木) 第18回阪神・淡路大震災資料の保存・活用に関する研究会
<於：自然科学系図書館 出席：情報管理課長、係長1名>
第1回海外派遣のための事前勉強会 <於：社会科学系図書館
参加：部長、係員7名>
- 16 (金) ガイダンス「雑誌論文の探し方」
<於：工学部、自然科学系図書館、人文科学図書館>
- 20 (火) ガイダンス「雑誌論文の探し方」<於：社会科学系図書館>
就活スタートセミナー <於：六甲ホール 説明：リテラシー係>
- 21 (水) 次世代リポジトリシステムに関する懇談会
<於：国立情報学研究所 出席：係員1名>
EndNote basic 説明会 <於：社会科学系図書館>
ガイダンス「参考文献の書き方・見方」 <於：社会科学系図書館>
- 22 (木) オーダーガイダンス (保健学研究科) <於：保健科学図書室>
第1回経済経営研究所 図書委員会
- 22 (木) ~ 23 (金) 第64回国立大学図書館協会総会
<於：TKP ガーデンシティ千葉 出席：館長、部長、
情報サービス課長 発表：係員1名 (海外派遣事業) >

- 23 (金) 学生選書ツアー <於：ジュンク堂書店三宮店 随員：係員7名>
ガイダンス「雑誌論文の探し方」<於：人間科学図書館>
- 26 (月) クリス・エンゲル氏来学、六甲台壁画下絵（中山画伯作）寄贈
<於：社会科学系図書館 案内：室長補佐>
第1回人間科学図書館 図書委員会
- 27 (火) ガイダンス「eolで企業情報を手に入れよう！」<於：社会科学系図書館>
2017JMLA 医図協シンポジウム実行委員会
<於：大阪大学生命科学図書館 出席：サービス課課長補佐（医学）>
- 28 (水) ガイダンス「Lexis.comで世界のニュース&ビジネス情報を手に入れよう」
<於：社会科学系図書館>
第2回まごまご読書倶楽部 <於：総合・国際文化図書館 担当：ULiCS>
- 29 (木) 第1回館長・副館長・分館長懇談会
オーダーガイダンス（保健学研究科）<於：保健科学図書室>
- <7月>
- 2 (日) 平成29年度近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験
- 3 (月) ガイダンス「雑誌論文の探し方」<於：総合・国際文化図書館>
第1回国立大学図書館協会学術資料整備委員会デジタルアーカイブWG
<於：社会科学系図書館 担当：部長、係長1名>
- 3 (月)～14 (金) 平成29年度大学図書館長期研修
<於：筑波大学春日キャンパス 受講：係長1名>
- 4 (火) 第1回自然科学系図書館 図書委員会
- 5 (水) オープンアクセス方針説明会 <於：国際協力研究科>
- 6 (木) 第1回附属図書館運営委員会
- 7 (金) オープンアクセス方針説明会 <於：工学、システム情報学研究科>
第1回大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会 <於：大阪市立大学
出席：部長、サービス課長、サービス課課長補佐（海事）>
- 10 (月) 兵庫県立国際高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館
来館：42名 説明：係長1名、係員1名>
西宮高校生徒による見学 <於：総合・国際文化図書館 来館：97名>
- 14 (金) POPワークショップ <於：総合・国際文化図書館 担当：選書WG>
オープンアクセス方針説明会 <於：国際人間科学部（鶴一キャンパス）>
国際文化・学生、関西国際交流基金・留学生による見学
<於：社会科学系図書館 来館：23名 案内：係長1名、係員1名>
- 15 (土) キャンパスツアー「神大生なりきりコース」（高校生）
<於：社会科学系図書館 主催：総務部広報課 来館：39名>
- 19 (水) オープンアクセス方針説明会 <於：法学研究科>
- 21 (金) 第1回大学文書史料室員研修 <於：大学文書史料室 参加：6名>
- 24 (月) 第3回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会
<於：大阪芸術大学短期大学部 出席：サービス課課長補佐（海事）>
- 25 (火) 第2回大学文書史料室員研修
<於：関西大学年史編纂室 参加：室員4名>
- 26 (水) オープンアクセス方針説明会 <於：人文学研究科>
- 27 (木) オープンアクセス方針説明会 <於：イノベーション研究科>
- 27 (木)～28 (金) 機関リポジトリ新任担当者研修

- <於：国立情報学研究所 講師、現場責任者：係長1名>
 28 (金) 神戸大学職員採用試験機関訪問説明会
 <於：社会科学系図書館 説明、懇談：係員4名>
- <8月>
- 1 (水)～7 (月) 第2回海事科学分館 図書委員会 (メール回議)
 4 (金) 兵庫県大学図書館協議会総会 <於：神戸国際大学
 出席：館長・部長・両課長・管理課長補佐・企画係長>
 5 (土) 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験
 <於：京都大学附属図書館 要員：部課長>
 5 (土)～9月24日 神戸開港150年記念特別展「開国への潮流～開港前夜の兵庫と神戸～」
 <於：神戸市立博物館 出陳：住田文庫資料2点>
 7 (月) 台風5号接近による暴風警報発令のため全館室臨時閉館
 (将来計画WG) 館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館>
 8 (火) 第2回人文科学図書館 図書委員会
 8 (火)～9 (水) 近畿地区国立大学法人等職員採用二次面接試験
 <於：社会科学系図書館>
 14 (月)～16 (水) 夏季一斉休業
 18 (金) 神戸大学進学相談会による見学 <於：社会科学系図書館 (希望者のみ)>
 19 (土) キャンパスツアー「神大生なりきりコース」
 <於：社会科学系図書館 主催：総務部広報課 来館：35名>
 23 (水)～25 (金) 第一種衛生管理者試験受験準備講習会
 <於：瀧川学術交流会館 受講：係員6名>
 24 (木) 第13回電子リソースデータ共有作業部会
 <於：国立情報学研究所 出席：係員1名>
 26 (土) キャンパスツアー「神大生なりきりコース」
 <於：社会科学系図書館 主催：総務部広報課 来館：34名>
 30 (水) 全国遺跡報告総覧実務者会議
 <於：奈良文化財研究所 出席：係長1名>
 31 (木) 第3回海外派遣事前勉強会
 <於：社会科学系図書館 参加：部長、係員7名>
- <9月>
- 1 (金) オープンアクセス方針説明会 <於：経済学研究科>
 国大図協近畿地区助成事業「その時図書館はどう動くか？」
 <於：和歌山大学図書館 参加：係員1名>
 第1回国大図協総務委員会
 <於：東京大学総合図書館 出席：サービス課長>
 4 (月) 産業医巡視 <於：海事科学分館>
 4 (月)～8 (金) 漢籍整理長期研修 (後半)
 <於：東京大学東洋文化研究所 受講：係員1名>
 5 (火) 第29-1回国大図協学術資料整備委員会
 <於：名古屋大学中央図書館 出席：部長>
 6 (水) オープンアクセス方針説明会 <於：農学、保健学研究科>
 6 (水)～7 (木) JUSTICE2017 年度版元提案説明会

- 8 (金) <於：一橋大学 出席：雑誌担当2名>
 オープンアクセス方針説明会 <於：理学研究科>
 11 (月) 「図書の修理講座 ～背表紙の補修～」
 <於：社会科学系図書館 LC 参加：7名>
 12 (火) J-CREW プロジェクトによる動画撮影 <於：海事科学分館>
 15 (金) (将来計画 WG) 館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館>
 17 (日) ～10月1日 国大図協海外派遣事業による長期派遣
 <於：米国 University of Central Florida 係員1名>
 20 (水) オープンアクセス方針説明会 <於：経済経営研究所>
 21 (木) プレジデントファミリーによる取材撮影 <於：医学分館>
 21 (木) ～22 (金) 第4回機関リポジトリ新任担当者研修、JAIRO Cloud 操作説明会
 <於：国立情報学研究所 講師・運営補助：係長1名>
 22 (金) 中日産学センターによる貴重書撮影 <於：人文科学図書館>
 25 (月) オープンアクセス方針説明会 <於：情報基盤センター>
 iPRES2017 デジタルデータ長期保存の最前線
 <於：京都大学 出席：部長>
 25 (月) ～29 (金) アーカイブズ研修 III 前期 <於：国立公文書館 受講：室長補佐>
 27 (水) 第3回人文科学図書館 図書委員会
 28 (木) ～29 (金) 図書館等職員著作権実務講習会 <於：京都大学 受講：係員3名>
 29 (金) 京阪奈三教育大学図書館業務連携プロジェクト合同研修
 <於：大阪教育大学 講師派遣：係員2名>
 国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター第1回拠点連携委員会
 <於：主婦会館 出席：係長1名>
 「図書の修理講座 ～和紙を使ったページ外れの補修～」
 <於：社会科学系図書館 LC 参加：8名>
 30 (土) キャンパスツアー「神大生なりきりコース」
 <於：社会科学系図書館 主催：広報課 来館：33名>

<10月>

- 3 (火) ～6 (金) 平成29年度大学図書館職員短期研修
 <於：京都大学 受講：係員2名>
 5 (木) 出光興産若手社員研修 <於：六甲台本館、講堂ほか 来館：22名>
 見学：社会科学系図書館 講演、解説：室長補佐>
 5 (木) ～31 (火) 第3回 書評・キャッチコピーコンテスト 作品募集
 6 (金) 多読図書オリエンテーション <於：海事科学分館 参加：214名>
 甲南高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：75名>
 10 (火) JPCOAR 研修作業部会ミーティング
 <於：国立情報学研究所 出席：係長1名>
 JPCOAR スキーマ説明会
 <於：国立情報学研究所 運営：係員1名、参加：係長1名>
 11 (水) オープンアクセス方針説明会 <於：海事科学研究科>
 就活スタートセミナー <於：六甲台講堂 説明：リテラシー係>
 JPCOAR 第2回メタデータ普及タスクフォース
 <於：国立情報学研究所 出席：係員1名>
 11 (水) ～13 (金) 第2回経済経営研究所 図書委員会 (メール回議)

- 13 (金) 毎日新聞による資料展取材
 <於：社会科学系図書館展示ホール 対応：管理課長補佐>
 放送大学生による図書館ツアー
 <於：総合・国際文化学図書館 来館：32名>
- 13 (金) ～12月19日 平成29年度附属図書館資料展
 「近代神戸の航路をたどる～開港150年を迎えて～」
 <於：社会科学系図書館展示ホール 主催：附属図書館>
- 17 (火) 大阪府立泉陽高校生徒による見学
 <於：社会科学系図書館 主催：ゼミ幹事会 来館：48名>
 大阪府立生野高校 PTA による見学
 <於：社会科学系図書館 来館：95名>
- 18 (水) 就活スタートセミナー <於：六甲ホール 説明：情報リテラシー係>
 オープンアクセス方針説明会 <於：経営学研究科>
 開明高校生徒による見学(自由)
 <於：人間・海事・社系・保健・自然系>
 オーダーガイダンス(経済学研究科 留学生対象)
 京都大学図書館機構講演会
 <於：京都大学附属図書館 出席：部長、係員1名>
- 18 (水) ～20 (金) 近畿地区国立大学法人等会計事務研修 <於：京都大学 受講：係員1名>
- 19 (木) オーダーガイダンス(海事科学研究科)
- 19 (木) ～20 (金) レファレンス・サービス研修(科学技術情報)
 <於：国立国会図書館関西館 受講：係長1名>
- 21 (土) キャンパスツアー「神大歴史探訪～六甲おろしコース～」
 <於：社会科学系図書館 主催：総務部広報課 来館：26名>
- 24 (火) ガイダンス「雑誌論文の探し方(自然科学編)」
 <於：自然科学系図書館ミニコモンズ>
 加古川西高校生徒による見学
 <於：社会科学系図書館 来館：20名>
 医図協主催シンポジウム「教え方を学ぶ」 <於：大阪大学
 実行委員：サービス課課長補佐(医学)、参加：係長2名>
- 25 (水) 平成29年度内定証書交付式及び若手職員と採用内定者との懇談会
 <於：瀧川学術交流会館 出席：係員1名(メンター)
 部長、管理課長(交流会)>
- 25 (水) ～26 (木) ガイダンス「参考文献の見方・書き方」
 EndNote Basic 説明会
 <於：自然科学系図書館ミニコモンズ>
- 25 (水) ～11月10日 非常時参集訓練(各館室) <実施：13名>
- 26 (木) 上野中学トライやる事前訪問
 <於：社会科学系図書館 対応：管理課長補佐>
- 26 (木) ～11月10日 平成29年神戸大学史・特別展「神大キャンパス今昔物語
 ー神戸大学創立115周年記念ー」
 <於：六甲ホール 主催：大学文書史料室>
- 27 (金) 星陵高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館
 主催：ゼミ幹事会 来館：9名
 主催：経済学部教務係 来館：21名>

- 平成29年度防災訓練(全学)
 28(土) 第12回神戸大学ホームカミングデイ
 <於:社会科学系図書館、大学文書史料室 資料展見学受入>
- <11月>
- 6(月) JaLC研究データ利活用協議会(RDUF)第1回研究会
 <於:国立国会図書館 参加:部長>
- 6(月)~10(金) 上野中学トライやるウィーク <於:社会科学系図書館 来館:2名>
 御影中学トライやるウィーク <於:自然科学系図書館 来館:2名>
 漢籍担当職員講習会(中級)
 <於:京都大学東アジア人文情報学研究センター 受講:係員1名>
- 7(火) ガイダンス「雑誌論文の探し方」<於:総合・国際文化学図書館>
 第2回国際文化学図書館 図書委員会
- 7(火)~9(木) 第19回国書館総合展 <於:パシフィコ横浜
 参加:部長(7のみ)、ULiCS2名、引率1名(全国学生協働サミット)、
 係員3名(各フォーラム2日間ずつ)>
- 8(水) 第2回附属図書館運営委員会
 ガイダンス「参考文献の見方・書き方」
 EndNote basic 説明会 <於:総合・国際文化学図書館>
- 8(水)~9(木) 国立大学協会近畿地区支部「係長研修」<於:京都大学 受講:係長1名>
- 8(水)~27(月) 第3回書評&キャッチコピーコンテスト 一般投票期間
- 9(木) 綾部高校生徒による見学
 <於:社会科学系図書館、自然科学系図書館 来館:20名>
 兵庫高校生徒による見学 <於:人間科学図書館 来館:47名、
 於:社会科学系図書館 主催:ゼミ幹事会 来館:53名>
- 10(金) 和歌山信愛高校生徒による見学 <於:社会科学系図書館 来館:40名>
- 13(月) 第12回地域歴史資料学研究会 <於:文学部 参加:部長>
- 13(月) お昼休みトークイベント「趣味語学のすゝめ」①
 <於:総合・国際文化学図書館 講師:高橋康德先生(国際
 コミュニケーションセンター) 担当:選書WG 参加:38名>
- 14(火) お昼休みトークイベント「趣味語学のすゝめ」②
 <於:総合・国際文化学図書館 講師:高橋康德先生(国際
 コミュニケーションセンター) 担当:選書WG 参加:41名>
 オーダーガイダンス(経営学研究科) <於:第三学舎 参加:19名>
- 14(火)~15(水) 障害者サービス担当職員向け講座
 <於:国立国会図書館関西館 受講:係長1名(講義のみ)>
- 15(水) お昼休みトークイベント「趣味語学のすゝめ」③
 <於:総合・国際文化学図書館 講師:吉岡乾先生(大学教育推進機構
 / 国立民族学博物館) 担当:選書WG 参加:28名>
 EndNote basic 説明会 <於:保健科学図書室>
 喜楽会での講演 <於:大阪凌霜クラブ 講師:野邑先生>
- 16(木) お昼休みトークイベント「趣味語学のすゝめ」④
 <於:総合・国際文化学図書館 講師:西出佳代先生(国際
 コミュニケーションセンター) 担当:選書WG 参加:32名>

- 16 (木) ~ 17 (金) 目録システム書誌作成研修 <於：国立情報学研究所 受講：係員1名>
 17 (金) 兵庫県大学図書館協議会研究会 <於：神戸市看護大学ホール 参加：7名>
 18 (土) 広報課主催キャンパスツアー <於：社会科学系図書館>
 海事科学分館資料画像使用テレビ番組「世界一受けたい授業」放送
 20 (月) 第14回電子リソースデータ共有作業部会
 <於：国立情報学研究所 出席：係員1名>
 22 (水) 第4回人文科学図書館 図書委員会
 24 (金) 平成30年度大学図書館近畿イニシアティブ初任者研修講師事前打合せ会
 <於：大谷大学図書館 出席：サービス課課長補佐(海事)>
 27 (月) ~ 12月13日 平成29年神戸大学史・巡回展「神大キャンパス今昔物語
 -神戸大学創立115周年記念-」パネル展
 <於：海事博物館 主催：大学文書史料室>

<12月>

- 1 (金) これからの学術情報システムに関する意見交換会
 <於：キャンパスプラザ京都 講師：係員1名 参加：係長2名>
 4 (月) メンタルヘルス・マネジメント検定II種試験対策セミナー
 <於：瀧川学術交流会館 受講：サービス課課長補佐2名>
 5 (火) ~ 第67回三商ゼミ発表会関連企画展示 <於：社会科学系図書館壁面前>
 ※三商ゼミ発表会は9(土)~10(日)<於：大阪市立大学>
 6 (水) 神戸大学スキルアップ研修「プレゼンテーション研修」
 <於：理学研究科Z201-202教室 受講：係員1名>
 第113回日本医学図書館協会近畿地区例会
 <於：京都府立医科大学 出席：サービス課課長補佐(医学)>
 7 (木) 相生高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：25名>
 7 (木) ~ 8 (金) 第5回機関リポジトリ新任担当者研修
 <於：国立情報学研究所 受講：係員1名>
 8 (金) 人文学研究科授業による資料展見学
 <於：社会科学系図書館 対応：管理課課長補佐>
 国立大学図書館協会近畿地区事業「文献入手スキルアップセミナー」
 <於：神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ
 講師：係員1名 参加：館長、部長、サービス課長ほか計8名>
 8 (金) ~ 12月22日 書庫床タイル補修工事 <於：経済経営研究所図書館>
 11 (月) メンタルヘルス・マネジメント検定II種試験
 <於：瀧川記念館 受験：サービス課課長補佐2名>
 平成29年度附属図書館職員研修(報告会)
 <於：社会科学系図書館会議室 報告者：4名 参加：39名>
 12 (火) オープンアクセス方針説明会
 <於：連携創造本部 担当：部長、管理課長、電子図書館係>
 12 (火) ~ 2月6日 経営・山崎ゼミ学生ネスレ飲料販売実習
 (期間中随時) <於：社会科学系図書館リフレッシュルーム>
 13 (水) 書評・キャッチコピーコンテスト授賞式
 <於：総合・国際文化学図書館
 出席：館長、部長、サービス課長、選書WG>
 学生広報チームによる取材

- ＜於：社会科学系図書館 応対：管理課長、室長補佐＞
Kernel インタビュー（館長）
- 14（木）＜於：兼松研究室 担当：電子図書館係＞
部局年次計画等に関するヒアリング
- 15（金）＜於：本部6階大会議室 出席：館長、室長、部課長、管理課課長補佐＞
人文学研究科授業による資料展見学
- 18（月）＜於：社会科学系図書館 応対：管理課課長補佐＞
救急講習会
- ＜於：保健管理センター 受講：係長2名、係員1名、補佐員2名＞
BS朝日による取材打合せ
- ＜於：社会科学系図書館 応対：室長補佐、管理課課長補佐＞
北須磨高校生徒による見学
- ＜於：社会科学系図書館 来館：13名、
保健科学図書室 来館：22名＞
第15回電子リソースデータ共有作業部会
- ＜於：国立情報学研究所 出席：係員1名＞
国立大学図書館協会近畿地区加盟館図書系人事担当課長・事務長懇談会
- ＜於：奈良教育大学 出席：管理課長＞
国立大学図書館協会近畿地区協会事務連絡会
- ＜於：奈良教育大学 出席：部課長＞
- 19（火）Kernel及びJaLCD01付与についての概要説明
- ＜於：工学研究科 説明：電子図書館係長、係員1名＞
- 20（水）オープンアクセス方針説明会 ＜於：医学研究科＞
- 21（木）国大図協シンポジウム「電子ジャーナル購読をめぐる課題」
- ＜於：東京大学小柴ホール 出席：部長、雑誌担当専門職員＞
- 22（金）神戸大学スキルアップ研修「プレゼンテーション研修」
- ＜於：理学研究科Z201-202教室 受講：係員1名＞
第3回COC+シンポジウム ＜於：瀧川記念館 出席：管理課長＞
文化的・学術的資料の保存シンポジウム
- ＜於：一橋大学講堂 出席：部長＞
毎日新聞社による取材
- ＜於：社会科学系図書館震災文庫 応対：電子図書館係＞
- 26（火）第1回研究開発室教育研究支援部会懇談会
- ＜於：総合・国際文化学図書館＞
- ＜1月＞
- 4（木）簡易帙作成講習 ＜於：社会科学系図書館 参加：13名＞
- 11（木）東日本大震災アーカイブシンポジウム（ハーバード大学等連携打合せ）
- ＜於：東北大学 出席：情報管理課長、係員1名＞
震災展示取材（NHK・ABC・サンテレビ・ジェイコム・神戸新聞・産経新聞）
- ＜於：社会科学系図書館 対応：人文学研究科 奥村教授、
地域連携センター 吉川氏、情報管理課課長補佐＞
- 11（木）～2月1日 企画展「災害の記憶を伝える：阪神・淡路大震災と地域の復興～23年目の神戸と、地域・コミュニティの課題～」
- ＜於：社会科学系図書館展示ホール、壁面前、震災文庫＞

- 1 1 (木) ~ 2月2日 サテライト展示：テーマ展「災害と文化財」
 <於：人文科学図書館ラーニングコモンズ>
- 1 2 (金) 法人文書の管理状況に関する監査
 <於：社会科学系図書館 対応：情報管理課長、企画係>
 センター試験に伴い13時で臨時閉館（保健科学図書室）
 センター試験に伴い17時で臨時閉館（研究所、医学、保健を除く）
- 1 2 (金)、1 5 (月)、
 2 2 (月)、2 4 (水)、
 3 0 (火)、2月1日 展示解説（6回）
 <於：社会科学系図書館
 解説：人文学研究科 菊地真 准教授>
- 1 3 (土) センター試験に伴い臨時休館（医学分館を除く）
- 1 4 (日) センター試験に伴い社会科学系図書館、自然科学系図書館臨時休館
- 1 5 (月) お昼休みトークイベント2「映画で広げる知的フィールド」①
 <於：総合・国際文化学図書館 講師：小澤准教授（国際文化学研究科）
 担当：選書WG 参加：50名>
 震災展示取材 <於：社会科学系図書館
 朝日新聞 対応：係員1名 ABC放送（撮影、観覧者へインタビュー）>
- 1 5 (月) ~ 2 5 (木) 神戸大学史・巡回展「神大キャンパス今昔物語」パネル展
 <於：東京六甲クラブ 主催：大学文書史料室>
- 1 6 (火) お昼休みトークイベント2「映画で広げる知的フィールド」②
 <於：総合・国際文化学図書館 講師：松本教授（国際文化学研究科）
 担当：選書WG 参加：52名>
 学長による運営方針説明会 <於：六甲台講堂 参加：14名>
- 1 6 (火) ~ 1 9 (金) 日本古典籍講習会 <於：国文学研究資料館、国立国会図書館
 受講：係員1名>
- 1 7 (水) BS朝日による撮影 <於：社会科学系図書館>
 <於：六甲台講堂 コメント撮影：室長補佐>
 お昼休みトークイベント2「映画で広げる知的フィールド」③
 <於：総合・国際文化学図書館 講師：西谷教授（国際文化学研究科）
 担当：選書WG 参加：48名>
- 1 8 (木) お昼休みトークイベント2「映画で広げる知的フィールド」④
 「映画のこともっと知りたくなる映画：色彩、音、観客」
 <於：総合・国際文化学図書館 講師：板倉准教授（国際文化学研究科）
 担当：選書WG 参加：44名>
- 1 9 (金) 文部科学省図書館職員による見学
 <於：文書史料室、社会科学系図書館震災文庫ほか
 来館：1名 案内：室長補佐、管理課課長補佐>
- 2 2 (月) 人文科学図書館 第5回図書委員会
 大阪大学職員研修「学習スペースを活性化させるために」
 <於：大阪大学総合図書館 受講：情報サービス課課長補佐（自然）>
- 2 2 (月) ~ 2月6日 古典籍の撮影作業 <於：社会科学系図書館>
 大学図書館近畿イニシアティブ第5回能力開発専門委員会
- 2 9 (月) 第7回被災地図書館との震災資料の収集・公開に係る情報交換会
 <於：社会科学系図書館会議室
 出席：館長、部長、管理課長、管理課課長補佐、電子図書館係>
- 3 0 (火) 神戸大学出版会設立記念シンポジウム

- 31 (水) <於：百年記念館六甲ホール 参加：約200名>
 平成31年度概算要求、平成30年度予算要求ヒアリング
 <於：理学研究科Z201-202号室
 出席：館長、部課長、管理課課長補佐>
- <2月>
- 2 (金) 平成29年度第5回附属図書館館長・副館長・分館長懇談会
 5 (月) 平成29年度第3回附属図書館運営委員会
 7 (水) ~3月3日 神戸大学史・巡回展「神大キャンパス今昔物語 ―神戸大学創立115周年記念―」 <於：社会科学系図書館展示ホール 主催：大学文書史料室>
 9 (金) オーダーガイダンス (国際教育推進センター)
 <於：第三学舎情報処理教室 参加：21名>
 近畿地区施設担当者研修による見学
 <於：社会科学系図書館 来館：90名
 案内：管理課長、管理課課長補佐>
- 13 (火) 「研究データ管理を支える人材育成」に関する意見交換会
 <於：京都大学附属図書館 参加：係員1名>
- 15 (木) 学術英語スキルアップセミナー「Take a New Step!」
 <於：瀧川記念学術交流会館、主催：附属図書館、
 共催：大学教育推進機構国際コミュニケーションセンター、
 学術研究推進本部男女共同参画推進室、受講：67名>
 自衛消防訓練 <於：保健科学図書室>
- 16 (金) 施設部学内営繕費の現地ヒアリング <於：社会科学系図書館>
 文書管理者・文書管理担当者等研修
 <於：瀧川記念館大会議室 講師：室長補佐、受講：補佐1名、係長11名>
- 19 (月) 監査法人による第2回期中監査 <於：社会科学系図書館>
- 20 (火) 自衛消防訓練 <於：海事科学分館>
- 23 (金) FD・SDセミナー <於：富山大学附属図書館 報告：係員1名>
 第2回国大図協学術資料整備委員会デジタルアーカイブWG会議
 <於：梅田インテリジェントラボラトリ 出席：部長、係長1名>
 前期入学試験に伴い13時で閉館 (保健科学図書室)
 前期入学試験に伴い17時で閉館
 (総合・国際図、社会系図、人文図、人間図、海事図)
 BS朝日テレビ番組「建物遺産」にて社会科学系図書館紹介
- 24 (土) 前期入学試験に伴い17時で閉館 (自然科学系図書館)
 休館 (自然系図、医学図以外)
- 25 (日) 前期入学試験に伴い休館 (社会系図、自然系図)
- 26 (月) 自衛消防訓練 <於：人間科学図書館、人文科学図書館>
 京都新聞社による取材 <於：人文科学図書館 出席：部長、管理課長>
 第2回紀要編集者ネットワーク・セミナー
 <於：京都大学 出席：係長1名>
- 27 (火) 自衛消防訓練 <於：大学文書史料室>
 第2回国大図協総務委員会 <於：東京大学 出席：サービス課長>
- <3月>
- 1 (木) 文科省による施設見学 <於：社会科学系図書館 案内：管理課長>

- 1 (木) ~ 2 (金) オープンサイエンスデータ推進ワークショップ
 <於：京都大学 参加：係長1名、係員1名>
- 2 (金) 第3回メタデータ普及タスクフォース
 <於：国立情報学研究所 出席：係員1名>
- 6 (火) 広報課による撮影 <於：社会科学系図書館>
- 8 (木) 国文学研究資料館古典籍共同研究事業第2回拠点連携委員会
 <於：主婦会館 出席：係長1名>
- 9 (金) 自衛消防訓練
 <於：自然科学系図書館、総合・国際文化学図書館、医学分館>
 神戸大学 Radio 収録 <於：本部会議室 出演：ULiCS>
 サービス課長補佐会 <於：自然科学系図書館会議室>
 後期入学試験に伴い13時で閉館（保健科学図書室）
 後期入学試験に伴い17時で閉館（社会科学系図書館）
- 9 (金) ~ 4月6日 海事博物館サテライト巡回展「神戸における海技者教育100年の歩み」
 <於：社会科学系図書館展示ホール>
- 10 (土) ~ 11 (日) 後期入学試験に伴い休館（社会科学系図書館）
- 12 (月) 後期入学試験に伴い休館（医学分館以外）
 資料修復実習①②③ <於：社会科学系図書館ラーニングコモンズ
 参加：のべ23名>
 （兵庫県大学図書館協議会）打合せ
 <於：湊川短期大学 出席：部長、管理課長>
- 13 (火) 帝塚山高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：40名>
- 14 (水) 第5回大学文書史料室運営会議
 JPCOAR 総会 <於：一橋講堂 報告：係員1名>
- 15 (木) 第3回国際文化学図書館 図書委員会
 第16回電子リソースデータ共有作業部会
 <於：国立情報学研究所 出席：係員1名>
 大阪大学職員研修「大学図書館と他組織との連携・協力のあり方をさぐる」
 <於：大阪大学総合図書館 報告：係員1名>
- 16 (金) 国大図協ビジョン推進事業
 「これからの大学図書館を考える」ワークショップ
 <於：京都大学附属図書館 参加：係員1名>
 大学図書館近畿イニシアティブ第2回運営委員会
 <於：大阪大学総合図書館 出席：部長、サービス課長、
 サービス課課長補佐（海事）>
- 17 (土) 大学図書館問題研究会による震災文庫等見学
 <於：社会科学系図書館 参加：係長2名、係員1名>
- 22 (木) 第6回館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館>
- 26 (月) ~ 6月29日 附属図書館巡回展「近代神戸の航路をたどる」<於：海事博物館>
- 27 (火) 自衛消防訓練 <於：社会科学系図書館>
- 29 (木) 第4回附属図書館運営委員会 <於：社会科学系図書館>
 附属図書館平成29年度離任式 <於：社会科学系図書館>
- 30 (金) 広報課インターネットラジオ「神戸大学 Radio! 等神大の私たち」放送
 <出演：ULiCS>